- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人室蘭工業大学

- (2) 大 学 名 室蘭工業大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

# (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			
学長	( クガ ヨシカズ ) <b>空閑 良壽</b> (平成27年4月)		
学 部 長			
学科長等	(ハナジマ ナオヒコ) <b>花島 直彦</b> (平成31年4月)	(フジキ ヒロユキ) 藤木 裕行 (令和3年4月)	任期が満了したため(3)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和 2 年度に報告済の内容 → (2) 令和 3 年度に報告する内容 → (3)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

# (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
  - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。 その場合別ファイルを作成し提出してください。
  - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1
理工学部 創造工学科 学士(工学)	工学関係	4年	365 人 (40)	3 年次 25人	1510人		入学定員欄の ( ) 書は夜間主 コースの定員で 内数

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

# (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	\	対象年度	平成2	9年度	平成3	30年度	令和え	元年度	令和:	2 年度	令和:	3年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区	分		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	PHI 75
			人	人		. <u> </u>	365人	-人	365人	-人	365	-人			
4	Δ.	入学定員	(	)	(	)	( - [ -	- ) - ]	( -	- ) - ]	( <u>2</u>	.5 ) - ]			
	志	願者数	( )	( )	( )	( )	1171 ( - ) [ 36 ]	- ( - ) [ - ]	1323 ( - ) [ 51 ]	- ( - ) [ - ]	1001 ( 46 ) [32]	- ( - ) [ - ]			本学の入学試験を経
	受	験者数	( )	( )	( )	( )	1097 ( - ) [ 36 ]	- ( - ) [ - ]	1243 ( - ) [ 51 ]	- ( - ) [ - ]	944 ( 42 ) [32]	- ( - ) [ - ]	1.04倍	- 倍	ない外国政府派遣学 生2名が入学(元) 本学の入学試験を経
	合	格者数	( )	( )	( )	( )	473 ( - ) [ 29 ]	- ( - ) [ - ]	462 ( - ) [ 24 ]	- ( - ) [ - ]	470 ( 28 ) 375	- ( - ) [ - ]			ない外国政府派遣留 学生2名が入学(3)
E	3	入学者数	( )	( )	( )	( )	390 ( - ) [ 14 ]	- ( - ) [ - ]	381 ( - ) [ 11 ]	- ( - ) [ - ]	376 ( 23 ) [8]	- ( - ) [ - ]			
J		È員超過率 3∕A					1.	06	1.	04	1,	03			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - · [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

# (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和:	2 年度	令和:	3年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		5
						390	_	381	_	378	-	令和3年度	
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 16 ]			[ - ]		[ - ]	• 3 年次編入学23名入学	
		( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )		
	0.575							385		377			
	2年次			[ ]	[ ]		[ ]	( - )	[ - ]	[ 10 ]	[ - ]		
				( )		( )	( )	( - )	( - )	407	_		
	3年次					[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 17 ]	[ - ]		
		/				( )	( )	( )	( )	( - )	( - )		
			$\overline{}$										
	4 年次					/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
								( )	( )	( )	( )		
							90		66		62		
	計	[	]	[	]	[ 1	6 ]	[ 2	5]	[ 3	37 ]		
		(	)	(	)	( -	- )	( -	- )	( -	- )		

# ・令和3年5月1日 公表

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

# (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	左学老粉(b)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	在子有奴(b)	区于有奴(a)	入学した年度	退学	お数ラスタ	(留学生の理由は[ ]書き)
平成29年度	人	人	平成29年度			
十成と9千及	^	^	十成29千及		人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
1 1200 112	^		平成30年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和元年度	390 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	766 人	5 人	令和元年度	5 人	2 人	進路変更(1人)、専門学校入学(1人)、経済的理由(1人) [進路変更(1人)、他大学へ進学(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	1162 人	5 人	令和元年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
は知り千茂	1102 X		令和2年度	4 人	1 人	学業不振(1人)、他大学へ進学(1人)、経済的理由(1人) [他大学へ進学(1人)]
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		10 人		10 人	3 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
    - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

# (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

# 【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	_ =	0	=	#DIV/0! %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	_ =	0	=	#DIV/0! %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	_ =	<u>0</u> 390	=	0 %
【令和2年度】				
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	_ =	5 766	=	0.65 %
【令和3年度】				
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	_ =	5 1162	=	0.43 %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

# 2 授業科目の概要

<理工学部 創造工学科>

# (1)一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

科目			記当		単位数	ţ		専任教	女員等	の配置	Ì	兼任
区分		授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
		フレッシュマン英語演習	1前	1	201	_	- IX	- IX	ЫÜ	₹X.	7	兼8
		英語リーディング演習A	1後	1								兼4
		英語リーディング演習B	2前	1								兼4
		英語総合演習	2後	1								兼8
	外	英語コミュニケーションI	2前・後	1								兼4
	語	英語コミュニケーションⅡ	3前		1							兼2
	科目	TOEIC英語演習 I	1後	1								兼4
		TOEIC英語演習 Ⅱ	3前	2								兼4
		ドイツ語	1前・後		1							兼1
		中国語	1前・後		1							兼1
		小計 (10 科目)	-	8	3							兼10
		地域社会概論	1前	1			1					兼3
		胆振学入門	1前		1							兼1
	地	北海道産業論A	3前		1			1				
	域連	北海道産業論B	3前		1		1					兼1
	携科	北海道産業論C	3前		1							兼1
	目	インター・テクノロジーA	3前		1		1					兼1
	ĺ	インター・テクノロジーB	4前		1		1					兼1
		小計 (7 科目)	-	1	6		3	1				兼7
		平和学	1前		1							兼1
		哲学入門	1前		1							兼1
		こころの科学	1前		1							兼1
		経済のしくみ	1前		1							兼1
		日本の憲法	1後		2							兼1
		現代社会論	1後		2							兼1
		現代民主主義論	1後		2							兼1
_		現代心理学	1後		2							兼1
般 教		運動の科学	1後		2							兼1
養教		経済事情	1後		2							兼1
育		医の科学	1後		2							兼1
		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
		青少年と文化	1後		2					1		兼1
		異文化交流A	1後		2							兼1
		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
	١.	中国の文化	1後・2前		1							兼1
	人と	環境経済論	2前		2							兼1
	社会	基本的人権論	2前		2							兼1
	に関	地方自治論	2前		2							兼1
	す	感性の科学	2前		2							兼1
	る科	国際文化論	2前		2							兼1
	目	異文化交流B	2前		2							兼1
	ĺ	地域再生システム論	1前		2			1				兼2
	ĺ	キャリアデザイン	2後		2							兼1
	ĺ	スポーツ実習 a	1前		1							兼1
	ĺ	スポーツ実習 b	1前		1	1			1	1		兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							兼1
		臨海実習	1-2-3-4前		1							兼1
		海外語学研修	1-2-2-4期-後		2							兼3
		海外研修	1-2-3-4第-後		1							兼3
		社会体験実習	1-2-3-4前		1		1					兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		4	1				兼3
		短期インターンシップ	3前・後		2		4	1				兼3
		長期インターンシップ	3前・後		3		4	1				兼3
	ĺ	連携教養科目	1-2-2-4田-後				H					
	l											

# 【令和3年度】

					単位数	Ĭ		専任教	員等	の配置	î	兼 任
科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	Ø.	選	自	教 #8	准 教	講	助	助	兼担
		フレッシュマン英語演習	1前	修 1	択	由	授	授	師	教	手	兼8
		英語リーディング演習A	1後	1								兼6
		英語リーディング演習B	2前	1								兼6
		英語総合演習	2後	1								<b>₩</b> 9
	外	英語コミュニケーションI	2前・後	1								兼5
	語	<b>英語コミュニケーションⅡ</b>	3前	-	1							兼1
	科目	TOEIC英語演習 I	1後	1	-							<b>#</b> 3
	п	TOEIC英語演習 II	3前	2								兼2
		ドイツ語	1前・後		1							兼1
		中国語	1前・後		1							兼1
		小計 (10 科目)	_	8	3							<b>兼17</b>
		地域社会概論	1前	1	_		1					兼3
		胆振学入門	1前		1							兼1
	地	北海道産業論A	3前		1			1				AK.
	域	北海道産業論B	3前		1		1	Ė				兼1
	連携	北海道産業論C	3前		1							兼1
	科目	インター・テクノロジーA	3前		1		1					兼1
		インター・テクノロジーB	4前		1		1					兼1
		小計 (7 科目)	- 489	1	6		3	1				兼7
		平和学		_	1		3					兼1
		哲学入門	1前		1							兼1
		こころの科学	1前		1							兼1
		経済のしくみ										兼1
		日本の憲法	1前		1							
			1後		2							兼1
		現代社会論現代民主主義論	1後		2							兼1
			1後									兼1
般		現代心理学	1後		2							兼1
教 養		運動の科学	1後		2							兼1
教育		経済事情	1後		2							兼1
Ħ		医の科学	1後		2							兼1
		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
		青少年と文化	1後		2					1		兼1
		異文化交流A	1後		2							兼1
		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
	人	中国の文化	1後・2前		1							兼1
	と社	環境経済論	2前		2							兼1
	会に	基本的人権論	2前		2							兼1
	関す	地方自治論	2前		2							兼1
	る	感性の科学	2前		2							兼1
	科目	国際文化論	2前		2							兼1
		異文化交流B	2前		2							兼1
		地域再生システム論	1前		2			1				兼2
		キャリアデザイン	2後		2							兼1
		スポーツ実習a	1前		1							兼2
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼2
		スポーツ実習 d	1後		1							兼3
		臨海実習	1-2-3-4前		1							兼3
		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3
		海外研修	1-2-3-4前-後		1							兼3
		社会体験実習(未開講)	1-2-3-4前		1		1					兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		5					兼3
		短期インターンシップ	3前・後		2		5					兼3
		長期インターンシップ	3前・後		3		5					兼3
		連携教養科目	1-2-3-4前-夜									
		小計 (36 科目)	_		58		6	1		1		兼24

### 単位数 専任教員等の配置 授業科目の名称 准教 日本語 A-1 日本語 B-1 1-2-3-4 1 兼1 日本語 C-1 1 兼1 日本語 D-1 1 兼1 般教養教育 日本語 A-2 兼1 1 日本語 B-2 兼1 日本語 C-2 1 -2-3-41 兼1 日本語 D-2 1 兼1 小計 (8 科目) 8 兼2 線形代数A 兼3 1前 線形代数B 1後 2 兼3 微分積分A 1前 兼4 2 2 兼4 微分積分B 1後 微分積分C 2 2前 兼4 物理学A 1前 2 兼9 物理学B 1後 1 2 1 兼5 物理学C 1後 1 2 兼5 化学 1後 生物学 1後 兼4 2 環境科学 2前 2 3 2 兼4 フレッシュマンセミナー 1前 2 知的財産所有権論 3前 兼2 1 小計 (13 科目) 18 2 兼32 情報セキュリティ入門 1前 データサイエンス入門 1後 2 兼6 2 1 プログラミング入門 1後 2 兼4 小計 (3 科目) 6 2 1 兼10 1後 1 **#**3 1 化学・生物学概論 1前 2 兼4 電気回路基礎 2前 2 4 電磁気学基礎 2 2前 4 材料の力学A 2前 1 材料の力学B 1 2前 1 流れの力学A 2前 1 1 流れの力学B 2前 1 熱力学基礎A 1 2前 1 熱力学基礎B 1 2前 計測工学 2前 1 工学概論 2前 1 2 3 工学技術者倫理 3後 2 4 2 小計 (13 科目) 17 13 11 兼7 統計的データ処理 2後 2 3 2 現代情報学概論 2 2前 兼4 2 確率統計 2前 小計 (3 科目) 6 1 4 2 兼4 土木工学概論 2後 1 2 1 建築学概論 2後 1 1 5 3 兼1 プロジェクト評価 1 2後 1 図学 2後 1 都市計画 2後 1 2 空間の環境 2後 建設構造力学 2後 1 建設材料学 2後 1 卒業研究 6 4 11 4通 ス科目(建築土木工学コース) 14 小計 (9 科目) 4 11 4 兼1 建築設計基礎 2後 1 建築設計I 2 2後 建築設計Ⅱ 2 3前 2 2 建築設計Ⅲ 3後 建築設計IV 4前 2 3 建築史 3前 2 設 計 建築設計論 3後 2 建築計画 I 3前 2 1 計画 建築計画Ⅱ 3後 2 1 ク 建築構法計画 3前 都市マネジメント 3前 2 1 都市地域計画I 2後 1 都市地域計画 Ⅱ 3前 2 1 小計 (13 科目) 15 8

### 【令和3年度】

	4μ O		<u>-</u> 		j	単位数	t		専任教	(員等	の配置	ì	兼
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任 .
					修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			日本語 A-1	1-2-3-4前		1							兼1
			日本語 B-1	1-2-3-4前		1							兼1
			日本語 C-1	1-2-3-4前		1							兼1
	— 段	日本	日本語 D-1	1-2-3-4前		1							兼1
	牧 <del></del>	語	日本語 A-2	1-2-3-4後		1							兼1
李	~ 牧 育	科目	日本語 B-2	1-2-3-4後		1							兼1
F	Ħ		日本語 C-2	1-2-3-4後		1							兼1
			日本語 D-2	1-2-3-4後		1							兼1
			小計 (8 科目)	_		8							兼2
			線形代数A	1前	2								兼2
			線形代数B	1後	2								兼2
			微分積分A	1前	2								兼3
			微分積分B	1後	2								兼3
	理		微分積分 C	2前	2								兼4
	工学		物理学A	1前	2				1				兼3
	部		物理学B	1後	1			1	1				兼2
	共通		物理学C	1後	1			1	1				兼2
	科目		化学	1後		2							兼4
	_		生物学	1後	_	2		_	_				兼4
			環境科学 フレッシュマンセミナー	2前	2			3	1		1		兼5 <b>※</b> 1
			プレッシュマンゼミナー 知的財産所有権論	1前	1			_	2		1		兼1 兼1
			小計(13科目)	3前	18	4		5	5		1		兼1 兼24
	理		情報セキュリティ入門	1前	2	-		,	,		-		兼24 兼4
	工学	情報	データサイエンス入門	1後	2			2	1				兼6
	部共	科	プログラミング入門	1後	2								兼4
	通 科	B	小計 (3 科目)	_	6			2	1				兼10
			I EDGECKU	1後	1								兼3
			化学・生物学概論	1前	2								兼4
			電気回路基礎	2前	2			2	2				
			電磁気学基礎	2前	2			3					兼1
			材料の力学A	2前	1				1		1		
		専門	材料の力学B	2前	1			1	1				
	1	基	流れの力学A	2前	1				1				
	告 L	礎科	流れの力学B	2前	1			1					
	学  4	目	熱力学基礎A	2前	1			1					
#	ŧ Ā		熱力学基礎B	2前	1				1				
#	4		計測工学	2前	1			1	1				
	1		工学概論	2前	1			3	2				
			工学技術者倫理	3後	2			5	1				
			小計 (13 科目)	-	17			14	8		1		₩8
		情	統計的データ処理 現代情報学概論	2後	2				3		1		***
		報科	確率統計	2前	2			2	3		1		₩3
		目	小計(3科目)	2前	6			2	5		1		<b>₩</b> 3
			土木工学概論	2後	1			3	•		-		<b>€</b> 0
			建築学概論	2後	1			3	5		2		兼1
			プロジェクト評価	2後	1			_	1		-		
	=	1	図学	2後	1						1		
	7	ζ	都市計画	2後	1			1	1				
	į ii	Ť.	空間の環境	2後	1			1					
	₹ E	4	建設構造力学	2後	1				1				
∃ 			建設材料学	2後	1			1	1				
ス			卒業研究	4通	6			7	9		3		兼1
科目			小計 (9 科目)	-	14			8	9		3		兼1
建			建築設計基礎	2後	1						1		
築			建築設計I	2後	1			1	1				
土木			建築設計Ⅱ	3前	2				2				
工学			建築設計皿	3後	2				1				
j 	建		建築設計IV	4前		2			3				<u> </u>
ا ک	築学	設計	建築史	3前	2				_		1		
ľ	١.		建築設計論	3後	2				1				<u> </u>
	ラッ	計画	建築計画 I 建築計画 II	3前	2	2			1				-
	ク		建築構法計画	3後	2				1				<del>                                     </del>
			建業博法計画 都市マネジメント	3前	۷.	2		1	'				<del> </del>
			都市地域計画 I	2後	1			Ė	1				
			都市地域計画Ⅱ	3前		2			1				
			小計 (13 科目)	-	15	8		1	3		1		
<u> </u>								<u> </u>					

### 専任教員等の配置 単位数 授業科目の名称 准教 建築環境工学「 2後 建築環境工学Ⅱ 3前 建築設備 3後 2 1 寒地建築環境工学 3後 建築材料I 2後 建築材料Ⅱ 3前 2 1 建築材料実験 3前 1 建築施工 3後 小計 (8 科目) 8 1 5 建築構造力学 T 2後 1 建築構造力学Ⅱ 3後 3 4前 建築構造力学Ⅲ 2 1 建築鋼構造 3前 兼1 建築鉄筋コンクリート構造 3前 2 1 ク 建築構造演習 3後 兼1 2 1 基礎構造 3後 2 建築構造設計演習 2 1 4前 11 小計 (8 科目) 兼1 5 1 1 建築学演習I 2後 5 3 兼1 建築学演習Ⅱ 3前 1 建築学演習Ⅲ 3後 2 1 5 3 兼1 建築法規 3後 2 1 建築測量学実習 4前 小計 (5 科目) 第1 6 1 1 5 3 土質力学 I 2後 2 土質力学Ⅱ 3前 2 応用土質力学 3後 2 1 土木地質学 4前 防災地盤工学 4前 1 1 火山防災工学 3前 1 小計 (6 科目) (建築土木工学コース) 土木構造力学 I 2後 1 土木構造力学Ⅱ 3前 2 1 応用構造力学 3後 振動工学 3後 2 1 コンクリート工学 1 2後 十木工学創告演習 2後 1 コンクリート構造学 I 2 1 3前 コンクリート構造学Ⅱ 3後 維持管理工学 4前 2 銅構造学 3後 1 小計 (10科目) 11 3 2 土木工学トラッ 水理学「 2後 2 水理学Ⅱ 3前 2 応用水理学 3後 2 2 水工系 水文学 4前 海岸・海洋工学 4前 1 1 ク 港工学 4前 1 1 河川計画学 4前 小計 (7科目) 4 2 計画 面情嫩妣 2後 1 交通システム計画 3前 2 建設マネジメント 4前 2 1 小計 (3 科目) 2 1 環境衛生工学 3後 衛生系 廃棄物工学 1 1 3後 小計 (2 科目) 2 1 測量学 3前 測量学実習 3前 1 1 1 実践 土木実験 3前 1 2 3 土木工学ゼミナール 3後 2 実務 設計製作演習 3後 1 関連 空間情報処理 2後 1 土木応用プログラミング 4前 小計 ( 7 科目) 7 2 2 4 1 熱力学 2後 2 1 伝熱工学 3後 流体力学 I 1 2後 2 機械ロボット工学コー 流体力学Ⅱ 3前 2 材料力学 I 2後 2 1 材料力学Ⅱ 3前 2 1 機械力学「 2後 2 機械力学Ⅱ 3前 2 小計 (8 科目) 14

### 【令和3年度】

	K TP	和3	<b>T</b>	1			単位数	ь		<b>恵</b> 仟巻	女員等:	の配置	7	兼
		科目区分		授業科目の名称	配当年次					准				任
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		-//			7 7	修	択	由	授		師	教	手	兼担
					2後	1				1				
### 100														兼1
# 전쟁 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			環			2								
### 2 2 2 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						1	2		1	1				
日本						'	2							
日本			産									1		
中部						2	-		1					
				小計 (8 科目)	_	8	5		1	1		1		
# 변樂報音 기우의 경상 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				建築構造力学 I	2後	1						1		
Page		築		建築構造力学Ⅱ	3後		3			1				
# 변楽鏡語 3		学ト		建築構造力学Ⅲ	4前		2			1				
□ A M M M M M M M M M M M M M M M M M M		ラッ	樺											兼1
本人工学の1-15   日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日						2	_							201
					_									兼1
中学					_									
大田子の					-	5						1		兼1
大大工学   大工学   大工   大工				建築学演習 I	2後				3	_				兼1
日本				建築学演習 Ⅱ	3前	1			2					
日本			実	建築学演習Ⅲ	3後	2			2	5		2		兼1
東京			務・	建築法規	3後	2				2				
四十二 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				建築測量学実習	4前		1					1		
日			埋				1			5		2		兼1
大田上質力学   3歳 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1			ĺ											ļ
日本			ĺ									<u> </u>		
1						2			1					
大山防災工学   3前 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	7									1				
1	ス					2	-		-	1				
注入					- SHI		2		2	_				
					2後	_				•				
	築													
# カー	木			応用構造力学			1		1					
大村料系   土木工学創造演習   2後   1	学		+22	振動工学	3後	2			1					
大大工学創造演習   2後   1   1   1   1   1   1   1   1   1	<b>=</b>		造	コンクリート工学	2後	1				1				
大			材	土木工学創造演習	2後	1			1	1				
A				コンクリート構造学 I	3前	2				1				
### 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1										1				
小計 (10 科目)							1			1				
大理学					3後		2							
木工学		±			224		3			-				
応用水理学 3後 2 2 2 2 3 3 4 3 4 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		木												
水文字   4前   1   1   1   1   1   1   1   1   1		学												
ク       系       海洋工学       4前       1 </td <td></td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>		5					1							
一方田   一田   一				海岸・海洋工学	4前		1		1					
小計 (7 科目)				港工学	4前		1		1					
計画     地域計画     2後     1     1       交通システム計画     3前     2     1     1       建設マネジメント     4前     2     1     1       小計(3科目)     -     3     2     1     1       機械力学     3後     1     1     1       廃棄物工学     3後     1     1     1       水計(2科目)     -     2     1     1       水計(2科目)     -     2     1     1       水計(2科目)     -     2     1     1       北木実験     3前     1     3     2       土木工学ゼミナール     3後     2     1     1       設計製作演習     3後     1     1     1       立門情報処理     2後     1     1     1       本応用プログラミング     4前     1     1     1       小計(7科目)     -     7     2     4     3     1       大大の井プレス科     3     2     1     1     1       大大の井プレス     3     2     1     1     1       大大の井プレス     3     2     1     1     1       大大の井プレス     3     2     1     1     1       大大の井子の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の			ĺ	河川計画学	4前		1		1					
一				小計 (7 科目)	-	6	4		2					
交通システム計画     3前     2     1     1       建設マネジメント     4前     2     1     1       小計(3 科目)     -     3     2     1     1       環境衛生工学     3後     1     1     1       運場衛生工学     3後     1     1     1       瀬量学     3前     2     1     1       海量学業置     3前     1     1     1       土木実験     3前     1     3     2       土木実験     3前     1     1     1       土木実験     36     1     1     1       土木実験     36     1     1     1       土木実験     36     1     1     1       土木東外     36     2     1     1       財務     1     1     1     1       本本応用プログラミング     4前     1     1     1       大大の用プログラミング     4前     1     1     1       大大の出プレブラミング     2     2     1     1       大大の大の学     2     2     1     1					_									
A			-			2	L.					<b>.</b>		
横生工学   3後   1   1			通											-
開生     機業物工学     3後     1     1       小計(2科目)     -     2     1       湯量学     3前     2     1       湯量学要習     3前     1     1       土木実験     3前     1     3       土木工学ゼミナール     3後     2     1       放射製作演習     3後     1     1       空間情報処理     2後     1     1       土木応用ブログラミング     4前     1     1       小計(7科目)     -     7     2     4     3     1       株式の中でのである。     3後     2     1     1       大大成れの学     3後     2     1     1       大株の力学     2後     2     1     1       大株力学     3前     2     1     1       大株力学			糸			3			<u> </u>			1		
所計(2科目) - 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 3 前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					_				<u> </u>					
瀬里学   3前 2									<del>                                     </del>					
実践 ・実践 ・実務・・実務・・実務・・関連 ・主木実験 3前 1 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						2				<u> </u>		1		
土木実験   3前 1   3 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1										1				
大工学ゼミナール   3後 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1			践						3	-				
Bu a			実	土木工学ゼミナール	3後	2				1		1		L
連			務・	設計製作演習	3後		1		1					
TAND					2後	1						1		
Name			疋		4前		<u> </u>					1		
伝熱工学   3後   2   1							2			3		1		-
日	1	ا د	ĺ			2			_					
( ) カ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	E	3	ĺ			•	2		1			-		
計算	ŧ	i i	カ						1			<u> </u>		
材料力学 I   3前 2   1	Ħ	T.	系											
- 上 群 機械力学 I 2後 2 1 1 機械力学 I 3前 2 1 1	7 2	۱۰ پ	目											
· 機械力学 I 3	I E		群								1			
	=	I	ĺ											
ご 小計 (8 科目) - 14 2 3 1 1	3	3	Ì	小計 (8 科目)	-	14	2		3		1	1		

7

### 専任教員等の配置 単位数 授業科目の名称 制御工学 2後 システム制御工学 3前 電気電子工学 2後 2 計測システム工学 2後 ロボット工学 3前 知能ロボット応用学 3後 2 1 小計 (6 科目) 8 4 3 2 ス科目 2後 2 1 機械システム設計学 3前 2 (機械ロボットエ学コー 機械製作学 3後 2 機械材料学 3後 2 機械製図 2後 機械工作法実習 3前 2 機械ロボット工学実験 3前 2 8 3 2 機械ロボット工学演習 3後 2 2 1 2 4 ろ 機械ロボット工学設計法 4前 2 1 3 2 4 技術英語 3前 2 技術コミュニケーション 3後 卒業研究 I 4前 4 8 卒業研究Ⅱ 4後 6 8 4 2 5 小計 (13 科目) 24 8 4 2 5 応用解析学 I 2後 2 応用解析学Ⅱ 3前 2 小計 (2 科目) 4 1 飛行力学I 2後 2 飛行力学Ⅱ 3前 数值流体力学 3後 2 1 空気力学 3前 航空機設計法I 3後 2 1 小計 (5 科目) 6 4 2 1 航空宇宙構造工学「 2後 2 航空宇宙構造工学Ⅱ 3前 2 航空宇宙構造工学Ⅲ 3後 航空宇宙機械力学 2後 2 小計 ( 4 科目) 6 2 1 1 航空宇宙制御工学I 2後 2 1 ス科目 宇宙航行工学 3前 航空宇宙制御工学 II 2 3後 (航空宇宙工学コー 小計 (3 科目) 2 4 1 航空宇宙熱力学 2後 ロケット工学 3前 2 2 兼1 ジェットエンジン 2 3後 1 燃燒工学 2後 2 ろ 2 3前 小計 (5 科目) 2 8 2 1 **#**1 航空宇宙電気電子工学 2後 小計 (1科目) 2 機械製図 1 2後 航空宇宙工学製図 3後 2 航空宇宙工学特別講義 1 4通 3 宇宙機設計法 411 2 4 3 3 兼1 航空機設計法 II 4前 航空宇宙工学実験 2 3前 2 1 2 航空宇宙工学セミナー 3後 2 4 4 3 卒業研究 I 4前 4 4 4 3 兼2 卒業研究Ⅱ 3 4後 6 4 4 兼2 小計 (9 科目) 18 4 4 4 3 兼2

電磁気学

電子物性

雷气回路

電気回路演習

高電圧工学

電力発生工学

送配電工学

電気機器学

原子力工学

制御工学

電磁エネルギー変換工学

パワーエレクトロニクス

電気関係法規・電気施設管理

雷気機器設計製図

小計 ( 12 科目)

半導体工学

電気電子材料

小計 (5 科目)

物性デバイス

ス科目(電気電子工学コー

ろ

電磁気学演習

2後

2後 2

2後

3前 2

3後

2後

2後 2

3前

3前

3前

3後

3後

3後

3後

4前

4前

4前

2

8 2

2

2

2

2

2

2

1

2

18

### 【令和3年度】

【令和3		<u> </u>			単位数	+		市红料	日生	の配置	1	兼
科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	里120分	自	教	守1士的	損毒	助助	助	任・
区方			# 1%	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		制御工学	2後	2			1					
	シス	システム制御工学	3前	2			1					
	テム	電気電子工学	2後	2				1				
	系科	計測システム工学	2後		2		1	1				
=	目	ロボット工学 知能ロボット応用学	3前	2	2		1					
l ス	群	小計(6科目)	J18	8	4		3	2				
科目		機構学	2後	_	2		1	_				
~	I	機械システム設計学	3前		2			1				
機 械	ンジ	機械製作学	3後		2				1			
ロ ボ	ニア	機械材料学	3後		2					1		
ット	アリ	機械製図	2後	2				1				
工学	ング	機械工作法実習	3前	2			1		1			
<del>-</del> -	デザ	機械ロボット工学実験	3前	2			8	3	2	3		
2	1	機械ロボット工学演習機械ロボット工学設計法	3後	2			2	1	2	3		
	ン :	技術英語	4前	2			1	3	2	3		
	実験	技術コミュニケーション	3後	2			1	-				
	科目	卒業研究 I	4前	4			8	4	2	4		
	群	卒業研究Ⅱ	4後	6			8	4	2	4		
	Ī	小計 (13 科目)	-	24	8		8	4	2	4		
	用料	応用解析学I	2後	2				1				
	数学科目	応用解析学Ⅱ	3前	2			1					
	群	小計 (2 科目)	_	4			1	1				
	Ī	飛行力学Ⅰ	2後	2			<u> </u>	1				
	空力	飛行力学Ⅱ	3前		2		1	1				
	科目	数値流体力学 空気力学	3後 3前	2	2			1				
	群	航空機設計法 I	3後	2				1				
		小計 (5 科目)	-	6	4		1	2				
	機体	航空宇宙構造工学I	2後	2				1				
	構造	航空宇宙構造工学Ⅱ	3前	2								兼1
	· 材	航空宇宙構造工学Ⅲ	3後		2			1				
	料料	航空宇宙機械力学	2後	2			-1	1				
= 	群	小計 (4 科目)	_	6	2		1	2				兼1
ス 科	誘導・	航空宇宙制御工学I	2後	2			1					
目	8) (2)	宇宙航行工学	3前		2		1					
航	科目	航空宇宙制御工学Ⅱ 小計 (3 科目)	3後	2	4		1					
空 宇	詳	航空宇宙熱力学	2後	2	4					1		
宙工	推進	ロケット工学	3前	-	2		2			1		兼1
学	I	ジェットエンジン	3後		2					1		
1	学科	燃焼工学	2後		2			1				
<u>ح</u>	目群	伝熱学	3前		2		1					
		小計 (5 科目)	-	2	8		2	1		1		兼1
	子電 科工気	航空宇宙電気電子工学	2後	2			1					
	日学電	小計(1科目)	-	2			1					
	学	機械製図	2後	1				1				
	系実践	航空宇宙工学製図 航空宇宙工学特別講義	3後	2			•			1		_
	力・	航空宇宙工学特別講義 宇宙機設計法	4通	1	2		3	3		1		兼1
	シ	航空機設計法Ⅱ	4前		2		Ť	1		<u> </u>		an'
	ステム	航空宇宙工学実験	3前	2			3	1				
	設	航空宇宙工学セミナー	3後	2			3	4		1		兼1
	能	卒業研究I	4前	4			3	4		1		兼2
	力 科 目	卒業研究Ⅱ	4後	6			3	4		1		兼2
	群	小計 (9 科目)	_	18	4		3	4		1		兼2
	電	電磁気学	2後	2			1					_
	子物	電磁気学演習	2後	2			1			1		_
	性デ	電子物性	2後	2			-	1		-		<u> </u>
	バイ	半導体工学 電気電子材料	3前	2	2		1					-
= 	ス	東京電子材料 小計(5科目)	3俊	8	2		1	1		1		
・ ス 科	$\vdash$	電気回路	2後	2			1	_		H		
目	Ī	電気回路演習	2後	2			1			3		
(電	ĺ	電磁エネルギー変換工学	3前		2							兼1
気電	Ī	高電圧工学	3前		2							兼1
電 子 工 学	電	制御工学	3前		2		1					
学	気エ	電力発生工学	3後		2		1					
1	ネル	送配電工学	3後		2							兼1
3	ギー	電気機器学	3後		2		1					
		パワーエレクトロニクス	3後		2		1			<u> </u>		_
	ĺ	原子力工学 電気関係法規・電気施設管理	4前		1							兼1 兼1
	ĺ	電気機器設計製図	4前		2		1					**!
	ĺ	小計 ( 12 科目)	4 BIJ	4	18		3			3		兼1
l	<u> </u>	. a 11H/					ŭ					ě

8

2

2

2

1

1

1

2

1

2 2

1

					単位数	ţ		専任教	負等	の配置	Ì	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		電子回路I	2後	2			1					
		計測システム工学	2後	2			1					
		デジタル回路	2後	2			1					
		電子回路Ⅱ	3前	2				1				
3 	#H	信号処理	3前		2			1				
ス	測	通信工学	3前		2		1					
科目	通信	情報符号理論	3前		2		1					
電		無線伝送工学	3後		2		1					
気		伝送回路工学	3後		2		1					
電子		通信網工学	3後		2		1					
Ĭ		電気通信関係法規	4前		1		1					
工 学 コ 		小計 ( 11 科目)	_	8	13		3	2				
	ت د ت	工学演習 I	2後	2				1		1		
3	= 7	工学演習 Ⅱ	3前	2				1		1		
	リング	電気電子工学実験A	3前	4				1		3		兼1
	デザ	電気電子工学実験B	3後	4				3		2		
	۲ >	卒業研究	4通	10			7	7		5		兼1
	実験	小計 (5 科目)	_	22			7	7		5		兼1
	合計	( 260 科目)	_	267	188		23	26	3	17		兼74

- 日本語科目の履修要件等 1. 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。 2. 外国語科目として履修することができる。 3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値 (GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件及び履修方法

卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上,地域連携科目2単位以上,人と社会に関する科目12単位以上,その他外国語科目,地域連 携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上,合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1.理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

卒業要件 (創造工学科 機械ロボット工学コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目46単位,選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位,理工学部共通科目から26単位。創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

卒業要件 (創造工学科 航空宇宙工学コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目40単位,選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

卒業要件 (創造工学科 電気電子工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

### 【令和3年度】

14.0			"		単位数	Ĭ		専任教	員等	の配置	È	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	满	助	助	兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		電子回路 I	2後	2			1					
		計測システム工学	2後	2								兼1
		デジタル回路	2後	2			1					
		電子回路Ⅱ	3前	2				1				
⊐ 		信号処理	3前		2			1				
ス	計測	通信工学	3前		2		1					
科目	通信	情報符号理論	3前		2		1					
_	10	無線伝送工学	3後		2		1					
電気		伝送回路工学	3後		2		1					
電子		通信網工学	3後		2		1					
I		電気通信関係法規	4前		1		1					
学コ		小計 ( 11 科目)	-	8	13		2	2				兼1
1	エン	工学演習 I	2後	2				1		1		
<u> </u>	9 = 7	工学演習Ⅱ	3前	2				1		1		
	リング	電気電子工学実験A	3前	4				2		2		兼1
1	テザ	電気電子工学実験B	3後	4				2		2		
1	٠ ٧	卒業研究	4通	10			6	6		4		兼2
	来段	小計 (5 科目)	-	22			6	6		4		兼2
	合計 (	260 科目)	-	267	188		26	24	2	-11		兼82

- 本語科目の関修要件等 ・外国の留学生を対象として開請する授業科目である。 ・外国語科目として履修することができる。 ・外国語科目として履修することができる。 ・外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値 (GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上,地域連携科目2単位以上,人と社会に関する科目12単位以上,その他外国語科目,地域連 携科目及び人社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1.理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 建築士木工学コース)
  1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上格件すること。
  2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位、選択科目 A・8 から7単位以上、近沢科目 C・8 は、土木工学トラックはついては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラックについる新名の単位以上の表別をは、土木工学トラックについては合計129単位以上、建沢科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 機械ロボット工学コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 航空宇宙工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

- 卒業要件 (創造工学科 電気電子工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

科目		meno	配当		単位数			_		の配置		岩田
区分		授業科目の名称	配 当年 次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助	助手	兼
		フレッシュマン英語演習	1前	1	70:	ш	按	170	BÜ	教	+	兼8
		英語リーディング演習A	1後	1								兼4
		英語リーディング演習B	2前	1								兼4
		英語総合演習	2後	1								兼8
	外国	英語コミュニケーションI	2前・後	1								兼4
	語	英語コミュニケーションⅡ	3前		1							兼2
	科目	TOEIC英語演習 I	1後	1								兼4
		TOEIC英語演習Ⅱ	3前	2								兼4
		ドイツ語	1前・後		1							兼1
		中国語	1前・後		1							兼1
		小計 ( 10 科目)	-	8	3							兼1
		地域社会概論	1前	1			1					兼3
		胆振学入門	1前		1							兼1
	地域	北海道産業論A	3前		1			1				
	連	北海道産業論B	3前		1		1					兼1
	携科	北海道産業論C	3前		1							兼1
	目	インター・テクノロジーA	3前		1		1					兼1
		インター・テクノロジーB	4前		1		1					兼1
ļ		小計 (7 科目)	_	1	6		3	1				兼7
		平和学	1前		1		<u> </u>					兼1
		哲学入門	1前		1	-	<u> </u>	-	-			兼1
		こころの科学	1前		1							兼1
		経済のしくみ	1前		1							兼1
		日本の憲法	1後		2							兼1
		現代社会論	1後		2							兼1
		現代民主主義論	1後		2							兼1
		現代心理学	1後		2							兼1
		運動の科学 経済事情	1後		2							兼1
		医の科学	1後		2							兼1
		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
— 般		青少年と文化	1後		2					1		兼1
教		異文化交流A	1後		2					'		来1
養 教		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
育		中国の文化	1後・2前		1							兼1
	人と	環境経済論	2前		2							兼1
	社会	基本的人権論	2前		2							兼1
	I	地方自治論	2前		2							兼1
	関す	感性の科学	2前		2							兼1
	る 科	国際文化論	2前		2							兼1
	14	異文化交流B	2前		2							兼1
		地域再生システム論	1前		2			1				兼2
		キャリアデザイン	2後		2							兼1
		スポーツ実習 a	1前		1							<b>兼3</b>
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							兼1
		臨海実習	1-2-3-4前		1	İ		İ	İ			兼4
		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3
		海外研修	1-2-2-4前-後		1							兼3
		社会体験実習	1-2-3-4前		1		1					兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		4	1				兼3
		短期インターンシップ	3前・後		2		4	1				兼3
		長期インターンシップ	3前・後		3		4	1				兼3
		連携教養科目	1-2-3-4前-後			L	L	L	L			
		小計 (36 科目)	_		58		5	2		1		兼2
ļ		日本語 A-1	1-2-3-4前		1		L					兼1
		日本語 B-1	1-2-3-4前		1							兼1
		日本語 C-1	1-2-3-4前		1							兼1
	日本	日本語 D-1	1-2-3-4前		1							兼1
	語	日本語 A-2	1-2-3-4接		1							兼1
	科目	日本語 B-2	1-2-3-4接		1							兼1
	-	日本語 C-2	1-2-3-4後		1							兼1
		日本語 D-2	1-2-3-4後		1							兼1

					単位数	t		専任教	等員が	の配置	î	兼
科目 区分		授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
		フレッシュマン英語演習 英語リーディング演習 A	1前	1								兼8 <b>業7</b>
		英語リーディング演習B	1後	1								兼7 兼7
		英語総合演習	2削	1								来/
	外	英語コミュニケーションⅠ	2前・後	1								兼6
	語	英語コミュニケーションⅡ	3前		1							兼2
	科	TOEIC英語演習 I	1後	1	i i							<b>兼</b> 5
	目	TOEIC英語演習 II	3前	2								兼4
		ドイツ語	1前・後		1							兼1
		中国語	1前・後		1							兼1
		小計 (10 科目)	-	8	3							兼18
		地域社会概論	1前	1			1					兼3
		胆振学入門	1前		1							兼1
	地	北海道産業論A	3前		1			1				l
	域連	北海道産業論B	3前		1		1					兼1
	携科	北海道産業論C	3前		1							兼1
	目	インター・テクノロジーA	3前		1		-1					兼1
		インター・テクノロジーB	4前		1		1					兼1
	L	小計 (7 科目)	_	1	6		3	1				兼7
		平和学	1前		1							兼1
		哲学入門	1前		1							兼1
		こころの科学	1前		1							兼1
		経済のしくみ	1前		1							兼1
		日本の憲法	1後	_	2							兼1
		現代社会論	1後		2							兼1
		現代民主主義論	1後		2							兼1
		現代心理学	1後		2							兼1
		運動の科学	1後		2							兼1
		経済事情	1後		2							兼1
		医の科学	1後		2							兼1
_		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
般 教		青少年と文化	1後		2					1		兼1
養 教		異文化交流 A ドイツの文化	1後		2							兼1
育		中国の文化	1後・2前1後・2前		1							兼1 兼1
	人と	環境経済論			1 2							来1
	社会	基本的人権論	2前		2							1
	IC	地方自治論	2前		2							兼1 兼1
	関す	感性の科学	2前		2							兼1
	る科	国際文化論	2前		2							兼1
	目	異文化交流B	2前		2							兼1
		地域再生システム論	1前		2			1				兼2
		キャリアデザイン	2後		2			Ė				兼1
		スポーツ実習a	1前		1							<b>₩</b> 3
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼2
		スポーツ実習 d	1後		1							兼3
		臨海実習	1-2-3-4前		1							兼3
		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2			Ì		Ì		兼3
		海外研修	1-2-3-4薪-後		1							兼3
		社会体験実習	1-2-3-4前		1		1					兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		5					兼3
		短期インターンシップ	3前・後		2		5					兼3
		長期インターンシップ	3前・後		3		5					兼3
		連携教養科目	1-2-3-4前-後									
		小計 ( 36 科目)	_		58		6	-1		1		兼2
		日本語 A-1	1-2-3-4前		1							兼1
		日本語 B-1	1-2-3-4前		1							兼2
		日本語 C-1	1-2-3-4前		1							兼2
	日本	日本語 D-1	1-2-3-4前		1							兼1
	語	日本語 A-2	1-2-3-4後		1							兼1
	科目	日本語 B-2	1-2-3-4後		1							兼1
		日本語 C-2	1-2-3-4後		1							兼1
		日本語 D-2	1-2-3-4後		1							兼1
		小計(8科目)			8							兼2

### 専任教員等の配置 単位数 授業科目の名称 准教 線形件数△ 1前 兼3 線形代数B 1後 2 兼3 微分積分A 1前 2 **#4** 微分積分B 1後 2 兼4 微分積分C 2前 物理学A 1前 2 兼3 物理学B 1後 1 2 兼5 物理学C 1後 1 兼5 2 化学 1後 兼4 2 牛物学 1後 2 兼4 環境科学 2前 2 フレッシュマンセミナー 1前 1 1 2 兼0 知的財産所有権論 3前 1 兼2 小計 (13科目) 18 4 7 2 理工学部共通科 情報セキュリティ入門 1前 2 兼4 データサイエンス入門 1後 2 2 兼6 プログラミング入門 2 1後 小計 (3 科目) 6 兼10 2 1 1後 兼3 化学・生物学概論 1前 2 電気回路基礎 2前 2 4 電磁気学基礎 2前 2 4 材料の力学A 1 2前 1 材料の力学B 2前 1 1 1 流れの力学A 2前 1 流れの力学B 1 2前 熱力学基礎A 2前 1 1 熱力学基礎B 2前 1 計測工学 2前 1 1 1 工学概論 1 2 3 2前 工学技術者倫理 3後 2 4 2 小計 (13 科目) 17 13 11 2 兼7 統計的データ処理 2後 2 3 2 情報科目 現代情報学概論 2前 2 確率統計 2前 2 1 3 2 小計 (3 科目) 6 兼4 1 4 2 十木工学概論 2後 1 2 建築学概論 3 1 兼1 2後 1 5 プロジェクト評価 2後 1 図学 2後 1 都市計画 2後 1 2 空間の環境 2後 1 1 建設構造力学 2後 1 建設材料学 2後 1 6 卒業研究 4通 4 11 4 - 第1 小計 (9 科目) 14 11 4 兼1 建築設計基礎 2後 1 建築設計 I 2後 1 2 建築設計Ⅱ 3前 2 2 建築設計皿 2 3後 1 建築設計IV 4前 2 3 (建築土木工学コース) 建築史 3前 1 建築設計論 3後 2 建築計画 I 3前 2 1 建築計画Ⅱ 3後 建築構法計画 1 3前 2 建築学トラッ 都市マネジメント 3前 2 1 都市地域計画 I 2後 都市地域計画 Ⅱ 2 3前 1 小計 (13 科目) 15 8 4 建築環境工学I 2後 建築環境工学Ⅱ 3前 2 1 建築設備 3後 2 1 寒地建築環境工学 3後 建築材料 I 2後 1 1 生産 建築材料Ⅱ 3前 2 1 建築材料実験 3前 建築施工 2 1 3後 小計 (8 科目) 8 5

		牛度	1	Ι		単位数	+		ま 仁 幺	- 吕笙	の配置	1	兼
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助助	助	任・兼
					修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
			線形代数A	1前	2								兼3
			線形代数B	1後	2								兼3
			微分積分A	1前	2								<b>兼</b> 3
			微分積分B	1後	2								兼3
	理		微分積分 C	2前	2								兼4
	工学		物理学A	1前	2				1				₩3
	部共		物理学B	1後	1			1	1				兼2
	通		物理学C	1後	1			1	1				兼2
	科目		化学	1後		2							兼4
			生物学 環境科学	1後	2	2							兼4 兼4
			環境付子 フレッシュマンセミナー	2前	1			1	2		1		<b>兼1</b>
			知的財産所有権論	3前	1			-			<u>'</u>		兼2
			小計 (13 科目)		18	4		6	5		1		<b>兼26</b>
	理		情報セキュリティ入門	1前	2	4		•	,		<u>'</u>		兼4
	工学	情	データサイエンス入門	1後	2			2	1				兼6
目	部共	報科	プログラミング入門	1後	2			-	-				兼4
	通科	目	小計 (3 科目)	-	6			2	1				兼10
			TABLE ( S TAFE)	1後	1			-	-		1		兼3
			化学・生物学概論	1前	2						Ė		兼4
			電気回路基礎	2前	2			2	2				707
			電磁気学基礎	2前	2			4	-				兼1
			相級X子型能 材料の力学A	2前	1			Ť	1		1		an I
		専	材料の力学B	2前	1			1	2		<u> </u>		
4	i)	門	流れの力学A	2前	1			Ė	1				
i	告	基礎	流れの力学B	2前	1			1					
-	I 学	科目	熱力学基礎A	2前	1			1					
#	il H		熱力学基礎B	2前	1				1				
i	圅		計測工学	2前	1			1	1				
	4 ∃		工学概論	2前	1			3	2				
	_		工学技術者倫理	3後	2			5	1				
			小計 (13 科目)	J18	17			15	9		2		兼8
			統計的データ処理	2後	2				3		1		
		情	現代情報学概論	2前	2				3		•		兼3
		報科	確率統計	2前	2			2	3		1		
		目	小計 (3 科目)	2 HIJ	6			2	5		1		<b>₩</b> 3
	1		土木工学概論	2後	1			3	•		•		
			建築学概論	2後	1			2	5		2		兼1
			プロジェクト評価	2後	1			-	1		_		JK I
	=	-	図学	2後	1						1		
	7		都市計画	2後	1			1	1				
	j j	ŧ ĸ	空間の環境	2後	1			1	•				
	<b></b>	4	建設構造力学	2後	1			•	1				
	E	1	建設材料学	2後	1			1	1				
			卒業研究	4通	6			7	9		3		兼1
			小計(9科目)	4 <u>1111</u> —	14			7	9		3		兼1
	<del>                                     </del>		建築設計基礎	2後	1			<u>'</u>	•		1		an '
			建築設計Ⅰ	2後	1			1	1		<u> </u>		
= -			建築設計Ⅱ	3前	2			<u> </u>	2				
ス			建築設計皿	3後	2				1				
科目			建築設計IV	4前	-	2			3				
建			建築史	3前	2	<u> </u>			J		1		
築		設計	建架工	3後	2				1		_		
土木		# <del>+</del>	建築計画Ⅰ	3前	2				1				
エ		画	建築計画Ⅱ	3後	-	2			1				
学 コー	7.4b		建築構法計画	3前	2	<u> </u>			1				
I ス	建築		都市マネジメント	3前		2		1					
0	学ト		都市地域計画I	2後	1	É		Ė	1				
	ラッ		都市地域計画Ⅱ	3前	<u> </u>	2			1				
	ク		小計 ( 13 科目)	- Jilli	15	8		1	3		1		
			建築環境工学 I	2後	10	v		1	٠		<u> </u>		
			建築環境工学Ⅱ	2後	2			<u> </u>					兼1
			建築環境工学工	3削	2								兼1
		環	寒地建築環境工学	3後	-	2							<b>業1</b>
		境	泰地建業環境工子 建築材料 I		-1			-1					<b>Ж</b> !
		生	建築材料Ⅱ	2後	1	_		1					
		産	建築材料実験	3前		2		1					
				3前	_	1		1			1		
			建築施工 小計 ( 2 封 日 )	3後	2	-		1			_		***
			小計 (8 科目)	_	8	5		2			1		兼1

						単位数	ţ		専任教	負等	の配置	ì	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			建築構造力学 I	2後	1				1				
			建築構造力学Ⅱ	3後		3					1		
			建築構造力学Ⅲ	4前		2			1				
		444	建築鋼構造	3前	2								兼1
		構造	建築鉄筋コンクリート構造	3前	2				1				
	建		建築構造演習	3後		2			1				兼1
	築学		基礎構造	3後		2					1		
	-		建築構造設計演習	4前		2			1		1		
	ラッ		小計 (8 科目)	-	5	11			1		1		兼1
	ク	宯	建築学演習 I	2後	1			1	5		3		兼1
		践	建築学演習Ⅱ	3前	1			1	1				
		実	建築学演習Ⅲ	3後	2			1	5		3		兼1
		務	建築法規	3後	2				1		1		
		関	建築測量学実習	4前		1		1					
		連	小計 (5 科目)	-	6	1		1	5		3		兼1
			土質力学 I	2後	2				1				
			土質力学Ⅱ	3前	2			1					
			応用土質力学	3後	2			1					
		地盤	土木地質学	4前	_	1		·	1				
	ĺ	系	防災地盤工学	4前		1	-		1		-	-	$\vdash$
	ĺ		火山防災工学	3前	2	<del>L'</del>	-		1		-	-	$\vdash$
	ĺ		小計 (6 科目)	3削	8	2		-	2			_	$\vdash$
		_	小計 ( b 科目) 土木構造力学 I	_			<u> </u>	1		1		<u> </u>	_
_				2後	1					1			$\vdash$
- 1			土木構造力学Ⅱ	3前	2	-	-			1	-		<del> </del>
ス 科			応用構造力学	3後	L-	1		-	-	1			_
目	ĺ	構	振動工学	3後	2	-	-	-	1		-	-	-
建		造	コンクリート工学	2後	1				1				
築土		材	土木工学創造演習	2後	1				2	1			
木		料系	コンクリート構造学 I	3前	2				1				
工学			コンクリート構造学Ⅱ	3後		1			1				
- n -			維持管理工学	4前		1			2	1			
   ス			鋼構造学	3後	2				-1				
0			小計 (10 科目)	-	-11	3			2	1			
	土木		水理学 I	2後	2			1					
	エ		水理学Ⅱ	3前	2			1					
	学ト		応用水理学	3後	2			2					
	ラッ	水工	水文学	4前		1		1					
	ク	系	海岸・海洋工学	4前		1		1					
			港工学	4前		1		1					
			河川計画学	4前		1		1					
			小計 (7 科目)	-	6	4		2					
		計	地域計画	2後	1				1				
		画	交通システム計画	3前	2				1				
		交	建設マネジメント	4前		2			1		1		
		通系	小計 (3 科目)	_	3	2			1		1		
			環境衛生工学	3後	Ė	1			1		Ė		H
		衛生	廃棄物工学	3後		1			1				1
		系	小計(2 科目)	-		2	-		1		<del>                                     </del>	-	$\vdash$
			測量学	3前	2		-		Ė		1	-	$\vdash$
	ĺ				-			•			1	-	H
			測量学実習	340	- 1				1				<b>—</b>
		実践	測量学実習 +太実験	3前	1			2	1	1			
		践・	土木実験	3前	1			2	3	1	1		
		践・実	土木実験 土木工学ゼミナール	3前		4		2	3	1	1		
		践・実務・	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習	3前 3後 3後	1 2	1		2	3	1			
		践・実務	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理	3前 3後 3後 2後	1			2	3	1	1		
		践・実務・関	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング	3前 3後 3後 2後 4前	1 2	1			3 1 1		1 1		
		践・実務・関	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計(7科目)	3前 3後 3後 2後 4前	1 2			2	3	1	1		
		践・実務・関	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用ブログラミング 小計(7科目) 熱力学	3前 3後 3後 2後 4前 -	1 2	1 2			3 1 1		1 1 1		
		践・実務・関	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用ブログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学	3前 3後 3後 2後 4前 - 2後 3後	1 2 7 2	1		2	3 1 1		1 1 1 1		
-		践・実務・関連	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用ブログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I	3前 3後 3後 2後 4前 - 2後 3後 2後	1 7 2	1 2		2	3 1 1		1 1 1		
- 1	31 I	践・実務・関連 カ学	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用ブログラミング 小計(7科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 流体力学 I	3前 3後 3後 2後 4前 一 2後 3後 2後	1 2 7 2	1 2		2	3 1 1		1 1 1 1		
     カ	 ス 	践 · 実務 · 関連 力学系科	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 液体力学 I	3前 3後 3後 2後 4前 - 2後 3後 2後	1 7 2	1 2		2	3 1 1		1 1 1 1		
       	 ス       	践・実務・関連 力学系科目	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 流体力学 I 材料力学 I 材料力学 I	3前 3後 3後 2後 4前 一 2後 3後 2後 3前 2後 3前	1 7 2 2 2 2	1 2		2 1	3 1 1		1 1 1 1		
   フ           	ス 料 目 〜 機	践・実務・関連 力学系科	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計(7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 材料力学 I 材料力学 I 樹橋カ学 I	3前 3後 3後 2後 4前 - 2後 3後 2後 3前 2後	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2	1 2		2 1	3 1 1		1 1 1 1		
   フ   表   目   材   材	ス料目〜機械コ	践・実務・関連 力学系科目	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 流体力学 I 材料力学 I 材料力学 I	3前 3後 3後 2後 4前 一 2後 3後 2後 3前 2後 3前	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2	1 2		2 1	3 1 1	1	1 1 1 1		
一 ク 利 目 一 材 材 ロ オ	ス斗目(機成コド	践・実務・関連 力学系科目	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計(7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 材料力学 I 材料力学 I 樹橋カ学 I	3 mm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2		2 1	3 1 1	1	1 1 1 1		
一 ク 利 目 一 材 材 ロ オ	ス斗目(機成コド	践・実務・関連 力学系科目	土木実験 上木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 材料力学 I 材料力学 I 機械力学 I 機械力学 I	3 mm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm 3 cm	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2		1 1 1	3 1 1	1 1 1	1 1 1 1 1 1		
一つ利用へ材材に対される	ス斗目(幾成コドツトエ	践・実務・関連 力学系科目群 シ	土木実験 上木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 液体力学 I 材料力学 I 根様オク学 I 根様オク学 I 根様オク学 I 根様オク学 I	3前 3後 2後 4前 - 2後 3後 2後 3前 2後 3前 2後 3前	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2 14	2		1 1 1 3	3 1 1	1 1 1	1 1 1 1 1 1		
一之利臣(林村丘才)一二学	Ⅰ ス科目 〜 機戒コボツトエ学	践・実務・関連 力学系科目群	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 液体力学 I 材料力学 I 根様力学 I 根様カ学 I 機械力学 I 機械力学 I 機械力学 I 機械力学 I 制御工学	3 前 3 後 3 後 2 後 4 前 - 2 後 3 前 2 後 3 前 2 後 3 前 2 後	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2 14 2 2	2		1 1 1 1 3 3 1	3 1 1	1 1 1	1 1 1 1 1 1		
一之和目《枝枝四才》一二学二一	ス斗目(幾城コボツトエ学コ	践・実務・関連 力学系科目群 システム	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 流体力学 I 材料力学 I 根板力学 I 根板力学 I 根板力学 I 根板力学 I 根板力学 I 根板力学 I 制御工学 システム制御工学	3前 3後 2後 4前 - 2後 3前 2後 3前 2後 3前 2後 3前 2後	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2 14 2 2 2 2	2		1 1 1 1 3 3 1	4	1 1 1	1 1 1 1 1 1		
一之利臣(林村丘才)一二学	ス斗目(幾城コボツトエ学コ	践・実務・関連 力学系科目群 システム系科	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 流体力学 I 材料力学 I 根板力学 I を 8 科目) 制御工学 システム制御工学 電気電子工学	3前 3後 2後 4前 - 2後 3後 2後 3前 2後 3前 2後 3前 2後 3前 2後	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2		2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4	1 1 1	1 1 1 1 1 1		
一之和目《枝枝四才》一二学二一	ス斗目(幾城コボツトエ学コ	践・実務・関連 力学系科目群 システム系	土木実験 土木工学ゼミナール 設計製作演習 空間情報処理 土木応用プログラミング 小計 (7 科目) 熱力学 伝熱工学 流体力学 I 流体力学 I 材料力学 I 模様力学 I 機様カ学 I 機様カ学 I 小計 (8 科目) 制御工学 システム制御工学 システム制御工学 電気電子工学 計測システム工学	3前 3後 2後 4前 - 2後 3前 2後 3前 2後 3前 - 2後 3前 2後	1 2 1 7 2 2 2 2 2 2 2 14 2 2 2 2	2		2 1 1 1 1 1 1	4	1 1 1	1 1 1 1 1 1		

		十尺	<u>-</u> 			単位数	ţ		専任教	員等	の配置	î	兼
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	宓	選	自	教	准	满	助	助	任・兼
					修	択	由	授	教 授	師	教	手	担担
			建築構造力学I	2後	1						1		
			建築構造力学Ⅱ	3後		3			1				
			建築構造力学Ⅲ	4前	_	2			1				
		構	建築鋼構造 建築鉄筋コンクリート構造	3前	2								兼1
		造	建築構造演習	3前		2			1				兼1
	建築		基礎構造	3後		2			1				JK I
	学ト		建築構造設計演習	4前		2			2				
	トラッ		小計 (8 科目)	-	5	11			2		1		兼1
	Ź	-	建築学演習 I	2後	1			2	5		2		兼1
		実践	建築学演習 Ⅱ	3前	1			2					
		実	建築学演習Ⅲ	3後	2			2	5		2		兼1
		務	建築法規	3後	2				2				
		関	建築測量学実習	4前		1					1		
		連	小計 (5 科目)	-	6	1		2	5		2		兼1
			土質力学 [	2後	2			1					
			土質力学Ⅱ	3前	2			1					
		地	応用土質力学	3後	2			1					
		盤系	土木地質学	4前		1			1				
		, AK	防災地盤工学	4前		1		1					
		Ì	火山防災工学	3前	2				1				_
			小計 (6 科目)	-	8	2		2	1				
			土木構造力学Ⅰ	2後	1		<u> </u>	1					
п — .		Ì	土木構造力学Ⅱ	3前	2	-		1					<u> </u>
ス科		Ì	応用構造力学 振動工学	3後	-	1		1					
<b>=</b>		構造	振動工学コンクリート工学	3後	2			1	4				
建		造	コングリート工学 土木工学創造演習	2後	1		-	1	1				
築土		材料	コンクリート構造学Ⅰ	3前	2			•	1				
ホエ		系	コンクリート構造学Ⅱ	3後	-	1			1				
学			維持管理工学	4前		1		1	1				
<b>=</b>			鋼構造学	3後	2			1	•				
<u>ス</u>			小計 (10 科目)	-	11	3		1	1				
	±		水理学 I	2後	2			1					
	木工		水理学Ⅱ	3前	2			1					
	学ト		応用水理学	3後	2			2					
	ラッ	水	水文学	4前		1		1					
	ック	五系	海岸・海洋工学	4前		1		1					
			港工学	4前		1		1					
			河川計画学	4前		1		1					
			小計 (7 科目)	-	6	4		2					
		計画	地域計画	2後	1				1				
			交通システム計画	3前	2				1				
		交通	建設マネジメント	4前		2			1		1		
		系	小計 (3 科目)	-	3	2			1		1		
		衛	環境衛生工学	3後		1			1				
		生系	廃棄物工学	3後		1	<u> </u>		1				
		Ë	小計 (2 科目)	-		2			1				
			測量学	3前	2						1		
		実	測量学実習	3前	1		-	_	1		1		$\vdash$
		践・	土木実験	3前	1			3	2		1		<b>—</b>
		実務	土木工学ゼミナール 設計製作演習	3後	2	1		-	1		1		<b>—</b>
		関	空間情報処理	3後 2後	1		<b> </b>	1			1		
		連	主向前報処理 土木応用プログラミング	4前	<u> </u>	1					1		
		Ì	小計(7科目)	4 HII —	7	2	-	4	3		1		
			熱力学	2後	2	Ė		1	-		Ė		
		Ì	伝熱工学	3後		2					1		
=			流体力学Ⅰ	2後	2						1		
		力学	流体力学Ⅱ	3前	2			1					
	4	系科	材料力学I	2後	2			1					
	1	目	材料力学Ⅱ	3前	2		İ	1					
枋	幾	群	機械力学Ⅰ	2後	2					1			
	成		機械力学Ⅱ	3前	2					1			
7	ド ソ	L	小計 (8 科目)	-	14	2		3		1	2		
	-		制御工学	2後	2			1					
4	ž	シス	システム制御工学	3前	2			1					
1	]	テム	電気電子工学	2後	2				1				
	3	系	計測システム工学	2後		2		1	1				
		科目	ロボット工学	3前	2			1					
		群	知能ロボット応用学	3後		2	<u> </u>	1					
		<u> </u>	小計 (6科目)	_	8	4	<u> </u>	3	2				

41-					単位数	ŧ		専任教	<b>支員等</b>	の配置	ì	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	*
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
		機構学	2後		2		1					
=	I	機械システム設計学	3前		2			1				
l ス	ンジ	機械製作学	3後		2				1			
科	=	機械材料学	3後		2					1		
目	アリ	機械製図	2後	2				1				
機	ン	機械工作法実習	3前	2			1		1			
械口	グデ	機械ロボット工学実験	3前	2			8	3	2	4		
ボ	ザ	機械ロボット工学演習	3後	2			2	1	2	4		
ット	イン	機械ロボット工学設計法	4前	2			1	3	2	4		
I		技術英語	3前	2			<u>'</u>	1		-		
学コ	実験	技術コミュニケーション						-				
п —	科		3後	2			1	l .	-	_		
3	目群	卒業研究 I	4前	4			8	4	2	5		
		卒業研究Ⅱ	4後	6			8	4	2	5	-	-
	Æ	小計 (13 科目)	_	24	8		8	4	2	5		
	典数	応用解析学I	2後	2				1		1		
	学 科	応用解析学Ⅱ	3前	2			1			1		
	群	小計 (2 科目)	-	4			1	1		1		
		飛行力学 I	2後	2				1				
	空	飛行力学Ⅱ	3前		2			1	1	1	1	
	カ	数值流体力学	3後		2			1				
	科目	空気力学	3前	2				1				
	群	航空機設計法I	3後	2				1				
		小計 (5 科目)	-	6	4			2		1		
	機	航空宇宙構造工学 I	2後	2			1	1				
	体構	航空宇宙構造工学Ⅱ	3前	2			1	Ė	<del> </del>	H	<del> </del>	
	造	航空宇宙構造工学Ⅲ		- 2			-	-	-		-	
	材料		3後		2			1				
_	科目	航空宇宙機械力学	2後	2					<u> </u>	1	<u> </u>	
	群勝	小計 (4 科目)	_	6	2		1	1		1		
ス 科	導	航空宇宙制御工学 I	2後	2						1		
目	81	宇宙航行工学	3前		2		1					
航	御料	航空宇宙制御工学 II	3後		2		1					
空	群	小計 (3 科目)	-	2	4		1		İ	1	İ	
宇宙		航空宇宙熱力学	2後	2						1		
I	推進	ロケット工学	3前		2		2			1		兼1
学	エ	ジェットエンジン	3後		2					1		
п 	学科	燃焼工学	2後		2			1				
3	目	伝熱学	3前		2		1			1		
	群	小計 (5 科目)	-	2	8		2	1		1		兼1
	<sub>11</sub> 子電	航空宇宙電気電子工学	256	2	0		1					JK I
	科工気 目学電		2後	_								
	子屯	小計 (1 科目)	-	2			1		<u> </u>		<u> </u>	
	学	機械製図	2後	1				1				
	系実	航空宇宙工学製図	3後	2			1			2		
	践力	航空宇宙工学特別講義	4通	1			3					
	シ	宇宙機設計法	4前		2		4	3		3		兼1
	ス	航空機設計法Ⅱ	4前	LĪ	2	LĪ		1	L	$L^{  extsf{T}}$	L	L
	テム	航空宇宙工学実験	3前	2			2	1		2		
	設	航空宇宙工学セミナー	3後	2			4	4		3		兼1
	能	卒業研究 I	4前	4			4	4		3		兼2
	力科	卒業研究Ⅱ	4後	6			4	4		3	<u> </u>	兼2
	目群	小計 (9 科目)		18	4		4	4		3		兼2
		電磁気学	2後	2	H		1	Ė	<del>                                     </del>	Ť	<del>                                     </del>	
	電子	電磁気学演習	2後	2			1			2		-
	物	電子物性		2	ļ	<b>-</b>		<del>                                     </del>	<del>                                     </del>		<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
	性デ		2後				1	-	<b>-</b>	<u> </u>	<u> </u>	
	バ	半導体工学	3前	2	-	ļ	1	1	<del> </del>	<u> </u>	<del> </del>	ļ
п	イス	電気電子材料	3後		2		1	<u> </u>	<u> </u>	igspace	<u> </u>	
ス	<u> </u>	小計 (5 科目)	_	8	2		2	<u> </u>	ऻ—	2	<u> </u>	
科		電気回路	2後	2				1	<u> </u>		<u> </u>	
<b>=</b>		電気回路演習	2後	2				1		2		
電		電磁エネルギー変換工学	3前		2		1		<u> </u>		<u> </u>	
気電		高電圧工学	3前	L	2	L	1				L	L
子	電	制御工学	3前		2		1					
工学	気	電力発生工学	3後		2			1				
, п —	エネ	送配電工学	3後		2		1					
ا ح	ル	電気機器学	3後		2			1				
	ギー	パワーエレクトロニクス	3後		2		1	<del>ا</del>	<del>                                     </del>		<del>                                     </del>	
	1							<u> </u>	<del> </del>	$\vdash$	<del> </del>	-
		原子力工学	4前		1		1	<u> </u>	-	$\vdash$	⊢—	-
			4.04									
		電気関係法規・電気施設管理	4前		1		1					
		電気関係法規・電気施設管理 電気機器設計製図 小計 (12 科目)	4前 4前		2		2	1 2				

科目		授業科目の名称	配当年次	必	単位数	X 自	教	<b>学</b> 1仕名	X 貝 寺 講	の配置助	助	1
区分		技术科目の名称	年 次					教				3
	1	機構学	2後	修	択 2	由	授 1	授	師	教	手	
		機械システム設計学			2			1				┢
= 	エン		3前		_				l .			┢
ス	ジ	機械製作学	3後		2				1			┢
科 目	ニア	機械材料学	3後		2					1		L
_	IJ	機械製図	2後	2				1				L
機 械	ング	機械工作法実習	3前	2			1		1			L
	デ	機械ロボット工学実験	3前	2			8	3	2	4		
ボッ	ザイ	機械ロボット工学演習	3後	2			2	1	2	4		
۲	نٰ	機械ロボット工学設計法	4前	2			1	3	2	4		
工 学	実	技術英語	3前	2				1				
i 	験	技術コミュニケーション	3後	2			1					
2	科目	卒業研究 I	4前	4			8	4	2	5		Ī
<u> </u>	群	卒業研究Ⅱ	4後	6			8	4	2	5		İ
		小計 (13 科目)	_	24	8		8	4	2	5		t
	応用	応用解析学I	2後	2				1				t
	数学科	応用解析学Ⅱ	3前	2			1	<u> </u>				H
	Ħ	小計 (2 科目)		4			1	1				H
	群		-	<u> </u>								H
		飛行力学 I	2後	2				1				Ł
	空中	飛行力学Ⅱ	3前		2		1	1			ļ	L
	力科	数值流体力学	3後		2			1				L
	目群	空気力学	3前	2				1				L
	群	航空機設計法I	3後	2				1				L
		小計 (5 科目)	-	6	4		1	2				Ĺ
	機体	航空宇宙構造工学 I	2後	2	L_	L_		1	L_	L_		Ĺ
	構造	航空宇宙構造工学Ⅱ	3前	2								*
	· 材	航空宇宙構造工学Ⅲ	3後		2			1				Ī
	料料	航空宇宙機械力学	2後	2	l	l	1	1	l	l		t
<b>=</b>	目群	小計 (4 科目)	-	6	2		1	2				*
ス	誘導	航空宇宙制御工学 I	2後	2			1					f
科		宇宙航行工学	3前	_	2		1					t
<b>B</b>	御	航空宇宙制御工学Ⅱ	3後		2		1					H
航	科目		り技	•	_							H
空宇	群	小計(3科目)	-	2	4		1					┢
宙	推	航空宇宙熱力学	2後	2	_		_			1		Ł
工 学	進	ロケット工学	3前		2		1			1		*
-	工学	ジェットエンジン	3後		2					1		L
ا ح	科	燃焼工学	2後		2			1				L
$\cup$	目群	伝熱学	3前		2		1			1		
		小計 (5 科目)	_	2	8		1	-1		1		*
	子電 科工気	航空宇宙電気電子工学	2後	2			1					
	日学電	小計 ( 1 科目)	-	2			1					
	工学	機械製図	2後	1				1				T
	系	航空宇宙工学製図	3後	2						1		*
	実践	航空宇宙工学特別講義	4通	1			2					*
	n h	宇宙機設計法	4前		2	1	3	3	1	1		*
	シ	航空機設計法Ⅱ	4前		2		Ť	1		<del>-                                    </del>		f
	ス テ	航空宇宙工学実験		•		-	3	1	-	-	-	۲
	ム設	航空宇宙工学表験	3前	2	-	-			-	<b>.</b>		L
	81		3後	2	-	-	3	4	-	1		*
	能力	卒業研究 I	4前	4	-	-	3	4	-	1	ļ	<b>兼</b>
	科目	卒業研究Ⅱ	4後	6			3	4		1		兼
	群	小計 (9 科目)	_	18	4	ļ	3	4	ļ	1		*
	電	電磁気学	2後	2			1					L
	子物	電磁気学演習	2後	2			1			1		Ĺ
	性	電子物性	2後	2	L_	L_	1	1	L_	L_	L_	Ĺ
	デバ	半導体工学	3前	2			1					
7	1	電気電子材料	3後		2		1					Γ
1	ス	小計 (5 科目)	_	8	2		2	1		1		Γ
ス 科		電気回路	2後	2			1					T
目	ĺ	電気回路演習	2後	2			1			2		t
電		電磁エネルギー変換工学	3前	Ė	2	-	1		-	<u> </u>		H
気		高電圧工学	3前		2	<del>                                     </del>	1		<del>                                     </del>	<del>                                     </del>		H
電 子					_	1			1	1		H
I	電気	制御工学	3前	-	2	<u> </u>	1		<u> </u>	<u> </u>		H
学っ	エ	電力発生工学	3後		2	<u> </u>	1		<u> </u>	<u> </u>		L
<b>=</b>	ネル	送配電工学	3後		2	ļ	1		ļ	ļ		L
3	ギ	電気機器学	3後		2		1					L
	I	パワーエレクトロニクス	3後		2		1					Ĺ
		原子力工学	4前		1		1					Γ
	ĺ	電気関係法規・電気施設管理	4前		1	i i	1		i i	i i		T
	ĺ	電気機器設計製図	4前		2	t	1		t	t		t
			. 129				Ŀ.					1_

					単位数	ţ		専任教	負等	の配置	Ì	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	*
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		電子回路 I	2後	2			1					
		計測システム工学	2後	2			1					
		デジタル回路	2後	2			1					
		電子回路 II	3前	2				1				
=	81	信号処理	3前		2			1				
ス	測	通信工学	3前		2		1					
科目	通信	情報符号理論	3前		2		1					
_	10	無線伝送工学	3後		2		1					
電気		伝送回路工学	3後		2		1					
電 子		通信網工学	3後		2		1					
т		電気通信関係法規	4前		1		1					
学コー		小計 ( 11 科目)	-	8	13		3	2				
I	± >	工学演習 I	2後	2				1		1		
<u> </u>	9 = 7	工学演習 Ⅱ	3前	2				1		1		
	リング	電気電子工学実験A	3前	4				1		3		兼1
	ク デ ザ	電気電子工学実験B	3後	4				3		2		
	۲ ک	卒業研究	4通	10			7	7		5		兼1
	実験	小計 (5 科目)	-	22			7	7		5		兼1
	合計	( 260 科目)	-	267	188		23	26	3	17		兼73

- 本語科目の履修要件等 ・外国人留学生を対象として開議する授業科目である。 ・外国語科目として履修することができる。 ・外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値 (GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件及び履修方法

卒業要件 (一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上, 地域連携科目2単位以上, 人と社会に関する科目12単位以上, その他外国語科目, 地域連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上, 合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1. 理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 建築士木工学コース)
  1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上格得すること。
  2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位、選出外目4日。4単位以上)、合計56単位以上(ただし、選択科目A・2単位以上、選択科目B・4単位以上)、合計56単位以上、30円の公務を表育24世位、理工学部共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

卒業要件 (創造工学科 機械ロボット工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

卒業要件 (創造工学科 航空宇宙工学コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件 (創造工学科 電気電子工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から28単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

### 【令和2年度】

				j	単位数	t		専任教	員等	の配置	ì	兼任
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		電子回路 I	2後	2			1					
		計測システム工学	2後	2								兼1
		デジタル回路	2後	2			1					
		電子回路Ⅱ	3前	2				1				
3 		信号処理	3前		2			1				
- ス 科	計測	通信工学	3前		2		1					
科目	通信	情報符号理論	3前		2		1					
_	16	無線伝送工学	3後		2		1					
電気		伝送回路工学	3後		2		1					
電		通信網工学	3後		2		1					
I		電気通信関係法規	4前		1		1					
気電子工学コー		小計 ( 11 科目)	-	8	13		2	2				兼1
	エン	工学演習I	2後	2				1		1		
<u>ح</u>	- 7	工学演習Ⅱ	3前	2				2				
	y 5	電気電子工学実験A	3前	4				2		2		兼1
	グ テ ザ	電気電子工学実験B	3後	4			1	2		1		
	4 5	卒業研究	4通	10			8	6		3		兼1
	実験	小計 (5 科目)	-	22			8	6		3		兼1
	合計 (	( 260 科目)	-	267	188		26	23	2	12		兼86

- 本語科目の履修要件等 . 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。 . 外国語科目として履修することができる。 . 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

**団修科目の上限 毎年期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成額平均値** (GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件 (一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上, 地域連携科目2単位以上, 人と社会に関する科目12単位以上, その他外国語科目, 地域連 携科目及び人社会に関する科目から1単位以上, 合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目,創造工学科共通科目) 1. 理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 建築土木工学コース)
  1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目24単位以上、会計56単位以上を特件すること。
  2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位、選邦科目4、日から7単位以上(ただし、選択科目A:2単位以上、選択科目B:4単位以上)、合計56単位以上(修得すること。
  3. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 機械ロボット工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

- 卒業要件 (創造工学科 航空宇宙工学コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得 すること。

- 卒業要件 (創造工学科 電気電子工学コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目42単位,選択科目14単位以上,合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め,合計129単位以上修得 すること。

# (1)一① 授業科目表 【**認可時又は届出時**】

	- 目		配当		単位数					の配置		· 任
É	分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		フレッシュマン英語演習	1前	修 1	択	由	授	授	師	教	手	推 兼1
		英語コミュニケーション演習	1前	1								兼1
		TOEIC英語演習 A	1後	1								兼1
	外	英語リーディング演習	1後	1								兼1
	語	TOEIC英語演習B	2前	1								兼1
	科目	英語総合演習	2前	1								兼1
		ドイツ語	1前		1							兼1
		中国語	1前		1							兼1
		小計 (8 科目)	-	6	2							兼3
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							兼1
		臨海実習	1-2-3-4前		1							兼1
		社会体験実習	1-2-3-4前		1		1					兼2
_		海外研修	1-2-3-4前-後		1							兼3
般教		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3
養教		表現技法	1前		1							兼1
育	人	キャリアデザイン	2後		2							兼1
	۲	地域再生システム論	1前		2			1				兼2
	社会	短期インターンシップ	3前・後		2		2					
	に関	長期インターンシップ	3前・後		3		2					
	す	哲学入門	1・2前		1							兼1
	る科	現代社会論	1・2後	L	2		L		L			兼1
	目	こころの科学	1・2前		1							兼1
	Ì	現代心理学	1・2後		2							兼1
		経済のしくみ	1・2前		1							兼1
		経済事情	1・2後		2							兼1
		平和学	1・2前		1							兼1
		日本の憲法	1・2後		2							兼1
		現代民主主義論	1・2後		2							兼1
		小計 ( 20 科目)	-		31		3	1				兼1
		線形代数A	1前	2								兼1
		線形代数B	1後	2								兼1
		微分積分A	1前	2								兼1
Ą		微分積分B	1後	2								兼1
3	Ľ ≱	微分積分C	2前	2								兼1
音	部	物理学A	1前	2				2		1		兼9
il		物理学B	1後	1				2		1		兼5
	∯ <b>∄</b>	物理学C	1後	1				2		1		兼5
	-	化学	1後		2							兼4
		生物学	1後		2							兼4
		フレッシュマンセミナー	1前	1			2					
理	1	小計 (11 科目)	-	15	4		2	3	<u> </u>	1		兼2
工	情	情報セキュリティ入門	1前	2			<u> </u>					兼4
学	報科	データサイエンス入門	1後	2	<u> </u>		2	1				兼6
一学部共		ブログラミング入門	1後	2	l	1						兼4
学部共通	目	151 (0.715)	_	-					l		Ì	
学部共		小計 (3 科目)	-	6			2	1				_
学部共通科		工業物理基礎実験	- 2前	1			2	1				兼3
学部共通科		工業物理基礎実験 化学・生物学概論	- 2前 1前	1 2			2					兼3
学部共通科		工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎	一 2前 1前 2前	2 2				1				兼3
学部共通科		工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎	- 2前 1前 2前 2前	1 2 2 2			1					兼3
学部共通科	専	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学A	一 2前 1前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1			1					兼3
学部共通科目	専門基	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B	2前 1前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 2 1			1 1 1					兼3
学部共通科目	目 専門基礎	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 A	- 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1 1			1 1 1 1					兼3
学部共通科目 夜間主	専門基	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 A 流れの力学 B	一 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1 1 1			1 1 1 1 1 1					兼3
学部共通科目 夜間主コー	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 A 流れの力学 B 熱力学基礎 A	一 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1 1 1 1			1 1 1 1	1				兼3
学部共通科目 夜間主コース	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学A 材料の力学B 流れの力学A 流れの力学B 熱力学基礎A 熱力学基礎B	一 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1	1				兼3
学部共通科目 夜間主コー ス共通	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学A 材料の力学B 流れの力学A 流れの力学B 熱力学基礎A 熱力学基礎B 計測工学	- 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1	1				兼3
学部共通科目 夜間主コー ス共通科	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学A 材料の力学B 流れの力学B 流れの力学B 熱力学基礎A 熱力学基礎B 計測工学 工学技術者倫理	- 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前	1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1	1 1 1				兼1
学部共通科目 夜間主コー ス共通	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学A 材料の力学B 流れの力学B 読れの力学B 熱力学基礎A 熱力学基礎B 計測工学 工学技術者倫理 小計(12 科目)		1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2			1 1 1 1 1 1	1 1 1 3				兼1
学部共通科目 夜間主コー ス共通科	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 B 熱力学基礎 A 熱力学基礎 A 熱力学基礎 B 計測工学 工学技術者倫理 小計(12 科目) 統計的データ処理	- 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2 2 2 2 2 2 2 1 2 1	1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 16 2			1 1 1 1 1 1 1	1 1 1				兼3 兼1
学部共通科目 夜間主コー ス共通科	目 専門基礎科	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 B 熱力学基礎 A 熱力学基礎 A 熱力学基礎 B 計測工学 工学技術者倫理 小計(12 科目) 統計的データ処理 現代情報学概論	一 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2 2 6 2 7 2 7 2 8 7 2 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 16 2			1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 3 2				兼3 兼1
学部共通科目 夜間主コー ス共通科	目 専門基礎科目 情報	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 B 熱力学基礎 A 熱力学基礎 B 計測工学 工学技術者倫理 小計(12 科目) 統計的データ処理 現代情報学概論 確率統計	一 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2 2 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 16 2 2			1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 3				兼3 兼1 兼4
学部共通科目 夜間主コー ス共通科	目 専門基礎科目 情	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学 A 材料の力学 B 流れの力学 B 熱力学基礎 A 熱力学基礎 A 熱力学基礎 B 計測工学 工学技術者倫理 小計(12 科目) 統計的データ処理 現代情報学概論	一 2前 1前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2 2 6 2 7 2 7 2 8 7 2 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 16 2			1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 3 2				兼1 兼3 兼1 兼4 兼1

# 【令和3年度】

		年度】			単位数	ţ		専任教	負等	の配置	1	兼任
科 区		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	1	フレッシュマン英語演習	1前	修 1	択	由	授	授	師	教	手	担 兼1
		英語コミュニケーション演習	1前	1								兼1
		TOEIC英語演習 A	1後	1								兼1
	外	英語リーディング演習	1後	1								兼1
	語	TOEIC英語演習B	2前	1								兼1
	科目	英語総合演習	2前	1								兼1
	В	ドイツ語	1前	· ·	1							兼1
		中国語	1前		1							兼1
		小計 (8 科目)	-	6	2							<b>兼</b> 5
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							<b>₩</b> 3
		臨海実習	1-2-3-4前		1							<b>₩3</b>
		社会体験実習(未開講)	1-2-3-4前		1		1					兼2
_		海外研修	1-2-3-4前-後		1							兼3
般教		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3
養		表現技法	1前		1							兼1
教育	人	キャリアデザイン	2後		2							兼1
	٤	地域再生システム論	1前		2			1				兼2
	社会	短期インターンシップ	3前・後		2		2	Ė				l
	10	長期インターンシップ	3前・後		3		2					<b> </b>
	関す	哲学入門	1・2前		1		Ė					兼1
	る 科	現代社会論	1・2後		2							兼1
	目	こころの科学	1・2前		1							兼1
		現代心理学	1・2後		2							兼1
		経済のしくみ (未開講)	1・2板		1	-						兼1
	Ì	経済事情 (未開講)	1・2削	$\vdash$	2					-		兼1
		平和学 (未開講)										
		日本の憲法 (未開講)	1・2前		1							兼1
			1.2後		2							兼1
		現代民主主義論 (未開講)	1・2後		2		-					兼1
		小計 ( 20 科目) 線形代数 A	-		31		3	1				兼19
			1前	2								兼1
		線形代数B	1後	2								兼1
		微分積分A	1前	2								兼1
題		微分積分B	1後	2								兼1
二 当	学	微分積分C	2前	2								兼1
音		物理学A	1前	2								兼1
i	<u>A</u>	物理学B	1後	1						1		
₹ E		物理学C	1後	1						1		
		化学	1後		2							兼4
		生物学	1後		2							兼4
		フレッシュマンセミナー	1前	1			1					L
19	1	小計 (11 科目)	_	15	4		1			1		兼13
工学	情	情報セキュリティ入門	1前	2						<u> </u>		兼4
部共	報	データサイエンス入門	1後	2	<u> </u>	<u> </u>	2	1	<u> </u>		<u> </u>	兼6
通科	科目	プログラミング入門	1後	2								兼4
目	<u> </u>	小計 (3 科目)	_	6			2	1		<u> </u>		兼10
	Ì	工業物理基礎実験	2前	1								兼2
		化学・生物学概論	1前	2								兼1
	Ì	電気回路基礎	2前	2			1					
		電磁気学基礎	2前	2			1					
	専	材料の力学A	2前	1			1					
	門	材料の力学B	2前	1			1					
夜	基礎	流れの力学A	2前	1			1					
間主	科目	流れの力学B	2前	1			1					
÷		熱力学基礎A	2前	1			1					
T I		熱力学基礎B	2前	1								兼1
コース		計測工学	2前	1			1	1		Ĺ		L
ス 共			3後	2			2			L		L
ス共通科		工学技術者倫理	0100				8	1				兼4
ス共通		工学技術者倫理 小計 (12 科目)	-	16			۰					AK .
ス共通科				16			۰	2				Nr.
ス共通科		小計 ( 12 科目)	_									兼1
ス 共 通 科	情報	小計 (12 科目) 統計的データ処理	2後	2			_					
ス 共 通 科	報 科	小計 (12 科目) 統計的データ処理 現代情報学概論	- 2後 1後	2				2				
ス 共 通 科	報	小計 (12 科目) 統計的データ処理 現代情報学概論 確率統計	- 2後 1後 2前	2 2 2				2				兼1

	_				単位数	ţ		専任教	負等	の配置	ì	兼任
	日分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		熱力学	2後	2			1					
		伝熱工学	3後		2					1		
		流体力学Ⅰ	2後	2						1		
	カ	流体力学Ⅱ	3前		2		1					
	学系	推進工学	2後		2			1				
	科	材料力学Ⅰ	2後	2			1					
	目群	材料力学Ⅱ	3前		2		1					
		航空宇宙構造力学	2後		2			1				
		機械力学Ⅰ	2後	2					1			
		機械力学Ⅱ	3前		2				1			
		小計 ( 10 科目)	_	8	12		3	2	1	2		
⊐ 	シ	電子回路I	2後		2					1		
- ス 科	ステ	デジタル回路	3後		2		1					
科目	ム系	制御工学	3前	2			1					
$\overline{}$	科	計測システム工学	3前		2		1					
機 械	目群	ロボット工学	3前		2		1					
系	эT	小計 (5 科目)	_	2	8		4		<u> </u>	1		_
	I	機械工学概論	3前		1		2	1				
	ンジ	機構学	2後		2		1					
	=	機械製作学	3後		2				1			
	アリングデザ	機械材料学	3後		2					1		
	ング	機械製図	3前	2				1				
	デ	機械工作法実習	3前	2			1		1			
	サイ	機械工学実験	3後	2			8	3	2	4		
	イン・	機械工学セミナーA	2後	2				1				
	実	機械工学セミナーB	3前	2				1				
	験科	卒業研究 I	4前	4			8	4	2	5		
	目群	卒業研究Ⅱ	4後	6			8	4	2	5		
		小計 ( 11 科目)	_	20	7		8	4	2	5		
	電子	電磁気学	2後	2			1					
	物性デ	電磁気学演習	2後	2			-1					
	バ	電子物性	2後	2						1		
	イス	半導体工学	3前	2			1					
	・ ス 科 目	電気電子材料	3後		2		-1					
	群	小計 (5 科目)	-	8	2		2			-1		
	電	電気回路	2後	2				1				
	気	電気回路演習	2後	2				1				
7	エネ	電磁エネルギー変換工学	3前		2		1					
ス	ル	制御工学	3前	2			1					
科目	ギー	原子力工学	4前		1		1					
_	科日	電気関係法規・電気施設管理	4前		1		1					
電気	群	電気機器設計製図	4前		2			1				
系		小計 (7 科目)	_	6	6		2	2				
		電子回路I	2後	2						1		
		計測システム工学	3前	2			1					
	計 194	デジタル回路	3後	2			1					
	測通	電子回路Ⅱ	3前	2				1				_
	信科	信号処理	3前		2			1				
	目	通信工学	3前		2	<u> </u>	1	<u> </u>			<u> </u>	
	群	情報符号理論	3後		2		1					
		電気通信関係法規	4前		1		1					
		小計 (8 科目)	-	8	7		3	2		1		

# 【令和3年度】

24			<b>37</b> W		単位数	Ĭ		専任教	負等	の配置	1	兼任
科 区	分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	满	助	助	兼
		참 <b>그</b> 쓴	046	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		熱力学 伝熱工学	2後	2	2		1					
		流体力学Ⅰ		2	- 2		•			1		
		流体力学Ⅱ	2後		2		1					
	力 学	推進工学	2後		2			1				
	系	材料力学Ⅰ	2後	2	- 2		1	<u>'</u>				
	科目	材料力学Ⅱ	3前		2		1					
	群	航空宇宙構造力学	2後		2			1				-
		機械力学Ⅰ	2後	2	-			<u>'</u>	1			-
		機械力学Ⅱ	3前		2				1			-
		小計 (10 科目)	289	8	12		3	2	1	1		
		電子回路Ⅰ	2後	0	2		1		<u>'</u>	•		
1	シス	デジタル回路	3後		2		1					-
ス 科	テ	制御工学	3前	2	-		1					
目	ム系	計測システム工学	3前		2							兼1
機	科目	ロボット工学	3前		2		1					**
械	群	小計(5科目)		2	8		4					兼1
系)		機械工学概論	3前		1		2	1				# ·
	ェン	機構学	2後		2		1	<u>'</u>				
	ジニ	機械製作学	3後		2				1			
	アリ	機械材料学	3後		2				<u>'</u>	1		
	リン	機械製図	3前	2				1				
	ングデザ	機械工作法実習	3前	2			1	<u>'</u>	1			
	ザ	機械工学実験	3後	2			8	3	2	3		
	イン・	機械工学セミナーA	2後	2			0	1		•		
		機械工学セミナーB	3前	2				1				
	実験	卒業研究 I	4前	4			8	4	2	4		1
	科目	卒業研究Ⅱ	4後	6			8	4	2	4		1
	群	小計 (11 科目)	-	20	7		8	4	2	4		
	電	電磁気学	2後	2			Ť	1	_	·		
	子物	電磁気学演習	2後	2				1				
	性デ	電子物性	2後	2				1				
	バイ	半導体工学	3前	2			1					
	ス 科	電気電子材料	3後		2		1					
	目群	小計 (5 科目)	-	8	2		1	1				
	ST	電気回路	2後	2				1				
	電気	電気回路演習	2後	2				1				
_	I	電磁エネルギー変換工学	3前		2							兼1
7	ネル	制御工学	3前	2			1					
ス 科	ギー	原子力工学	4前		1							兼1
目	I 科	電気関係法規・電気施設管理	4前		1							兼1
電	目群	電気機器設計製図	4前		2		1					
気系	*1	小計 (7 科目)	_	6	6		2	1				兼1
_		電子回路 I	2後	2			-1					
		計測システム工学	3前	2								兼1
	計	デジタル回路	3後	2			1					
	测 通	電子回路Ⅱ	3前	2				1				
	信	信号処理	3前		2			1				
	科目	通信工学	3前		2		1					
	群	情報符号理論	3後		2		1					
		電気通信関係法規	4前		1		1					
		小計 (8 科目)	_	8	7		3	2				兼1
					•	•		•	•	•	•	

7.1	_		1/4		単位数	ţ		専任教	員等	の配置	Ì	兼任
	日分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
П	0 0 5	工学演習	2後	2				1				
ス	- 7 9	ロボット工学	3前		2		1					
科目	ダ	電気電子工学実験A	3前	4				1		3		兼1
霊	4 5	電気電子工学実験B	3後	4				3		2		
気	*	卒業研究	4通	10			7	7		5		兼1
系		小計 (5 科目)	_	20	2		8	7		5		兼1
	合	計( 110 科目)	-	125	81		16	14	2	10		兼52

卒業要件及び履修方法

腰終科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績 平均値(GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目7単位以上、人と社会に関する科目14単位以上、合計21単位以上修得すること。 2. 昼間コース一般教養教育科目(本表と同一の外国語科目を除く)の単位を修得した場合は、夜間主コース一般教養教育科目の選択科目に含めることができる。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1.理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。

卒業要件 (創造工学科 夜間主コース 機械系コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目30単位、選択科目25単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得 すること。 3. 昼間コース(機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主 コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。

卒業要件 (創造工学科 被間主コース 電気系コース)
1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上,合計55単位以上修得すること。
2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、被間主コース共通科目28単位を含め、合計158単位以上修得すること。
3. 昼間コース(機械ロボット工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9 単位以内に限り選択科目日群の単位数に含めることができる。

### 【令和3年度】

**	_		T7 1/4		単位数	Ĭ		専任教	員等(	の配置	1	兼任
科 区	分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
П	0 6 8	工学演習	2後	2				1				
ス	7 9	ロボット工学	3前		2		1					
科目	9 7	電気電子工学実験A	3前	4				2		2		兼1
電	サイン	電気電子工学実験B	3後	4				2		2		
気	*	卒業研究	4通	10			6 6 4				兼2	
系		小計 (5 科目)	-	20	2		7 6 4				兼2	
	合	計( 110 科目)	_	125	81		16 <b>13</b> 2 <b>8</b>				兼52	

卒業要件及75履修方法

| 履修料目の上限 | 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績 | 平均値 (GPA) が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

- 卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目7単位以上,人と社会に関する科目14単位以上,合計21単位以上修得すること。 2. 昼間コース一般教養教育科目(本表と同一の外国語科目を除く)の単位を修得した場合は、夜間主コース一般教養教育科目の選択科目に含めることができる。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1.理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。

- 卒業要件 (創造工学科 夜間主コース 機械系コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目30単位、選択科目25単位以上、会計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間 ス、機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主コース電気系コースのコース科目を得けた場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。

- 卒業要件 (創造工学科 夜間主コース 電気系コース)
  1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。
  2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、皮間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。
  3. 昼間コース(機械のボット工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目で表情とた場合は、9単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。

【令和元年度】 授業科目の名称 フレッシュマン英語演習 英語コミュニケーション演習 TOEIC英語演習 A 1後 英語リーディング演習 1後 1 兼1 TOFIC革語演習B 2前 英語総合演習 2前 ドイツ語 1前 兼1 中国語 1 小計 (8 科目) 2 スポーツ実習b 1前 1 兼1 スポーツ実習 d 1後 1 臨海実習 1 社会体験実習 1 1 兼2 海外研修 1 兼3 般教養教育 海外語学研修 2 兼3 1 表現技法 1前 兼1 キャリアデザイン 2後 2 地域再生システム論 1前 2 兼2 短期インターンシップ 2 3前・後 2 長期インターンシップ 3 2 哲学入門 1・2前 1 現代社会論 2 1・2後 兼1 こころの科学 1・2前 1 現代心理学 1・2後 2 経済のしくみ(未開講) 1 1・2前 兼1 経済事情 1・2後 2 平和学 (未開講) 1・2前 1 兼1 日本の憲法 2 1・2後 兼1 現代民主主義論 1・2後 2 小計 (20 科目) 31 線形代数A 1前 線形代数B 1後 微分積分A 1前 2 兼1 微分積分B 1後 2 兼1 微分積分C 2前 2 物理学A 1前 2 物理学B 1後 1 2 1 兼5 物理学C 1後 2 化学 1後 兼4 2 牛物学 1後 2 兼4 フレッシュマンセミナー 小計 (11 科目) 15 2 情報セキュリティ入門 1前 2 データサイエンス入門 1後 2 プログラミング入門 1後 2 兼4 小計 (3 科目) 6 2 1 兼10 工業物理基礎実験 2前 化学・生物学概論 1前 2 電気回路基礎 2前 2 電磁気学基礎 2前 2 材料の力学A 2前 1 1 材料の力学B 2前 1 1 流れの力学A 2前 流れの力学B 2前 1 1 熱力学基礎A 2前 1 1 熱力学基礎B 2前 計測工学 2前 1 工学技術者倫理 3後 2 2 小計 (12 科目) 16 統計的データ処理 2後 2 2 現代情報学概論 1後 2 確率統計 2 2前 情報システム工学 1後 2 プログラミング実践演習 2前 2 兼1 小計 (5科目) 10 3 兼3 熱力学 2後 2 伝熱工学 3後 流体力学 I 2後 流体力学Ⅱ 3前 2 1 ス科目 推進工学 2後 2 材料力学 I 2後 (機械系) 材料力学Ⅱ 3前 2 1 航空宇宙構造力学 2後 2

機械力学I

機械力学Ⅱ

小計 (10 科目)

2後

3前

2

12

【令	和2	年度】	1		14 1 <del>1</del> #	<b>.</b>		市に当	. 므 쑈	O ET SE	2	兼
科区		授業科目の名称	配当年次	必	単位数	Q e	教	准	講	の配置助	助	任
	.,,		+ %	修	択	由	授	教 授	飾	教	手	兼担
		フレッシュマン英語演習	1前	1								兼1
		英語コミュニケーション演習 TOEIC英語演習 A	1前	1								兼1 兼1
	外国	英語リーディング演習	1後	1								兼1
	語科	TOEIC英語演習B	2前	1								<b>∰</b> 3
	B	英語総合演習	2前	1								兼1
		ドイツ語中国語	1前		1							兼1 兼1
		小計 (8 科目)	-	6	2							₩9
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							<b>₩</b> 3
		臨海実習 社会体験実習	1-2-3-4前		1		1					<b>兼3</b> 兼2
_		海外研修	1-2-3-4前後		1		<u> </u>					兼3
般教		海外語学研修	1-2-3-4前-夜		2							兼3
養教		表現技法	1前		1							兼1
育	人と	キャリアデザイン	2後		2							兼1
	社会	地域再生システム論 短期インターンシップ	1前 3前·後		2		2	1				兼2
	関	長期インターンシップ	3前・後		3		2					
	する	哲学入門 (未開講)	1・2前		1							兼1
	科目	現代社会論 (未開講)	1・2後		2							兼1
	Н	こころの科学(未開講)	1.2約	<u> </u>	1							兼1 ±1
		現代心理学 (未開講) 経済のしくみ	1・2後	-	1							兼1 兼1
		経済事情	1・2後		2							兼1
		平和学	1・2前		1							兼1
		日本の憲法	1・2後		2							兼1
		現代民主主義論 小計(20科目)	1・2後		2		2					兼1
	<u> </u>	が計 (20 科目) 線形代数A	1前	2	31		3	1				<b>兼18</b> 兼1
		線形代数B	1後	2								兼1
		微分積分A	1前	2								兼1
# 		微分積分B	1後	2								兼1
当	_ 学	微分積分 C 物理学 A	2前	2								兼1 <b>兼1</b>
音	ŧ.	物理学B	1後	1						1		兼0
追	4	物理学C	1後	1						1		兼0
E	3	化学	1後		2							兼4
		生物学	1後	_	2		_					兼4
		フレッシュマンセミナー 小計 (11 科目)	1前	1 15	4		2			1		兼13
理工		情報セキュリティ入門	1前	2								兼4
学部	情報	データサイエンス入門	1後	2			2	1				兼6
共通科	科目	プログラミング入門	1後	2								兼4
E E		小計 (3 科目) 工業物理基礎実験	- 2前	1			2	1				兼10 <del>兼</del> 2
		化学・生物学概論	1前	2								<del>素1</del>
		電気回路基礎	2前	2			1					
		電磁気学基礎	2前	2			1					
	専	材料の力学A	2前	1	ļ		1		ļ			-
_	門基	材料の力学B 流れの力学A	2前	1			1					-
夜間	礎科	流れの力学B	2前	1			1					
主 コー	目	熱力学基礎 A	2前	1			1					
ース		熱力学基礎B	2前	1								兼1
共通		計測工学工学は歩者倫理	2前	1	<u> </u>		1	1	<u> </u>			-
科目		工学技術者倫理 小計 (12 科目)	3後	16			2 8	1				兼4
		統計的データ処理	2後	2			Ť	2				NP.
	45	現代情報学概論	1後	2								兼1
	情報科	確率統計	2前	2				1				
	目	情報システム工学 プログラミング実践演習	1後	2	<b> </b>				<b> </b>			兼1 ±1
		小計 (5 科目)	2前 —	10	-			3	-			兼1 兼3
		熱力学	2後	2			1	Ť				,
		伝熱工学	3後		2					1		
П		流体力学Ⅰ	2後	2						1		
- ス 科	力学	流体力学Ⅱ 推進工学	3前	-	2		1	1	-			
目	系	材料力学 I	2後	2			1	1				
機械	科目	材料力学Ⅱ	3前		2		1					
械系)	群	航空宇宙構造力学	2後		2			1				
		機械力学Ⅰ	2後	2	_				1			
Ì		機械力学II 小計 (10 科目)	3前	8	12		3	2	1	2		1
				Ľ		i	Ľ.		<u> </u>		i	1

接来料目の名称						単位数	t t		専任教	員等	の配置	1	兼
株 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科	目	授業科目の名称	配当									
# 子回路 1 2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ית		平 次	條	却	ф	認		ém	*6	<b></b>	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		٥.	電子回路 I	2後									
지 하는 (5 차원) 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가 기가		ス	デジタル回路	3後		2		1					
## 計測システム工学 3前 2 2 1 1		テム	制御工学		2			1					
日本ツト工学 3前 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		系	計測システム工学	3前		2		1					
日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1			ロボット工学					_					
日本の			小計 (5 科目)		2						1		
日本の	7	_	機械工学概論	3前		1		2	1				
### 現場である		ン	機構学			2		1	-				
機械	科	ジー								1			
機械製図 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	~	ア									1		
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		リン			2	-			1		-		
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	系	グ						1		1			
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	_	ザ			_				2		4		
・実験         機械工学セミナーB         3前         2         1         1         二         本業研究I         4前         4         8         4         2         5         二         本業研究I         4後         6         8         4         2         5         二         本業研究II         4後         6         8         4         2         5         二         本業研究II         4後         6         8         4         2         5         二         本         本         本         2         1         二		1						۰			4		
本業研究 I   4前   4   8   4   2   5   5   7   7   7   7   5   第1   7   7   7   7   7   7   7   7   7													
日日								_			_		
中部		科											
でまり   では   では   では   では   では   では   では   で					_								
						7			4	2	5		
世 で		7						_					
1		性	電磁気学演習	2後	2			1					
平場化工学   3前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		バ	電子物性	2後	2						1		
報数		ا ع	半導体工学	3前	2			1					
対		科	電気電子材料	3後		2		1					
電気回路演習 2後 2 1 1			小計 (5 科目)	-	8	2		2			-1		
無数回路海雷 2使 2 1 1		_	電気回路	2後	2				1				
正 大			電気回路演習	2後	2				1				
計画工学   3前 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		エ	電磁エネルギー変換工学	3前		2		1					
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日		ル	制御工学	3前	2			1					
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日		ギー	原子力工学	4前		1		1					
		科	電気関係法規・電気施設管理	4前		1		1					
小計 (7 科目)			電気機器設計製図	4前		2			1				
電電気系 計測システム工学 3前 2 1 1 デジタル回路 3後 2 1 1 電子回路 I 3前 2 1 1 目 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	科		小計 (7 科目)	-	6	6		2	2				
	<b>B</b>		電子回路I	2後	2						1		
新 デジタル回路 3後 2 1 1 電子の回路 3後 2 1 1 電子の回路 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			計測システム工学	3前	2			1					
<ul> <li>選子回路 II 3前 2 1 1 1</li></ul>		計	デジタル回路	3後	2			1					
信信号処理 3前 2 1 1 日本 2 日本 2 日本 3 日本 2 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3		測	電子回路Ⅱ	3前	2				1				
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		信	信号処理	3前		2			1				
情報符号理論   3後   2   1	1		通信工学	3前		2		1					
電気通信関係法規 4前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			情報符号理論			2		1					
小計(8 科目)     - 8 7 3 2 1       工学演習     2後 2 1       ロボット工学     3前 2 1       電気電子工学実験A 3前 4 1 3 第1       電気電子工学実験B 3後 4 3 2       卒業研究 4通 10 7 7 7 5 第1       小計(5 科目)     - 20 2 8 7 5 兼1	1		電気通信関係法規					1			l	l	
工学演習     2後     2     1       ロボット工学     3前     2     1       電気電子工学実験A     3前     4     1     3     兼1       電気電子工学実験B     3後     4     3     2       卒業研究     4通     10     7     7     5     兼1       小計(5 科目)     -     20     2     8     7     5     兼1			小計 (8 科目)	_	8	7		3	2		1		
ロボット工学     3前     2     1       電気電子工学実験A     3前     4     1     3     寮1       電気電子工学実験B     3後     4     3     2       卒業研究     4通     10     7     7     5     寮1       小計(5科目)     -     20     2     8     7     5     寮1	1	± >		2後	2				1				
卒業研究     4通     10     7     7     5     兼1       小計(5科目)     -     20     2     8     7     5     兼1		- 7				2		1					
卒業研究     4通     10     7     7     5     兼1       小計(5科目)     -     20     2     8     7     5     兼1		リ ン グ			4				1		3		兼1
卒業研究     4通     10     7     7     5     兼1       小計(5科目)     -     20     2     8     7     5     兼1	1	7 7											
小計 (5 科目) - 20 2 8 7 5 兼1								7					兼1
		14 14				2			_			1	
合計(110 科目)		- 合:		_	125	81		16	14	2	10		兼52

卒業要件及び履修方法

履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績 平均値(GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件(一般教養教育)
1. 外国語科目フ単位以上、人と社会に関する科目14単位以上、合計21単位以上修得すること。
2. 昼間コースー般教養教育科目(本表と同一の外国語科目を除く)の単位を修得した場合は、夜間主コースー般教養教育科目に含めることができる。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1. 理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。

卒業要件 (創造工学科 夜間主コース 機械系コース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目30単位、選択科目25単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計12単位以上修得 すること。 3. 昼間コース (機械ロボットエ学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主 コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。

卒業要件 (創造工学科 夜間主コース 電気系コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養疫育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース夫通科目26単位を含め、合計125単位以上修得 3. 昼間コース(機械ロボット工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主コース機械系コースの コース科目を修得した場合は、9単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。

### 【令和2年度】

2.0			- 1/		単位数					の配置		兼任
科 区	目  分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	满	助	助	兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
	シ	電子回路I	2後		2		1					
	ステ	デジタル回路	3後		2		1					
	ム	制御工学	3前	2			1					
	系科	計測システム工学	3前		2							兼1
	目群	ロボット工学	3前		2		1					
l _	41	小計 (5 科目)	-	2	8		4					兼1
7	I	機械工学概論	3前		1		2	1				
ス 科	ンジ	機構学	2後		2		1					
B	=	機械製作学	3後		2				1			
機	アリ	機械材料学	3後		2					1		
械	ング	機械製図	3前	2				1				
系	デ	機械工作法実習	3前	2			1		1			
	ザイ	機械工学実験	3後	2			8	3	2	4		
	· シ ・	機械工学セミナーA	2後	2				1				
	実	機械工学セミナーB	3前	2				1				
	験 科	卒業研究 I	4前	4			8	4	2	5		
	目	卒業研究Ⅱ	4後	6			8	4	2	5		
	群	小計 ( 11 科目)	_	20	7		8	4	2	5		
	電子	電磁気学	2後	2			1	-1				
	物	電磁気学演習	2後	2			1	-1				
	性デバ	電子物性	2後	2				1				
	1	半導体工学	3前	2			1					
	ス 科	電気電子材料	3後		2		1					
	目群	小計 (5 科目)	-	8	2		2	1				
		電気回路	2後	2				1				
	電気	電気回路演習	2後	2				1				
	エ	電磁エネルギー変換工学	3前		2		1					
	ネル	制御工学	3前	2			1					
	*	原子力工学	4前		1		1					
١,	科	電気関係法規・電気施設管理	4前		1		1					
1	目群	電気機器設計製図	4前		2		1					
ス 科	SPT.	小計 (7 科目)	_	6	6		3	1				
目		電子回路 I	2後	2			1					
電		計測システム工学	3前	2								兼1
気系	計	デジタル回路	3後	2			1					
Ξ:	測	電子回路Ⅱ	3前	2				1				
	通信	信号処理	3前		2			1				
	科日	通信工学	3前		2		1					
	群	情報符号理論	3後		2		1					
		電気通信関係法規	4前		1		1					
		小計 (8 科目)	-	8	7		4	2				兼1
l	± >	工学演習	2後	2				1				Ė
	ンロニアリングデサイン・	ロボット工学	3前		2	1	1	1	1	1		
	9	電気電子工学実験A	3前	4	<u> </u>			2		2		兼1
	7 4	電気電子工学実験B	3後	4			1	2		1		
		卒業研究	4通	10			8	6		3		兼1
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	小計 (5 科目)	_	20	2		9	6		3		兼1
I	合		-	125	81		18	13	2	8		<b>兼54</b>
				-23	٠.		2					-

卒業要件及び履修方法

| 履修科目の上限 | 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績 | 平均値(GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件(一般教養教育)
1. 外国語科目7 単位以上、人と社会に関する科目14単位以上、合計21単位以上修得すること。
2. 昼間コースー般教養教育科目(本表と同一の外国語科目を除く)の単位を修得した場合は、夜間主コースー般教養教育科目の選択科目に含めることができる。

卒業要件(理工学部共通科目、創造工学科共通科目) 1.理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。

空業要件 (創造工学科 夜間主コース 機械系コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目の単位、選択科目25単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得 すること。 3. 昼間コース (機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース) 電気電子工学コース) のコース科目、夜間主 コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。

卒業要件 (創造工学科 夜間主コース 電気系コース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 屋間コース (機械ロボット工学コース、電気電子工学コース)のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
  (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

### <理工学部 創造工学科>

### 【令和元年度】

・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習a」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「4」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「准教授2、助物1」から「准教授1、助教0」及び兼任・兼担の配置を「9」から「3」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「3」から「0」に変更。

### 【令和2年度】

「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」の兼任・兼担の配置を「4」から「7」に変更。 「英語総合演習」の兼任・兼担の配置を「8」から「9」に変更。 「英語コミュニケーションI」の兼任・兼担の配置を「4」から「6」に変更。 「TOEIC英語演習I」の兼任・兼担の配置を「4」から「5」に変更。 「スポーツ実習a」「スポーツ実習」「臨海表習」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 「スポーツ実習。」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。 「スポーツ実習。」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。 「地域インターンシップ」「短期インターンシップ」「長期インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授5」に変 教育内容の充実の理由により、 教育内容の充実の理由により 教育内容の充実の理由により、 教育内容の充実の理由により、 教育内容の充実の理由により、 教育内容の充実の理由により、 教育内容の充実の理由により、 専任准教授昇任の理由により、 2 」に変更。 ・専任准教授昇任の理由により、「都市計画」「建築設計 I 」の専任教員等の配置を「教授 O 、准教授 2 」から「教授 1 、准教授 1 」に変更。 ・専任准教授昇任の理由により、「空間の環境」「都市マネジメント」「土質力学 I 」「防災地盤工学」「振動工学」「鋼構造学」「設計製作演習」「電気回路」「電力発生工学」「電気機器学」「電気機器設計製図」の専任教員等の配置を「教授 O 、准教授 1 」がら「教授 1 、准教授 0 」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「建設構造力学」の専任教員等の配置を「推教授。 ・担当教員の見直しの理由により、「建設構造力学」の専任教員等の配置を「推教授。 ・専任助教会で推教授昇任並びに担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授 4 、准教授 11、講師 1 、助教 4 」から「教授 7 、准教授 9 、講師 0 、 助教 3」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「建築環境工学 I」「航空宇宙制御工学 I」の専任教員等の配置を「教授 O、助教 1」から「教授 1、助教 O」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「建築環境工学 I」「建築設備」「寒地建築環境工学」の専任教員等の配置を「助教 1」から「助教 O」及び兼任・兼担の配置を「O」から「・担当教員の見直しの理由により、「建築環境工学 II」「建築設備」「寒地建築環境工学」の専任教員等の配置を「助教 1」から「助教 O」及び兼任・兼担の配置を「O」から ・担当教員の見直しの理由により、「建築環境工学Ⅱ」「建葉設備」「寒地建築環境工学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「建築材料実験」の専任教員等の配置を「教授1、助教0」から「教授1、助教1」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「建築構造力学Ⅰ」の専任教員等の配置を「推教授1、助教0」から「推教授0、助教1」に変更。
・専任助教昇任の理由により、「建築構造力野Ⅰ」「基礎構造」の専任教員等の配置を「推教授1、助教1」から「准教授0、助教1」に変更。
・専任助教昇任の理由により、「建築構造設計演習」「基礎議造」の専任教員等の配置を「推教日、助教1」から「推教授2、助教0」に変更。
・専任助教昇任の理由により、「建築構造設計演習」「建築法規」「工学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「本教授2、助教0」に変更。
・専任推教授界任の理由により、「建築学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授2、推教授0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「建築判量学業習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」加教0」から「教授2、講師1」から「教授1、講師0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「土木構造力学Ⅰ」「応用構造力学」の専任教員等の配置を「推教投2、講師1」から「教授1、講師0」に変更。
・専任准教授界任及び担当教員の見直しの理由により、「土木構造力学Ⅱ」「応用構造力学」の専任教員等の配置を「推教投2、講師1」から「教授1、講師0」に変更。 変更。 ・専任准教授界任及び担当教員の見直しの理由により、「土木実験」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教1」から「教授3、准教授2、助教0」に変更。 - 担当教員の見直しの理由により、「飛行力学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更。 - 専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「航空宇宙構造工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。 - 担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙機成力学」の専任教員等の配置を「教授0、准教授0、、助教1」から「教授1、加教0」に変更。 - 専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「ロケット工学」の専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授1、助教1」及び兼任・兼担の配置を「1」から「2」 - 幸任教授辞任(定年による退職)の理由により、「ロケット工学」の専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授1、助教1」及び兼任・兼担の配置を「1」から「2」 - 文字の 大学の教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学製図」の専任教員等の配置を「教授1、助教2」から「教授0、助教1」及び兼任・兼担 ・専任教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学製図」の専任教員等の配置を「教授 1、助教 2」から「教授 0、助教 1」及び兼任・兼担の配置を「つ」から「1」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「航空宇宙工学特別講義」の専任教員等の配置を「教授 3」から「教授 2」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「宇宙機設計法」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 3、助教 3」から「教授 3、准教授 3、助教 1」及び兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学実験」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 1、助教 2」から「教授 3、准教授 1、助教 0」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学セミナー」の専任教員等の配置を「教授 4、推教授 4、助教 3」から「教授 3、准教授 4、助教 1」及び兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学セミナー」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 4、助教 3」から「教授 3、准教授 4、助教 1」反び兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「卒業研究 II」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 4、助教 3」から「教授 3、准教 ・専任教授辞任(定年による退職)及び担当教員の見直しの理由により、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、助教3」から「教授3、准教受4、助教1」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「電磁気学演習」の専任教員等の配置を「教授1、助教2」から「教授1、助教1」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「電子物性」の専任教員等の配置を「教授1、助教2」から「教授1、助教1」に変更。
・専任教授界任の理由により、「電気回路演習」の専任教員等の配置を「教授2、推教授3」から「教授1、正教授3」、在教授3、に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「計測システム工学」の専任教員等の配置を「教授2」がら「教授3」など、事任の配置を「教授3」なら、事任的教界任の理由により、「電気電子工学実験A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2、助教2」に変更。
・専任制教昇任の理由により、「電気電子工学実験A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2、助教2」に変更。
・専任制教昇任の理由により、「電気電子工学実験A」の専任教員等の配置を「教授3、推教授3、助教2」から「教授3、施教2」がら「教授3、准教授3、助教3」に変更。
・専任助教及び准教授昇任なびに担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授3、推教授3、助教2」から「教授8、准教授8、助教3」に変更。

### 【令和3年度】

```
【令和3年度】
教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」の兼任・兼担の配置を「4」から「6」に変更。
教育内容の充実の理由により、「英語総合演習」の兼任・兼担の配置を「8」から「9」に変更。
教育内容の充実の理由により、「英語コミュニケーションI」の兼任・兼担の配置を「4」から「5」に変更。
教育内容の充実の理由により、「英語コミュニケーションII」の兼任・兼担の配置を「6」から「1」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「第語コミュニケーションII」の兼任・兼担の配置を「2」から「1」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「70EIC英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「70EIC英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
教育内容の充実の理由により、「70EIC英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
教育内容の充実の理由により、「70EIC英語演習II」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
教育内容の充実の理由により、「70EIC英語演習II」の兼任・兼担の配置を「6」から「3」に変更。
教育内容の充実の理由により、「70EIC英語演習II」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
教育性無較異任の理由により、「70EIC英語が表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の記憶を「教授4、准教授1」から「教授5」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「物理や4)の専任教員等の配置を「6」から「3」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「4」から「3」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「4」から「3」に変更。
事任准教授男任及び担当教員の見直しの理由により、「物理学B」「物理学C」の専任教員等の配置を「推教授2、助教1」から「教授1、准教授1、助教0」及び兼任・兼担の配置を「5」から「7」に変更。
- 自当教育の京祖(の毎日により、「智分物の人」「徳分物の人」「徳分神の人」「徳分神の人」「徳分性の人」
- 自己教育の京祖(の毎日により、「智分物の人」「徳分神の人」「徳分神の人」「徳から、日本で、日本の人」
- 自己教育の京祖(の毎日により、「日本です。 1 日本で、日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 日本の人」
- 1 
        専任准教授昇仕及び教育内容の尤类の理由により、「电丸凹的為自」の寺で取長すの配置と「本版とい、元本版と、、元本版と、元本版とは、元本版とは、一般のは

事任教授理事就任の理由により、「電観エネルギー変換工学」「高電圧工学」「送配電工学」「原子カ工学」「電気関係法規・電気施設管理」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 0」及び兼

・兼担の配置を「0」から「1」に変更。

専任教授評任(定年による退職)の理由により、「計測システム工学」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。

専任教授評任(定理由により、「電気電子工学実験名」の専任教員等の配置を「推教授 1、動教 3」から「准教授 2、助教 2」に変更。

専任権教授界任及び担当教員の見直しの理由により、「電気電子工学実験 B」の専任教員等の配置を「推教授 3、助教 2」から「准教授 2、助教 2」に変更。

専任教授の退職、昇任及び就任等の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授 7、准教授 7、助教 5」から「教授 6、助教 4」及び兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変
```

- 【でイルン・大名) 教育内容の充実の理由により、「フレッシュマン英語演習」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。 教育内容の充実の理由により、「英語コミュニケーション演習」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。 教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「4」に変更。 担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「推教授2、助教1」から「准教授0、助教0」及び兼任・兼担の配置を「9」から「1」に変更。

- 【1941年 + 102.1 ・教育内容の充実の理由により、「TOEIC英語演習B」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習d」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 ・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 ・投音内容の元実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「物理学B」「物理学B」「物理学B」「常教授2、助教1」から「准教授0、助教0」及び兼任・兼担の配置を「9」から「1」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「物理学B」「物理学C」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授0、助教1」及び兼任・兼担の配置を「5」から「0」に ・

- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学B」「物理学C」の専任教員等の配置を「在教授2、即次「J から「経知区O、NA A J なの配置を で 変更。
  ・専任准教授昇任の理由により、「電気回路基礎」「電気機器設計製図」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
  ・専任准教授昇任の理由により、「電気回路基礎」「電気機器設計製図」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
  ・担当教員の見直しの理由により、「配対学基礎B」の専任教員等の配置を「推教授1」から「推教授0」及び兼任・兼担の配置を「O J から「1」に変更。
  ・担当教員の見直しの理由により、「電子回路 I 」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
  ・専任教授辞任(定年による退職) の理由により、「計測システム工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担の配置を「O J から「1」に変更。
  ・専任教授辞任(定年による退職) の理由により、「計測システム工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担の配置を「O J から「1」に変更。
  ・専任教授辞任の理由により、「電気電学演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授1、准教授1」に変更。
  ・専任助教昇任の理由により、「電気電子工学実験A」の専任教員等の配置を「推教授1、助教3」から「推教授2、助教2」たら「教授1、准教授2、助教1」に変更。
  ・専任助教昇任の理由により、「電気電子工学実験B」の専任教員等の配置を「教授1、助教3」から「推教授2、助教2」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
  ・ 専任教授発任(定年による退職)、専任権教授及び専任助教の昇任並びに担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7、准教授7、助教5」から「教授8、准教授6、助教3」に変更。

- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習 d 」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 ・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「2数授2、助教1」から「准教授O、助教O」及び兼任・兼担の配置を「9」から「1」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「物理学B」「物理学C」の専任教員等の配置を「推教授2、助教1」から「准教授O、助教1」及び兼任・兼担の配置を「5」から「0」に

- 更。 ・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「電磁気学」「電磁気学演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。 ・専任助教昇任の理由により、「電子物性」の専任教員等の配置を「准教授0、助教1」から「准教授1、助教0」に変更。 ・専任教授理事就任の理由により、「電磁エネルギー変換工学」「原子力工学」「電気関係法規・電気施設管理」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担

- ・専仕教授理事就任の埋田により、「電磁エネルギー変換工学」「原子カエ学」「電気関係法規・電気施設管理」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担 の配置を「0」から「1」に変更。 ・専任助教昇任の理由により、「電気電子工学実験A」の専任教員等の配置を「准教授1、助教3」から「准教授2、助教2」に変更。 ・担当教員の見直しの理由により、「電気電子工学実験B」の専任教員等の配置を「准教授3、助教2」から「准教授2、助教2」に変更。 ・担当教員の退職、昇任及び就任等の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「進教授3、助教2」から「進教授2、助教2」に変更。 「1」から「2」に変更。
- (注) •
- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
   変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
   不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

# (2) 授業科目数

# <理工学部 創造工学科>

	設置時	の計画			変更	[状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	VH プラ
142 科	118 科目	0 科目	260 科目	142 科目 [ 0 ]	118 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	260 科目 [ 0 ]	

# <理工学部 創造工学科(夜間主コース)>

	,		(N //	•				
		設置時	の計画			変更	状況	備考
必	修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由 計	VH わ
62	科目	48 科目	0 科目	110 科目	62 科目 [ 0 ]	48 科目 [ 0 ]	0 和目 110 科目 0 ]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1 科目滅の場合: $\Delta$ 1)

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	社会体験実習	1	1-2-3-4前	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため
2	経済のしくみ	1	1・2前	一般	選択	隔年開講のため
3	経済事情	2	1.2後	一般	選択	隔年開講のため
4	平和学	1	1・2前	一般	選択	隔年開講のため
5	日本の憲法	2	1.2後	一般	選択	隔年開講のため
6	現代民主主義論	2	1.2後	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

# ◇大学の所見:

- (3) 未開講科目番号1…他に十分な数の授業科目があり、教育の質は確保されている。
- (3) 未開講科目番号2~6…隔年開講科目であり、次年度以降の開講により履修が可能である。 ◇学生への周知方法:
  - ・ (3)未開講科目番号1…履修登録時に掲示及び学習支援システムで案内
- (3) 未開講科目番号2~6…入学時に配布する学生便覧にて「西暦奇数年度開講科目」及び「西暦 偶数年度開講科目」を示し、当該年度の開講科目等について周知
- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分	.		-	内				容			備考
(1)		区	分		専	用	<b>.</b>	用	#	用する他	o		ā†	
	_		舎敷は	th		121, 138 m²		0m²	7	校等の専	用 0㎡		121, 138m²	
校			协場用地			25. 279 m²		0 m²			0m²		25, 279m²	
地	$\vdash$	小	8-100 / TJ AC			146, 417m²		0m²	<u> </u>		0m²		146, 417m²	
ᄱ	$\vdash$		-			146, 41/m 67, 851 m			-		0m 0m		67, 851m²	
*	-	<del>ر</del>	の ft					0m²						
		合	ñ	'	_	214, 268 m²		0m²	#	<b>・</b> 用する他	0ൺ ഗ		214, 268m²	
					専	用	共	用	7	校等の専	Ħ		ā†	
					71	0. 159.52ml 70.004ml 70.022ml 70.022ml		0m²			0m²		70, 159, 52m 70, 004m 70, 022m 70, 022m	
(2) 校	Ž		8		<del>√ 7</del>	(0, 074m²) (0, 092m²) (0, 022m²)	(	0 <b>m</b> °)	(		0 m²)	<u></u>	70, 074m²) -70, 092m²) -70, 022m²)	白老団地に計測棟新 営のため155.52㎡増加した。(3) 教育・研究3号館の改修に伴う取り壊しにより18㎡減少した(2)
														教育・研究3号館渡 り廊下69.86㎡整備予
				論	義室	演習	室	実験実習	室	情報処理	1学習施	設 語:	学学習施設	定(元)
											6	室	0室	
(3) 教	Ų.	室	等		3 31 <del>3 31</del> 3 4 51	<del>室</del> 室	2 4 室 <del>2 5 室</del> <del>2 5 室</del> 1 2 室		5 5 5 <del>室室室室</del> 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	(補助職	員 5丿	、) (補助	)職員 〇人)	教員の及替等による 財産変更(3) 財産変更(3) 財産の大学等による 用油を更(3) 対応が教政・市に共の変更(3号解等による 用等に対する 対応が教知途のである。 対応教知途ので、元)
									る用述変更 (九)					
						新設学部等	の名称			3	Ē	数		
														専任教員6名退職及び辞 職、4名採用のため
(4) 専	任教	00員研9	空								126			(3)
						理工学部 倉	造工学科	1			128		室	専任教員7名退職及び辞 職、3名採用のため
											135			(2)
									l					専任教員2名辞任のため (元)
		新設学	en ear	_	図 書	学術教				視聴覚道	料 機	械・器具	標本	
(5)	1	の名	称	( う	ち外国書〕	[うち外		電子ジャー						
					f	m ·	種	〔うち外国	書]		点	点	点	
				323 1	87 [81, 416] 93 [86, 712] 46 [87, 565] 15 [85, 441]	6 127	2 1007	3, 972 [3 3, 991 [3 4, 005 [4 4, 535 [3	0971	4 <del>.</del> 4.	092 107 112 462	254 295 290 276	1	
図書・設		理工学	产部	/212 79	5 (79, 820) ) 80 (84, 186) ) 83 (84, 198) ) 87 (85, 441) )	- (6, 127	(2, 190) ) [2, 190] ) [2, 184] ) [2, 182] )	(3, 972 [3 -(3, 991 [3 -(4, 995 [4 -(4, 535 [3		(4, 0 <del>-(3, 9)</del> -(3, 9) -(4, 0)	<del>37)</del> <del>34)</del>	(254) <del>(295)</del> (0) <del>(276)</del>	(1)	図書・設備等更新の ため(3) 図書・設備等更新の ため(2) 図書・設備等更新の ため(元)
備		āt		323, 1 325, 3	87 [81, 416] 93 [86, 712] 46 [87, 565] 15 [85, 441]	6, 127 ( 6, 086 (	[2, 190]	3, 972 [3 3, 991 [3 4, 005 [4 4, 535 [3	. 987] . 001]	4 <del>.</del> 4.	092 107 112 462	254 295 290 276	1	
				<del>(313,</del> <del>(312,</del>	575 (79, 820) 780 [84, 186] 833 [84, 198] 527 [85, 441]	<del>(6, 127</del> (6, 086	(2, 190) ) <del>[2, 190] )</del> <del>[2, 184] )</del> [2, 182] )	(3, 972 [ -(3, 991 [3 -(4, 905 [4 -(4, 535 [3	. <del>987] )</del> .001] )	(4, 0 - <del>(3, 9)</del> - <del>(3, 9)</del> -(4, 0)	<del>37) -</del> 34)	(254) <del>(295)</del> -(0) (276)	(1)	
(6) 図	7	#	館		面	積		閲覧座月	常 数		収	納可能	冊数	
(0) 区	il.		邸			4, 141 n	nî			374			323, 472	大学全体
(7) 体	į.	育	館		面	積				外のスポー		の概要		
. / 17						2, 856 r	n テニス	コート、弓道	場、ア・	ーチェリ-	-場			
	Ī	経費	Þ	Ξ	分	開設年度	完成年度	区区	分	開設前年	度	開設年度	完成年度	<u> </u>
(8)		世見り	教員 1	人当り	研究費等	千円	Ŧ	円 図書購	入費	-	千円	千円	千円	
経費の積り及	3 <i>U</i>	157	共 同	研 3	究 費 等	千円	Ŧ	円 設備購	入費		千円	千円	千円	
維持方	方法	学生	1 人当 リ	第	1 年次	第2年次	第:	3年次	第4年	次	第5年	次	第6年次	
の概	娄								_					
の概	娄		対金		千円	Ŧ F	9	千円		千円		千円	千円	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

  - 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
    ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
    ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
     なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4. 既設大学等の状況

大学の名称	室蘭工	業大学					学生募集停止学科数	4	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
			시								
工学部	4	-	-	640	-	-	-	-	昭和24	-	
建築社会基盤系学科	4	-	-	120	学士 <sup>(工学)</sup>	-	-	-	平成21	北海道室蘭市水元町27番1号	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△120
機械航空創造系学科	4	-	-	170	学士	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△170
応用理化学系学科	4	-	-	140	学士 <sup>(工学)</sup>	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△140
情報電子工学系学科	4	-	-	210	学士	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△210
理工学部	4	600	3 年次 40	1840	-	1. 04	1. 03	平成31	平成31	-	
<u>創造工学科</u>	4	365	3年次 25	1120	学士	1. 04	1.03	平成31	平成31	北海道室蘭市水元町27番1号	
システム理化学科	4	235	3年次 15	720	学士	1. 05	1.03	平成31	平成31	同上	
工学研究科(博士前期課程)	2	224	-	448	-	1. 03	1. 04	-	昭和40	-	
環境創生工学系専攻	2	73	-	146	修士	1. 08	1.01	-	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
生産システム工学系専攻	2	84	-	168	修士	0. 94	0. 98	-	平成26	同上	
情報電子工学系専攻	2	67	-	134	修士 <sup>(工学)</sup>	1. 08	1. 13	-	平成26	同上	
工学研究科(博士後期課程)	3	15	_	45	_	1. 19	0. 6	-	平成2	-	
工学専攻	3	15	-	45	博士	1. 19	0. 6	-	平成26	北海道室關市水元町27番1号	
大学全体	-	839	40	2973	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	0	O 短	期大	学			学生募集停止学科数		平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	,	年次人	,		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学 (大学院含む) 、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

```
・廣田 光智専任准教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
・栗橋 祐介専任講師退職のため、削除。
    栗橋 祐介専任講師退職のため、削除。

岸本(猿山) 嘉彦専任助教退職のため、削除。

出湯 善章専任助教の担当授業科目から「物理学A」を削除。

岸本 弘立兼担教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 直樹兼担教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 古田 雅典兼担教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 古田 潤兼担教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 古田 潤兼担教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 定証 直裁兼担准教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 集山 義行兼担准教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 失野 隆治兼担准教授の担当科目見直しのため、削除。

・ 安野 隆治兼担准教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。

・ 写安居 光顕兼担准教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。

・ 本田 泰兼担准教授の担当授業科目から「カレッシュマンセミナー」を削除。

・ 本田 泰邦出教授品のため、兼日教授に変重
 ・本田 泰兼担准教授の担当授業科目から「フレッシュマンセミナー」を削除。
・田所 重紀兼担准教授男任のため、兼担教授に変更。
・ 山路奈保子兼担准教授男任のため、兼担教授に変更。
・ 阿知良洋平兼担請師の担当授業科目から「地域社会概論」を削除。
・ 大口 喜久男兼任講師を配置し、授業科目「スポーツ実習 a」を担当。
・ 成田 正則兼任講師を配置し、授業科目「スポーツ実習 a」を担当。
・ 本村 泰三兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
・ 長里 千香子兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
・ 市原 健介兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
・ 市原 健介兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
・ Polard、Shane David兼任講師を配置し、授業科目「「四本実
```

```
「英語コミュニケーション演習Ⅰ」を追加。
           。
「英語リーディング演習」「英語総合演習」を担当。
```

### 【令和3年度】

```
漢 幸雄専任教授の担当授業科目から「建築測量学実習」を削除。
上羽 正純専任教授の担当授業科目に「航空宇宙制御工学Ⅰ」「航空宇宙機械力学」「飛行力学Ⅱ」「航空宇宙工学実験」を追加。令和2年7月AC教員審査済み。
樋口 健兼任講師特任教授就任のため、兼任教授に変更。担当授業科目から「航空宇宙工学製図」「航空宇宙工学セミナー」「航空宇宙工学特別講義」「宇宙機設計
を削除
    。
学専任教授の担当授業科目に「電子回路I」を追加。令和2年7月AC教員審査済み。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  ・ <u>銀可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
  - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専仟教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
35	18
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況						
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')	
23	26	3	17	69	0	25	23	2	12	62		
(23)	(26)	(3)	(16)	(68)	0							
	現在(	報告時)の	完成年度時	が状況		現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講師	助教	計	助手	教 授	准教授	講師	助教	計	助手	
				(C)	(C')		711717	HT7 H-IP	73 32	(D)	(D')	
25	23	2	12	62	(0)	25	23	2	12	62	(D')	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、
  - **完成年度までに就任する教員教を加えた教を配入**するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合:△1)
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成										
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数									
65	0	0									
歳	名	名									

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 62 89.85 数置時の計画(A) 89.85

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) 9

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 0 = #DIV/0! %% を関係的計画(A') = 0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	※ 担当う	<b>予定科目</b>	l fa	(任補充	<b>七</b> 状》	兄	京	优任辞证	艮(未	就任)の理	曲	
				必修	建築	学概論		3								
				必修	卒第	<b>美研究</b>		3								
				必修	建築環	境工学	I	3			H31.03.31付け他大学へ異動のため辞任(					
				必修	建築環	境工学	П	3								
1	助教	岸本 嘉彦	H31.03	必修	建多	<b>E設備</b>		3							辞任(	31)
				必修	建築学	党演習 I		3								
				必修	建築与	学演習Ⅱ	[	3								
				選択	寒地建筑	を環境エ	:学	3								
	<u> </u>	A -1								,	14 + 15 -	- 41	( = )			
		台計	(D)							侈	<b>经任補充状況</b>	の集計	(E)			
京	优任を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) + (b)	+ (c)	①の	合計数	(a)		②の合計	l数(b)	)	③の合計	├数 (c	)
			必	修	7	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	7	科目
			選	択	1	1 科目			0	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
	1	人	自	由	0	0 科目			0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			Ī	it	8				0	科目	計	0	科目	計	8	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

# (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
				必修	建設構造力学	3		
				必修	卒業研究	3		
				必修	土木構造力学 I	3		
1	講師	栗橋 祐介	H31. 04	必修	土木構造力学Ⅱ	3	- - H31.04.30付け他大学へ異動のため辞任 (31)	
'	ᇑ베	未作 作川	1131.04	必修	土木工学創造演習	3	- 1131: 04: 30刊 17 他人子へ異勤のため辞任(31)	
				必修	土木実験	3		
				選択	応用構造力学	3		
				選択	維持管理工学	3		
				必修	電磁気学演習	3		
2	助教	佐藤 慎吾	R2. 03	必修	電気電子工学実験B	3	R2.03.31付け民間企業へ就職のため辞任(2)	
	助软	佐際 误口	112.00	必修	卒業研究	3	N2.00.01月17民间正来·《观戦07/287群任(2)	
				必修	電子回路I	1		
				必修	材料の力学B	1		
				必修	航空宇宙機械力学	1		
				必修	航空宇宙工学製図	3		
3	助教	勝又 暢久	R2. 03	必修	航空宇宙工学実験	3	R2.03.31付け他大学へ異動のため辞任 (2)	
3	助钦	IDT 人 165 人	112.00	必修	航空宇宙工学セミナー	3	112.00.01月17個八子・「英勤のため計画(2)	
				選択	宇宙機設計法	3		
				必修	卒業研究I	3		
				必修	卒業研究Ⅱ	3		
				必修	統計的データ処理	1		
				必修	確率統計	1		
				必修	応用解析学I	3		
				必修	応用解析学Ⅱ	3		
				選択	飛行力学 Ⅱ	1		
4	助教	高久 雄一	R2. 03	必修	航空宇宙制御工学 I	1	R2.03.31付け任期満了のため辞任(2)	
				必修	航空宇宙工学実験	3		
				必修	航空宇宙工学セミナー	3		
				選択	宇宙機設計法	3		
				必修	卒業研究I	3		
				必修	卒業研究 Ⅱ	3		
		·		必修	工業物理基礎実験	1		
				選択	伝熱工学	1	]	
				必修	機械ロボット工学実験	1		
5	助教	鈴木 淳	R2 10	必修	機械ロボット工学演習	1	R2. 10. 14付け死亡のため辞任(3)	
ľ	-9175	Ehvis 17	木 淳 R2.10	i木 淳 R2.10	必修	機械ロボット工学設計法	1	THE TOTAL THE TO
				必修	卒業研究I	1		
				必修	卒業研究 Ⅱ	1		
				必修	機械工学実験	1		

					必修		環境科学			2							
					必修		卒業研究			2							
					選択	電磁工	ネルギー変換	工学		2							
6	教授	佐藤	佐藤 孝紀 R3.03 選択 高電圧工学				2		R3.03.31付け本学理事就任のため辞任(			任 (3)					
		選択 送配電工学 ②			1												
					選択	Л	京子力工学			2							
					選択	電気関	系法規・電気施設	<b>设管理</b>		2							
			合計	(F)							後	<b>经任補充状況</b>	の集計	(G)			
	辞任	した教員数		担当科目	数の合計	(a) +	(b) + (c)	1)0	の合計	数 (a)		②の合計	l数(b)	)	③の合計	数 (c)	1
				必	修	35	科目	必修	修	13	科目	必修	2	科目	必修	20	科目
				選	択	11	科目	選扎	択	2	科目	選択	5	科目	選択	4	科目
	6		人	自	±	0	科目	自由	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				言	ŀ	46	科目	計	+	15	科目	計	7	科目	計	24	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員**についてに記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
  - (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D	) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a) ②の合計数			†数 (b)	(b) ③の合計数 (c)				
		必修	42	科目	必修	13 科目	必修	2 科目	必修	27 ≇		
_		選択	12	科目	選択	2 科目	選択	5 科目	選択	5 ≇		
/	,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 ₹		
		計	54	科目	計	15 科目	計	7 科目	計	32 ≇		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	7 _	10.14	%
(2)-②設置時の計画(A)	_	69	10.14	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

### (3) 一⑥ 定年により退職した専仟教員に対する後仟補充状況

番号	職位	専任教員	員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況辞任等の理由						
				必修	材料の力学B	1						
				選択	ロケット工学	2						
				必修	航空宇宙構造工学I	3		_				
				必修	航空宇宙構造工学Ⅱ	2						
1	教授	樋口	/z∌	必修	航空宇宙工学製図	2		R2. 03. 31付け65	塩でウケ油	R## (2)		
'	我按	旭口	灺	必修	航空宇宙工学セミナー	2		12. 03. 31191) 00	) 献 じ 上 十 返	<b>明以(乙)</b>		
				必修	航空宇宙工学特別講義	2						
				選択	宇宙機設計法	2						
				必修	卒業研究 I	3						
				必修	卒業研究Ⅱ	3						
				必修	電磁気学基礎	2						
2	教授	酒井	彰	必修	計測システム工学	2	F	R2.03.31付け65	歳で定年退	職(2)		
				必修	卒業研究	3						
				必修	電磁気学基礎	1						
				必修	電子物性	1						
3	教授	福田	3.	必修	卒業研究	1		83.03.31付け65	塩水ウケ油	R4 (2)		
٥	我按	↑	л.	必修	フレッシュマンセミナー	1	ľ	13. 03. 31191) 00	)威 じた 半返	相比(3)		
				必修	電磁気学	1						
				必修	電磁気学演習	1						
					_							
				計		_			<b>伏況の集計</b>			
	辞任	した教員数			† (a) + (b) + (c)	①の合計		②の合計	十数(b)	③の合言	†数(c)	)
				必修	17 科目	必修		料目 必修	6 科目		4	科目
				選択	2 科目	選択 0		選択	2 科目	選択	0	科目
	3		人	自由	0 科目	自由 0		自由	0 科目	自由	0	科目
				計	19 科目	計 7		№ 計	8 科目	計	4	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について</u>に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年度開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加(前期開講:AC教員審査済み、後期開講:AC教員審査受審予定)や兼任兼担教員が担当することとしており、教育上の支障はない。 令和4年度以降の開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加や新規採用について早期に検討し、開講に影響のないよう準備する。 また、学生には、開講年度のシラバス等において担当教員名を周知予定。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認可時(令和元年)	<ul> <li>養プ「強通意生与考容時分</li> <li>養プ「強通意生与考容時分</li> <li>養プ「強通意生与考容時分</li> <li>養プ「強通意生与考容時分</li> <li>大ポ」な味い一よ強て活る</li> <li>と一いと異る誤本」と</li> <li>を一いと異るにやり</li> <li>を一いと異るにやり</li> <li>で社なるつ広知</li> <li>で社なるの広期</li> <li>動こと</li> <li>・下のていな。解学の募に</li> <li>・「強通意生与考容時分</li> </ul>	遵守事項	『 や業をかりいはれ報修難でうか捉こ活なと料必特養で一め 養(旧とけ捉者新の社し野技 まけ上像を 関係など、で、ず技得にきなさえの動いもを要徴成、部、 成強)基、え )情会、で術 たて記、掲 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、というでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	履行	

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
認可時(令和元年)	シラブ できない できない できない できない できない できない できない できない	遵守事項	を照ります。 という という では、	行済
認可時(令和元年)	「門セなとネ全せ「習にテてリ科フワなウをい(情にユ考もト利と全はつシるィでウク成アえにや用しな利た一。」あェな技対る事とつりえにや用しな利た一。」あェな技対る事といテ方、パ方で利用内)「とれアど術策こ 項リはの理ンコをる方側(な報う、びセマどがリはの理ンコをる方側(な報う、びセマどが入報とる 安さ の点リ ュのソトア 容し	改善事項	当見て1.威報2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 当見て1.威報2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) が 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 2.シの3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 3.とキ4.セ5.機6.Wiル調7.セ(ト証) 履行 3.とキ4.セラの3.とキ4.セラの第二、表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	行済

区 分	附	帯事	項	等	履行状況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)						
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)						

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

## 〈理工学部 創造工学科〉

## (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<ul> <li>授業計画(シラバス)の変更 令和3年度開講科目(一部) 授業実施方法…面接授業 成績評価手法…一斉に実施する定期試験</li> </ul>	・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomを用いた遠隔(オンライン)授業で実施。 授業実施方法…遠隔授業 成績評価手法…レポート、課題

- (注) ・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況

室蘭工業大学理工学人材育成本部の下にFD・AL部門を有する教育推進支援センターを設置

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

1回目 令和2年5月26日(火) 参加委員9/11名(メール会議)

2回目 令和2年6月10日(水) 参加委員11/11名(WEB会議)

c 委員会の審議事項等

FDの企画、立案及び実施に関すること。アクティブラーニングの推進に関すること。 その他授業科目の教育内容及び方法等の向上に関すること。

- ② 実施状況
  - a 実施内容

教育ワークショップ (FDワークショップ)、FD講演会、教員相互の授業参観 等

b 実施方法

ワークショップ形式、講演会、授業参観等の本学教職員を対象としたFDの実施

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

令和2年度の実施状況は以下のとおりであり、令和3年度も継続的にFDを実施する予定である。

- ・FDワークショップ(9/14オンライン実施\_参加者20名(他大学参加者1名を含む))
- ・FD講演会(9/28オンライン実施\_参加者38名、3/4実施\_参加者13名)
- ・教員相互の授業参観(6月実施\_参加者のべ136名、11月実施\_参加者のべ105名)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施。参加者の満足度や要望等を分析し、次回以降の同活動の改善に役立てている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

学生による授業評価アンケートを毎期最終週にWEB(学務情報システム)にて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学Webサイト上で公開予定

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

## (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
  - a 委員会の設置状況
  - b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
  - c 委員会の審議事項等
  - d その他

## ② 審議状況

a 審議した内容

# 該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的の達成に向けて、計画どおり順調に進捗している。
② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期
· 未定(検討中)
b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定
③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
・令和元年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援機構・学位授与機構)の評価を受審した。
(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ
いて記入してください。

## (5) 情報公表に関する事項

O 設置計画履行状況報告書(令和3年度)	
a 公表予定の有無 〔 有 · 無 〕	
《 a で「有」の場合》 b 公表(予定)時期 調査結果公表後 1 ヶ月以内・公表後 2 ~ 3 ヶ月以内・公表後 3 ヶ月以 c 公表方法 ウェブサイトへの掲載・その他(	,
≪ a で公表「無」の場合≫ d 公表しない理由 〔	j

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人室蘭工業大学

- (2) 大 学 名 室蘭工業大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒 0 5 0 - 8 5 8 5 北海道室蘭市水元町 2 7 番 1 号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

## (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長			
学 長	( クガ ヨシカズ ) <b>空閑 良壽</b> (平成27年4月)		
学 部 長			
学科長等	(ヨシダ マサノリ) <b>吉田 雅典</b> (平成31年4月)	(ストウ ヒデツグ) <b>須藤 秀紹</b> (令和3年4月)	任期が満了したため(3)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例)令和2年度に報告済の内容 → (2)令和3年度に報告する内容 → (3)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません) 。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。 その場合別ファイルを作成し提出してください。
  - ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	学生募集の停	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1
理工学部	理学関係	4 年	235人	3 年次 1 5 人	970人		
システム理化学科	工学関係						
学士(理工学)							

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成 2	9:	年度	平成	3 (	D年度	令和力	元年度	令和 2	2 年度	令和	3年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分	<del>3</del>	春季入学	その	他の学期	春季入	.学 そ	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	· 明 · 方
		人		人		人	人	235人	-人	235人	-人	235人	-人			
Α	入学定員	(		)	(		)	( -	- )	( -	- )	( 1	5)			
		[		]	[		]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]			
								591		861		767				
'	志願者数	( )	(	)	(	)	( )	[07]	( - )	( - )	( - )	(36)	( - )			
-		LJ	L		L	J	LJ	[27] 546	[ - ] -	[ 29 ] 800	[ - ]	[18] 734	[ - ]			大学の 1 巻号段
	受験者数	( )	(	)	(	)	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	(34)	( - )	4 05/±	,	本学の入学試験 を経ない外国政
'	~ <sub>3</sub> 1 3	lì í	ĺί	í	Ì	í	[ ]	Γ 27 Î	Γ - 1 <sup>′</sup>	Γ 29 Î	Γ - 1 l	Γ181	Γ - 1	1.05倍	- 倍	府派遣留学生が
			Ť			_		299	-	296	-	323	-			1名入学(2)
	合格者数	( )	(	)	(	)	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	(24)	( - )			
		[ ]	[	]	[	]	[ ]	[ 27 ]	[ - ]	[ 19 ]	[ - ]	[14]	[ - ]			
	- 11/4/1/1		1					247		254		243				
В	入学者数	( )	(	)	(	)	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	(16)	( - )			
7 33	459505	LJ	L		L	J	L	[ 10 ]	[-]	[9]	[-]	[2]	[-]			
人字	₽定員超過率 B╱A							1.	05	1.	80	1.	03			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( )内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成 2	9 年度	平成3	30年度	令和力	元年度	令和:	2 年度	令和3年度		備考	
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	2 その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
					247	_	255	_	243	_	令和3年度	
1 年次					[ 10 ]					[ - ]	・3年次編入学16名入学	
	( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )		
							246	-	252	_		
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[9]	[ - ]	[9]	[ - ]		
			( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		
									260	_		
3年次	/		_		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[9]	[ - ]		
					( )	( )	( )	( )	( - )	( - )		
4年次	_		_		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
							( )	( )	( )	( )		
					2	47	50	01	7:	55		
計	[	]	[	]	[ 1	0 ]	[ 1	9 ]	[ 2	20 ]		
	(	)	(	)	( -	- )	( -	- )	( -	- )		

- ·令和3年5月1日 公表
  - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
    - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
    - ・( ) 内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
    - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
    - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
    - ・ 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
_ "	在学者数(b)	退学者数(a)			者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	J	平成29年度	人	人	
十成304段	^	^	平成30年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和元年度	247 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
	501 人		平成29年度	人	人	
令和2年度		1 人	平成30年度	人	人	
节仰2千皮	301 X		令和元年度	1 人	1 人	[他大学へ進学(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	755 人	5 人	令和元年度	2 人	0 人	他大学へ進学(1人)、進路変更(1人)
けれり千皮	700 X		令和2年度	3 人	1 人	修学意欲喪失(1人)、進路変更(1人) [他大学へ進学(1人)]
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		6 人		6 人	2 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

### 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) #DIV/0! 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0 247 0 % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 0.19 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 5 % 0.66 令和3年度の在学者数(b)

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

## 2 授業科目の概要

<理工学部 システム理化学科>

## (1)一① 授業科目表

## 【認可時又は届出時】

					単位数	ζ		専任教	0員等	の配置		兼任
科 区:		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	*
		コレッシュラン芸師沖頭	124	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		フレッシュマン英語演習	1前	1								兼8
		英語リーディング演習A	1後	1								兼4
		英語リーディング演習B	2前	1								兼4
	外	英語総合演習	2後	1								兼8
	玉	英語コミュニケーションⅠ	2前・後	1								兼4
	語科	英語コミュニケーションⅡ	3前		1							兼2
	目	TOEIC英語演習 I	1後	1								兼4
		TOEIC英語演習 Ⅱ	3前	2								兼4
		ドイツ語	1前・後		1							兼1
		中国語	1前・後		1							兼1
L		小計 ( 10 科目)	-	8	3							兼10
		地域社会概論	1前	1				1				兼3
		胆振学入門	1前		-1							兼1
	地域	北海道産業論A	3前		1							兼1
連	連	北海道産業論B	3前		1		1					兼1
	携科	北海道産業論C	3前		1		1					
	Ħ	インター・テクノロジーA	3前		1			1				兼1
		インター・テクノロジーB	4前		1			1				兼1
		小計 (7 科目)	-	1	6		2	2				兼7
ľ		平和学	1前		1							兼1
		哲学入門	1前		1					l		兼1
		こころの科学	1前		1					1		兼1
		経済のしくみ	1前		1							兼1
		日本の憲法	1後		2							兼1
		現代社会論	1後		2							兼1
		現代民主主義論	1後		2							兼1
		現代心理学	1後		2							兼1
		運動の科学	1後		2							兼1
			_									
_		経済事情	1後		2							兼1
		医の科学	1後		2							兼1
		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
般 教		青少年と文化	1後		2							兼2
養		異文化交流A	1後		2							兼1
教育		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
	人	中国の文化	1後・2前		1							兼1
	社	環境経済論	2前		2							兼1
	会に	基本的人権論	2前		2							兼1
	関	地方自治論	2前		2							兼1
	する	感性の科学	2前		2							兼1
	科	国際文化論	2前		2							兼1
	目	異文化交流B	2前		2							兼1
		地域再生システム論	1前		2							兼3
		キャリアデザイン	2後		2		1					
		スポーツ実習 a	1前		1							兼1
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							兼1
		臨海実習	1 - 2 - 3 - 4前		1					1		兼1
		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3
		海外研修	1-2-3-4前-後		1					1		兼3
		社会体験実習	1-2-3-4前		1					1		兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		3			<u> </u>		兼5
		短期インターンシップ	3前・後		2	-	3	-	-	1	-	兼5
			_							-		
		長期インターンシップ	3前・後		3		3			-		兼5
		連携教養科目	1-2-3-4前-後		-		<u> </u>		-	<del>                                     </del>	-	
ļ		小計 (36 科目)	-		58		4			1		兼21
		日本語 A-1	1-2-3-4前		1							兼1
		日本語 B-1	1 - 2 - 3 - 4前		1							兼1
	_	日本語 C-1	1-2-3-4前		1					<u> </u>		兼1
	日本	日本語 D-1	1 - 2 - 3 - 4前		1							兼1
	語	日本語 A-2	1 - 2 - 3 - 4後		1	L		L	L	L	L	兼1
	科目	日本語 B-2	1 - 2 - 3 - 4後		1							兼1
		日本語 C-2	1 - 2 - 3 - 4後		1							兼1
		日本語 D-2	1 - 2 - 3 - 4後		1							兼1
		小計 (8 科目)	t —		8							兼2

日本語   日本日   日本語   日本日   日本						単位数	ı		専仟参	な 員等(	の配置		兼
日本語   日本日   日本語   日本日   日本	科区	目 分	授業科目の名称	配当年次				教	准				任 .
大きな					修	択	由	授		師	教	手	兼担
製造の合演音   2前   1   1   1   2   3   3   3   3   3   3   3   3   3			フレッシュマン英語演習	1前	1								兼8
受話の会演音 2 後 1 1	区分 一 一 一 一 一 他教養教			1後	1								兼6
新語コミュニケーション   2m · m   1   1   2m · m   1   2m · m   2m · m   1   2m · m   2m ·				_									
日本語		44			-								
TOEIO英語演習   1歳   1   2   2   2   2   2   2   2   2   2		王			1								_
TOEIC英語演習		科				1							
下イツ語		B											
中国語					- 2	1							
小計 (10 利目)													
地域社会報論   1前   1   1   2   3   3   3   3   3   3   3   3   3				- 100	8								兼16
担談   担談   担談   担談   担談   担談   担談   担談				1前				1					-
			胆振学入門			1							
通過産業論日			北海道産業論A	3前		1							兼1
1			北海道産業論B	3前		1		1					兼1
日 インター・テクノロジー品 4 初 1 1			北海道産業論C	3前		1		1					
中和学 1前 1			インター・テクノロジーA	3前		1			1				兼1
中和学   1前   1   2   2   2   2   2   2   2   2   2				4前		1			1				-
日本田   日本日   日本				_	1			3	1				
日本の語法   1前   1   1   1   1   1   1   1   1											<u> </u>		-
日本の憲法   1歳   2													
日本の憲法   1後   2						-		-			-		-
現代社会論   1後   2													
現代民主主義論   1後   2													
現代心理学   1後   2   第1   第1   第1   第2   第2   第4   第4   第4   第4   第5   第5   第5   第5						-							-
一													_
日本語 A - 1   12-3-4m   1   1   1   1   1   1   1   1   1													
Recompt		İ		_									
大きな   大き				_									-
青少年と文化   1後   2				_									
乗りたの文化 1後・2m 1 1			青少年と文化			2							
## 1			異文化交流A	1後		2							兼1
中国の文化   1g-2m	教		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
とせ会に関する         選集経済論         2前         第1           基本的人権論         2前         2         第1           地方自治論         2前         2         第1           歴任の科学         2前         2         第1           國際文化論         2前         2         第1           東日         2前         2         第2           地域再生システム論         1前         2         第3           キャリアデザイン         2後         2         1         第3           スポーツ楽雷 a         1前         1         第1         第1           スポーツ楽雷 a         1前         1         第2         第3           スポーツ楽雷 a         1前         1         第2         第3           スポーツ楽雷 a         1前         1         第2         第3           海外語学研修         12-3-4m         1         1         第2           海外研修         12-3-4m         1         1         第2           超期インターンシップ         3m・6         2         3         第5           提開インターンシップ         3m・6         2         3         第5           展期インターンシップ         3m・6         3         3         第5           展開インターンシップ         1         1	育	人	中国の文化	1後・2前		1							兼1
会会     基本的人権論     2前     表記       地方自治論     2前     第末       感性の科学     2前     2     第末       国際文化論     2前     2     第末       国際文化論     2前     2     第末       地域再生ンテム論     1前     2     1       セッリアデザイン     2後     2     1       スポーツ楽習 a     1前     1     第1       スポーツ楽習 a     1前     1     第3       スポーツ楽習 a     1後     1     第3       スポーツ楽習 a     1後     1     第3       海外語学研修     12-3-4m     1     第2       海外語学研修     12-3-4m     1     第2       海外研修     12-3-4m     1     第2       地域インターンシップ     3m・後     2     3     第5       長期インターンシップ     3m・後     2     3     第5       長期インターンシップ     3m・後     2     3     第5       長期インターンシップ     3m・後     2     3     第5       上本語 A 1     12-3-4m     1     第1       日本語 B - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 B - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 C - 2		ځ	環境経済論	2前		2							兼1
世の日 2		会	基本的人権論	2前		2							兼1
国際文化論 2前 2 素目 素目 要求化論 2前 2 素目 要求化論 2前 2 素目 要求化論 1前 2 第次化交流		関	地方自治論	2前		2							兼1
程 国際文化論 2前 2 第末1 単域再生システム論 1前 2 第3 セ域再生システム論 1前 2 第3 キャリアデザイン 2後 2 1 第3 スポーツ楽習 1 前 1 第1 スポーツ楽習 1 1前 1 第1 スポーツ楽習 1 1 第1 第2 本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				2前		2							兼1
地域再生システム論   1前   2   第1   第2   第2   第3   第3   第4   第4   第4   第5   第5   第6   第6   第6   第6   第6   第6		科		2前		2							兼1
キャリアデザイン     2後     2     1       スポーツ楽習 b     1前     1     素1       スポーツ楽習 c     1後     1     素3       スポーツ楽習 c     1後     1     第3       高海楽習     12-3-4m     1     1     第2       海外語学研修     12-3-4m     2     第3     第3       海外研修     12-3-4m     1     1     第2       地域インターンシップ     3m・k     2     3     第5       長期インターンシップ     3m・k     2     3     第5       長期インターンシップ     3m・k     2     3     第5       長期インターンシップ     3m・k     3     3     第5       上     日本語 A - 1     1:23-4m     1     第1       日本語 B - 1     1:23-4m     1     第1       日本語 C - 1     1:23-4m     1     第1       日本語 C - 1     1:23-4m     1     第1       日本語 D - 1     1:23-4m     1     第1       日本語 D - 1     1:23-4m     1     第1       日本語 A - 2     1:23-4m     1     第1		н											-
スポーツ楽習 a     1前 1     素1       スポーツ楽習 b     1前 1     素1       スポーツ楽習 c     1後 1     素1       スポーツ楽習 d     1後 1     第3       臨海楽習 1:2-1-4m 1     1 第2       海外語学研修 1:2-1-4m 2     素3       社会体験実習 (未開席) 1:2-1-4m 1     1 第2       地域インターンシップ 3前・後 2 3 第5     素5       展期インターンシップ 3前・後 2 3 第5     素5       長期インターンシップ 3前・後 2 3 第5     素5       連携教養科目 2-1-4m 2     3 3 3 第5       中本語 A - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 C - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 C - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 D - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 D - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 D - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 D - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 D - 1 1:2-1-4m 1     第1       日本語 D - 1 1:2-1-4m 1     第1													兼3
スポーツ楽習   1前   1								1					able 4
スポーツ楽習 c     1後     1       スポーツ楽習 d     1後     1       臨海楽習     123-4m     1       海外語学研修     123-4m     2       海外研修     123-4m     1       社会体験楽習 (未開間)     12-2-4m       地域インターンシップ     3前・後     2       長期インターンシップ     3前・後     2       長期インターンシップ     3前・後     2       長期インターンシップ     3前・後     3       連携教養科目     23-4m     3       小計 (36 科目)     -     58       日本語 A - 1     12-3-4m     1       日本語 B - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 D - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 D - 1     12-3-4m     1     第1       日本語 A - 2     12-3-4m     1     第1						_					-		
大ポーツ楽習   1後   1   1   第3   第3   第3   第4   第4   第5   第5   第5   第5   第5   第5													
臨海実習     1-2-3-4m     1     1     第2       海外研修     1-2-3-4m     2     第3       社会体験実習(未開酬)     1-2-3-4m     1     1     第3       社会体験実習(未開酬)     1-2-3-4m     1     1     第2       地域インターンシップ 3前・後     2     3     第5       展期インターンシップ 3前・後     2     3     第5       展期インターンシップ 3前・後     3     3     第5       連携教養科目     1-2-3-4m     1     1     第2       日本語 A - 1     1-2-3-4m     1     第1       日本語 B - 1     1-2-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     1-2-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     1-2-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     1-2-3-4m     1     第1       日本語 C - 1     1-2-3-4m     1     第1       日本語 A - 2     1-2-3-4m     1     第1													
海外語学研修 123-4m 2 2 第3 第3 第3 第5 123-4m 1 1 第2 1 第2 1 1 第2 1 1 第2 1 1 1 1 1 1 1						-			1				-
海外研修 社会体験実習 (未開開) 1-2-3-4m 1 1 素2 地域インターンシップ 3前・6 2 3 素5 短期インターンシップ 3前・6 2 3 素5 展期インターンシップ 3前・6 2 3 素5 展期インターンシップ 3前・6 4 1 1 第数 連携教養科目 12-3-4m 1 1 第2-3-4m 1 第1 日本語 B-1 12-3-4m 1 第1 日本語 C-1 12-3-4m 1 第1 日本語 C-1 12-3-4m 1 第1 日本語 C-1 12-3-4m 1 第1 日本語 D-1 12-3-4m 1 第1 日本語 D-1 12-3-4m 1 第1 日本語 D-1 12-3-4m 1 第1 日本語 D-1 12-3-4m 1 第1									i –				
社会体験実習 (未開版) 1-2-3-46 1 1 兼2 地域インターンシップ 3前・後 2 3 兼5 短期インターンシップ 3前・後 2 3 兼5 長期インターンシップ 3前・後 3 3 ま 乗数奏科目 1-2-3-46 1 1 第2-3-46 1 東1 日本語 B-1 1-2-3-46 1 東1 日本語 C-1 1-2-3-46 1 東1 日本語 C-1 1-2-3-46 1 東1 日本語 D-1 1-2-3-46 1 東1 日本語 D-1 1-2-3-46 1 東1 日本語 D-1 1-2-3-46 1 東1 日本語 D-1 1-2-3-46 1 東1						-							兼3
地域インターンシップ     3前・後     2     3     兼5       短期インターンシップ     3前・後     2     3     兼5       長期インターンシップ     3前・後     3     3     兼5       連携教養科目     523-468     1     1     第2       小計(36 科目)     -     58     4     1     1     第2       日本語 A - 1     1-2-3-48     1     第1     第1       日本語 C - 1     1-2-3-48     1     第1     第1       日本語 C - 1     1-2-3-48     1     第1     第1       日本語 D - 1     1-2-3-48     1     第1     第1       日本語 D - 1     1-2-3-48     1     第1     第1						_					1		-
短期インターンシップ 3前・後 2 3 第5 長期インターンシップ 3前・後 3 3 第2 連携教養科目 12-2-46 9								3					兼5
連携教養科目     123-46 mm       小計(36 科目)     -     58     4     1     1     第2       日本語 A - 1     1-2-3-46 mm     1     素       日本語 B - 1     1-2-3-46 mm     1     素       日本語 C - 1     1-2-3-46 mm     1     素       日本語 D - 1     1-2-3-46 mm     1     素       日本語 A - 2     1-2-3-48 mm     1     素				3前・後		2		3					
小計 (36 科目)			長期インターンシップ	3前・後		3		3					兼5
日本語 A - 1			連携教養科目	1-2-3-4前-後									
日本語 日			小計 ( 36 科目)	_		58		4	1		1		兼26
日本語 C - 1   1-2-3-4m   1   兼1				1-2-3-4前		1							兼1
日本						1							兼1
本 日本語 A - 2 1-2-3-4版 1		_				_							-
		本											
		語科		_									
目 日本語 B − 2 1·2·3·4歳 1 兼1						-					<u> </u>		-
日本語 C-2 1:2:3:4版 1 兼1											<u> </u>		
日本語 D-2 1-2-3-4後 1 兼1						_							-
小計 ( 8 科目 )			小紅 ( ð 科目)			8					<u> </u>		兼2

## 【認可時又は届出時】

		スは個田時』			単位数	Į.		専任教	数員等	の配置		兼
	日分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任
	.,,		+ %	修	択	曲	授	教 授	師	教	手	兼担
		線形代数A	1前	2			1	2				
		線形代数B	1後	2			1	2				
		微分積分A	1前	2			1	2	1			<u> </u>
		微分積分B	1後	2			1	2	1			
到	Ψ L	微分積分 C	2前	2			1	2	1			***
4	学	物理学A 物理学B	1前	1			2	3				兼5 兼4
	部 共	物理学C	1後	1			2	2				兼4
ii	<b>直</b> 斗	化学	1後		2		1	1		1		兼1
	Ī	生物学	1後		2		1	2		1		AK I
		環境科学	2前	2			2	1				兼6
		フレッシュマンセミナー	1前	1				3				兼4
		知的財産所有権論	3前	1								兼2
		小計 (13科目)	-	18	4		10	13	1	2		兼19
理工	Arte	情報セキュリティ入門	1前	2								兼4
学目部	情報	データサイエンス入門	1後	2			4	2				兼3
共通	科目	プログラミング入門	1後	2								兼4
科	-	小計 (3科目)	-	6			4	2				兼7
		基礎物理実験	2前	1				2		2		兼1
		化学実験	1後	1				1		2		兼1
		基礎生物学	1前	2			1	2				_
		基礎化学	1前	2			2	-	<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>
	専門	物質科学	2前	2			3	1				-
シ	基礎	振動・波動論	2前	2			1	1				$\vdash$
ステ	科目	物質変換論 生物物質化学	2前	2			3	3				-
, ム 理		理工学概論	2前	1			3	٥				1
化		理工学技術者倫理	3後	2			2	1				
学科		地球科学入門	1後	<u> </u>	1		<u> </u>	Ė				兼1
共通		小計 (11科目)	-	17	1		16	10		5		兼3
科		統計的データ分析	2後	2			1	2				
目		現代情報学概論	2前	2			3					
	情	確率論	2前	2			3					
	報科	理工学情報演習	2後	1				3				
	Ħ	プログラミング演習	2前	2				1		2		
		情報システム概論	2前	1				2				
		小計 (6 科目)	ı	10			7	7		2		
	物理	物理数学	3前	2				1				
	数学	物理数学演習	3前	1						1		
	系	小計(2科目)	-	3				1		1		
		カ学 A	2後	1			1					
	+	力学B	2後	1			1					
	力学	力学演習 量子力学 A	2後	1			_			1		-
	系	量子力学 B	3前	2			1					
		・ 分計 (5 科目)	3後	7			3			1		
		電磁気学A	256	2			3	1		<u>'</u>		-
	電	電磁気学演習	2後	1				1		1		
	磁気	電磁気学B	3前	2			1			H		
	学系	光学	3後	2				1				
	215	小計 ( 4 科目)	-	7			1	2		1		
	**	熱力学	2後	2			1					
ス	熱力	熱力学演習	2後	1						1		
科目	学系	統計力学	3前	2								兼1
物物	<u> </u>	小計 (3 科目)	1	5			1			1		兼1
理物		結晶構造学	2後	2			1					
質	物物質性	固体物理 A	3前	2			1					<u> </u>
シス	科物学理	物理化学	3前	2			1					<u> </u>
テム	-	固体物理B	3後	2			1					<b>├</b>
П —	<u> </u>	小計 (4 科目) 物理物質プレゼンテーション技法	728	8			3			-		$\vdash$
2	Ì	初度初員プレセンテーション技法 科学英語	2後	1			1		-	1	-	兼1
		応用力学A	3前	<u> </u>	1		1					AN I
		応用力学B	3前		1		<u> </u>					兼1
		量子物質科学A	3後		1			1				<u> </u>
		量子物質科学B	3後		1			1				
	物理	量子物質科学C	3後		1		1					
	物	量子物質科学D	3後		1		1					
	質・	光物理工学A	3後		1					1		
	応用	光物理工学B	3後		1			1				
		材料科学A	3前		1		1					
					1							兼1
		材料科学B	3前									
		材料科学B 材料科学C	3前		1		1					
							1					
		材料科学C	3後		1							

	140	T	ı —	1	単位数	ī		亩红岩	5日笙	の配置		兼
		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助助	助	任
T   A   T   E   T   E   T   E   T   E   E   T   E   E		+ 4	修	択	曲	授	教 授	師	教	手	兼担	
		線形代数A	1前	2				1				
科区     理工学部共通科目     理工学部共通科目     博報科目     専門基礎科目     情報科目     物理数学系     効型系     配数学系     熱力学系     能数例学系     熱力学系     物質科学       自分     情報科目     専門基礎科目     情報科目     物理数学系     効力学系     能質科学	線形代数B	1後	2				1					
	日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	微分積分 A 微分積分 B	1前	2				2	1			
l .		微分積分C	2前	2				1	1			兼1
	E.	物理学A	1前	2			2	1				
台	В	物理学B	1後	1			2	2				
		物理学C	1後	1			2	1				
养	4	化学	1後		2		1	1		1		兼1
		生物学 環境科学	1後		2		1	2		1		***
		環境科子 フレッシュマンセミナー	2前	1			2	3				兼6
		知的財産所有権論	3前	1				-				兼1
		小計 (13科目)	-	18	4		8	11	1	2		兼9
	/#	情報セキュリティ入門	1前	2								兼4
学	報	データサイエンス入門	1後	2			3	2				兼4
通		プログラミング入門	1後	2								兼4
科		小計 (3科目) 基礎物理実験	2前	6			3	2		2		<b>兼8</b> 兼1
		化学実験	1後	1				1		2		兼1
		基礎生物学	1前	2			1	2		<u> </u>		200.7
		基礎化学	1前	2			1	1				
		物質科学	2前	2			3	1				
シ	基	振動・波動論	2前	2			1	1				
ステ	科	物質変換論	2前	2			1	2				
ム	Ħ	生物物質化学 理工学概論	2前	2			3	3				
化		理工学技術者倫理	3後	2			1	1				
科		地球科学入門	1後		1							兼1
		小計 (11科目)	-	17	1		13	10		4		兼3
		統計的データ分析	2後	2			1	2				
		現代情報学概論	2前	2			2					兼1
		確率論	2前	2			3	_				
		理工学情報演習 プログラミング演習	2後	2				3		1		
		情報システム概論	2前	1			1	1		<u>'</u>		
		小計 (6 科目)	-	10			7	6		1		兼1
		物理数学	3前	2				1				
	数	物理数学演習	3前	-1						1		
		小計 (2 科目)	-	3				1		1		
		力学A	2後	1			1					
	ъ	力学B 力学演習	2後	1			1			1		
		量子力学A	3前	2			1			<u> </u>		
	,,,	量子力学B	3後	2			1					
		小計 (5 科目)	-	7			3			1		
	-	電磁気学A	2後	2				1				
	磁	電磁気学演習	2後	1						1		
		電磁気学B	3前	2				1				
	系	光学 小計(4科目)	3後	7			-	2	-	1		
=		熱力学	2後	2			1	_		<u> </u>		
ス	力	熱力学演習	2後	1						1		
	学	統計力学	3前	2			1					
		小計 (3 科目)	-	5			2			1		
		結晶構造学	2後	2			1					
質	質性	固体物理 A 物理化学	3前	2			1	1				
ス	科物学理	固体物理B	3後	2			1	· ·				
Ĺ		小計 ( 4 科目)	-	8			3	1				
1 - 1		物理物質プレゼンテーション技法	2後	1						1		
Ć		科学英語	3後	1			1					兼1
		応用力学A	3前		1		1					
		応用力学B 最子物質科学A	3前		1		1	1	-			
		量子物質科学A 量子物質科学B	3後		1			1				
		量子物質科学C	3後		1		1	<u> </u>				
	物	量子物質科学D	3後		1		1					
		光物理工学A	3後		1					1		
		光物理工学B	3後		1			1				
		材料科学A	3前		1		1					
		材料科学B	3前		1		<u> </u>	-	-	-		兼1
		材料科学C 材料科学D	3後		1		1					
		物理物質工場見学	2後		1		1					
		小計 (15 科目)	-	2	13		5	2		2		兼1
		•			•			•	•			

## 【認可時又は届出時】

私	· 目		配当		単位数		,			の配置		兼任
	分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	調師	助教	助	兼担
質コシー		物理物質学実験A	3前	2	91	ш	DX.	1	ыų	2	手	12:
ンI スス テ科	実	物理物質学実験B	3後	2				1		2		
ム目	験	ゼミナール	4通	2			6	5		4		兼1
一物	等	卒業研究	4通	8			6	5		4		兼1
ス理)物		小計(4科目)	-	14			6	5		4		兼1
		物理化学A	2後	2				1				
		物理化学B	2後	2			1					
		物理化学C	3前		2		1					
	物	化学基礎演習A	3前		1		1					
	理化	物理化学D	3後		2		1					
	学系	化学基礎演習 B	3後		1			1				
	,,,	高分子化学 A	3後		1		1					
		高分子化学B 物理化学実験	3後	_	1		1					
		小計(9科目)	3前	5	8		3	2		1		
	無	無機化学A	3前	3	1		3	1		-		
	機	無機化学B	3前		1			1				
	分	環境化学	3後		2			1				
	析化	分析化学および実験	3前	3				1		1		兼1
	学	小計 (4 科目)	- Jan	3	4			2		1		兼1
	系	有機化学A	2後	2	4		1			<u> </u>		ЯŘI
	Ì	有機化学B	2後	2	-		<u> </u>	1		-		
	Ì	有機化学C	3前	<del>L</del>	2			<u> </u>		1		
	有	有機化学D	3前		2	ļ	1	ļ		<u> </u>		
	機化	有機合成化学	3後	<del>                                     </del>	2		1			-		
	学	有機化学演習	3後		1		2	1		1		
	系	有機構造解析学	4前		2			1		l '-		
_	Ì	有機化学実験	3後	1	Ė		2	1		1		
1		小計 (8 科目)	-	5	9		2	1		1		
ス 科		生化学A	2後	2	_		1	-		<u> </u>		
Ħ		生化学B	2後	2				1				
化		微生物科学A	2後		2		1					
学生		微生物科学B	3前		2			1				
物	生物	分子生物学A	3前		1			1				
シ ス	化学	分子生物学B	3前		1			1				
テム		細胞生物学	3前		2			1				t
1	生物	応用微生物学	3後		2		1	1				
ا ک	系	バイオ演習	3後		1		1	1				
$\sim$		生物システム科学	4前		2		1	1				
		生物化学実験	3後	1				1		1		
		小計 ( 11 科目)	-	5	13		2	5		1		
		輸送現象論	2後		2			1				
		安全管理	3前	1			1					
		流れ学A	3前	2			1					
		流れ学A演習	3前		1		1					
		流れ学B	3後	2			1					
		流れ学B演習	3後		1		1					
	化	化学反応操作	3前		2			1				
	学	物質分離操作	3後		2			1				
	生物	化学プロセス制御	3後		2		1					
	応	化学プロセス生産論および実験実習	3後	3			1			2		
	用	企業見学	3前		1		1					L
	Ì	化学生物プレゼンテーション技法	3後	1				2				
	Ì	食品科学	4前		1			1				
	Ì	材料科学	4前		1		2					
	Ì	食品生産論	4前		1			1				
		材料生産論	4前		1			1		ļ		
	<u> </u>	小計 (16 科目)	-	9	15		4	5		2		
	総合	ゼミナール	4通	2	ļ		9	11		5		兼1
	科目	卒業研究	4通	8			9	11		5		兼1
	Ľ	小計 (2 科目)	-	10	<u> </u>		9	11		5		兼1
	Ì	数学概論	2後	2				1		-		
٦ 	Ì	応用数学	2後	_	2			<u> </u>	1	-		L
ス	数	代数学	3前	<u> </u>	2			1				-
科目	学	幾何学	3前		2			1		<b> </b>		
$\overline{}$	Ì	解析学	3前	-	2		1					
数 理	Ì	数論アルゴリズム	3後	_	2		1	_				-
情報	<u> </u>	小計(6科目)	-	2	10		2	3	1	<u> </u>		-
シ	数	情報学特別講義A	3前	-	1		1	1				
ス テ	理	情報学特別講義B	3前	-	1		-	2		-		1
A	情	情報学特別講義C	3後		1		_	2		<b> </b>		
1	報	情報学特別講義D	3後	-	1		1	1		-		
2	社	情報学特別講義E	4前	-	1		2	4	1	-		┢
	会	情報学特別講義F	4前		1		2	4	1	<u> </u>		1
		小計 (6 科目)			6		4	10	1	<u> </u>		ᆫ

					単位数	7		専仟孝	な員等の	の配置		兼
科区	日分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任 .
<u> </u>	. 73		+ %	修	択	曲	授	教 授	師	教	手	兼 担
質シ		物理物質学実験 A	3前	2				1		2		
スス テ科	実	物理物質学実験B	3後	2				1		2		
교	験等	ゼミナール	4通	2			6	5		4		兼1
コー 内 現 現 物	-17	卒業研究	4通	8			6	5		4		兼1
一物		小計(4科目)	-	14			6	5		4		兼1
		物理化学A	2後	2				1				
		物理化学B	2後	2			1					
		物理化学C	3前		2			-1				
	物	化学基礎演習A	3前		1		1					
	理化	物理化学D	3後		2		1					
	学系	化学基礎演習B	3後		1			1				
	75	高分子化学A	3後		1		1					
		高分子化学B	3後		1		1					
		物理化学実験	3前	1				1				兼1
	dere.	小計 (9 科目)	-	5	8		2	2				兼1
	無機	無機化学A	3前		1			1				
	分	無機化学B	3前		1			1				
	析	環境化学	3後		2			1				
	化学	分析化学および実験	3前	3				1		1		兼1
	系	小計 (4 科目)	_	3	4			2		1		兼1
	Ì	有機化学A	2後	2			1					ļ
	Ì	有機化学B	2後	2				1				
	有	有機化学C	3前		2					1		
	機	有機化学D	3前		2		1					
	化学	有機合成化学	3後		2		1					
	系	有機化学演習	3後		1		2	1		1		
	Ì	有機構造解析学 有機化学実験	4前	<u> </u>	2		<u> </u>	1		<u> </u>		-
7			3後	1			2	1		1		
ス		小計 (8 科目)	-	5	9		2	1		1		
科目		生化学A	2後	2			1					
_		生化学B	2後	2				1				
化学		微生物科学A	2後		2		1					
生物	生	微生物科学B	3前		2			1				
シ	物化	分子生物学 A	3前		1			1				
ステ	学	分子生物学B	3前		1			1				
7	生	細胞生物学	3前		2			1				
П	物系	応用微生物学	3後		2		1	1				
<u>ک</u>		バイオ演習	3後		1		1	1				
		生物システム科学生物化学実験	4前		2		1	1				
		小計(11科目)	3後	1	40		_	1		1		
			- 0.66	5	13		2	5		1		
		輸送現象論 安全管理	2後	-	2			1				
		流れ学 A	3前	1			1					
			3前	2	١.		1					
		流れ学A演習	3前		1		1					
		流れ学B 流れ学B演習	3後	2	_		1					
		化学反応操作	3後		1		1					
	化学	物質分離操作	3前	-	2		-	1	-	-		1
	生	初員分離採作 化学プロセス制御	3後		2		1					-
	物応	11.子ノロセス制御 化学プロセス生産論および実験実習		,		<b>-</b>				2		
	用	化学プロセス生産論および実験実官 企業見学	3後	3	1	-	1			2		
	Ì	近来見子 化学生物プレゼンテーション技法	3前	1	<u> </u>		<u> </u>	2				<b>-</b>
	Ì	食品科学	4前	<u> </u>	1			1				
	Ì	<b>技品科子</b> 材料科学	4前		1		2	'				
	Ì	食品生産論	4前		1			1				-
	Ì	材料生産論	4前		1			1				
	Ì	小計 ( 16 科目)	4 HII —	9	15		4	5		2		
	L.	ゼミナール	4通	2	13		8	11		4		兼1
	総合	卒業研究	4通	- 8	1		8	11		4		兼1
	科目	小計(2科目)	4進	10			8	11		4		兼1
$\vdash$	<u> </u>	数学概論	2後	2	1		Ť	1		Ť		AL.
_		応用数学	2後		2			<u> </u>	1			
	Ì	代数学	3前		2		1		Ė			
ス 科	数	幾何学	3前		2		•	1				
目	学	解析学	3前		2			<u> </u>				兼1
数		数論アルゴリズム	3後		2		1					AT. 1
理	Ì	小計 (6 科目)	-	2	10		2	2	1			兼1
情報		情報学特別講義A	3前		1		1	1	Ė			an '
シス	数	情報学特別講義B	3前		1		Ė	2				
テ	理と	情報学特別講義C	3後		1		1	1				<u> </u>
7	情	情報学特別講義D	3後		1		1	<u> </u>				<b>-</b>
]   	報・	情報学特別講義E	4前		1		2	3	1			
<u>ک</u>	社会	情報学特別講義F	4前		1		2	3	1			
		小計 (6 科目)	-		6		5	7	1			<b>†</b>
Щ.	<u> </u>	,/			, v	Ь						Ь—

### 【認可時又は届出時】

	_			:次  20   25   15   15   15   15   15   15   15						兼任		
	日分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教		講	助	助	*
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		データ構造とアルゴリズム	2後	2				1				
	情	情報数学	2後	2			1					
	報の	信号処理	3前		2		1					
	基	情報理論	3前		2		1					
	本	最適化理論	3後		2		1					
		小計 (5 科目)	-	4	6		3	1				
		データベース	2後		2		1					
_	シ	論理回路	3後		2		1					
l ス	ステ	人工知能	3後		2		1					
科	Ĺ	認識と学習	3後		2			1				
目		小計 (4 科目)	-		8		2	1				
数	上級	プログラミングA	2後	2				1				
理情	ゴ ロ グ	プログラミングB	3前		2			1				
報シ	2 2	言語処理系論	3後		2			1				
ス	グ	小計 (3 科目)	-	2	4			2				
テム		情報学基礎演習A	2後	1						4		
7		情報学基礎演習B	3前	1						4		
ځ		情報学PBL演習	3後	1			1	1		1		
_		表現技術演習	2後	2				2				
		情報学応用演習A	3前	1						4		
	演習	情報学応用演習B	3後	1						4		
	_	技術英語	2後	2			1					
1		基盤情報学演習	3前	1			8	11	1	4		
		情報学ゼミナール	3後	1			8	11	1	4		
		卒業研究	4通	8			8	11	1	4		
1		小計 ( 10 科目)	-	19			8	11	1	4		
	合	計 ( 215 科目)	-	170	176		23	28	1	13		兼56

### 卒業要件及び履修方法

- 日本語科目の魔修要件等 1. 外国人留学生を対象として開議する授業科目である。 2. 外国語科目として履修することができる。 3. 外国語科目として履修することができる。

魔修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、魔修申告する学期の直前の学期における魔修科目の成様平均 値 (GPA) が3 0以上の者は30単位まで魔修することができる。

卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目9 単位以上、地域連携科目 2 単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域 連携科目及び人と社会に関する科目から1 単位以上、合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目. システム理化学科共通科目) 1. 理工学部共通科目から26単位. システム理化学科共通科目から27単位. 合計53単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 物理物質システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目6単位以上, 合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以 上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 化学生物システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目37単位、選択科目15単位以上(選択科目 Aから11単位以上、選択科目 Bから2 単位以上)、合計52単位以上修得すること。 2. 一般授業務924単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以 上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 数理情報システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、短工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上を得すること。

### 【令和3年度】

					単位数	Ţ		専任教	女員等(	の配置		兼任
	目 分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
				修	択	由	授	授	師	教	手	担
		データ構造とアルゴリズム	2後	2				1				
	情	情報数学	2後	2			1					
	報の	信号処理	3前		2							兼1
	基	情報理論	3前		2		1					
	本	最適化理論	3後		2		1					
		小計 (5 科目)	-	4	6		2	1				兼1
		データベース	2後		2		1					
_	シ	論理回路	3後		2							兼1
l ス	ステ	人工知能	3後		2		1					
科	Ĺ	認識と学習	3後		2			1				
目		小計 ( 4 科目)	-		8		-1	1				兼1
数	上級	プログラミングA	2後	2				1				
理情	プ ロ グ	プログラミングB	3前		2			1				
報シ	2 2	言語処理系論	3後		2		1					
ス	グ	小計 (3 科目)	-	2	4		1	1				
テム		情報学基礎演習A	2後	1						4		
7		情報学基礎演習B	3前	1						2		
٥		情報学PBL演習	3後	1				1		1		
~		表现技術演習	2後	2			1	1				
		情報学応用演習A	3前	1						2		
	演習	情報学応用演習B	3後	1						5		
		技術英語	2後	2								兼1
I		基盤情報学演習	3前	1			8	8	1	5		
		情報学ゼミナール	3後	1			8	8	1	5		
		卒業研究	4通	8			8	8	1	5		
		小計 ( 10 科目)	-	19			8	8	1	5		兼1
	合	計 ( 215 科目)	_	170	176		23	25	1	13		兼60

### 卒業要件及び履修方法

日本語科目の関修要件等 1. 外国人留学生を対象として開議する授業科目である。 2. 外国語科目として関修することができる。 3. 外国語科目として関修することができる。

履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成様平均 値(GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上、地域連携科目2単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域 連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目、システム理化学科共通科目) 1. 理工学部共通科目から26単位、システム理化学科共通科目から27単位以上、合計53単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 物理物質システムコース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目46単位、選択科目6単位以上, 合計52単位以上修得すること。 2. 一般収養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め, 合計129単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 化学生物システムコース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目37単位、選択科目15単位以上(選択科目Aから11単位以上,選択科目Bから2 単位以上)。各計52単位以上等得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 数理情報システムコース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般収養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以 上修得すること。

科区		授業科目の名称  フレッシュマン英語演習  英語リーディング演習 B  英語制会演習  英語記念主ニケーションI  TOEIC英語演習 I  TOEIC英語演習 I  Fイツ語 中国語 小計(10 科目) 地域社会概論  服振学入門 北海道産業論 B  北海道産業論 G  インター・テクノロジーB  小計(7 科目)  平和学  哲学入門	配车       1前       1後       2前       2歳       3前       1歳       3前       1前・後       -市       1前       3前       3前       3前       4前       -	修 修 1 1 1 1 1 1 1 2 8 1	選 択 1 1 1 3 1 1 1	曲曲	教授	准教授	師	教	助手	任
	国語科目 地域連携科	英語リーディング演習 A 英語リーディング演習 B 英語リーディング演習 B 英語総合演習 英語記 = ユニケーション I TOE IC英語演習 I TOE IC英語演習 I 下のEIC英語演習 I 下のEIC英語演習 I 下のEIC英語演習 I 下は 10 科目) 地域社会概論 記版学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B セインター・テクノロジー B 小計(7 科目) 平和学	1後 2前 2前 3前 1後 3前 1前·後  1前 1前 3前 3前 3前	1 1 1 1 1 1 2	1 1 3 3 1 1 1 1	<u></u>	授	100	80	教	手	兼8 兼4 兼4 兼8 兼4 兼2 兼4 兼1 兼1 兼10
	国語科目 地域連携科	英語リーディング演習 B 英語総合演習 英語総合演習 英語記さュニケーション I 英語コミュニケーション I TOE IC英語演習 I TOE IC英語演習 I Fイツ語 中国語 小計 (10 科目) 地域社会概論 配振学入門 北海道産業論 B 北海道産業論 B 北海道産業論 G インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	2前 2後 2前・後 3前 1後 3前 1前・後 一 1前 1前 3前 3前 3前 3前	1 1 1 2 8	1 1 3			1				兼4 兼8 兼4 兼2 兼4 兼4 兼1 兼1 兼10
	国語科目 地域連携科	英語総合演習 英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII TOEIC英語演習II ドイツ語 中国語 小計 (10 科目) 地域社会概論 胆振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 B インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	2後 2前・後 3前 1後 3前 1前・後 一 1前 3前 3前 3前 3前 4前	1 1 2 8	1 1 3			1				兼8 兼4 兼2 兼4 兼4 兼1 兼1 兼10 兼3
	国語科目 地域連携科	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II TOE IC英語演習 I Fイツ語 中国語 小計 (10 科目) 地域社会概論 脳振学入門 北海道産業論 B 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジー B 小計 (7 科目) 平和学	2前・後 3前 1後 3前 1前・後 1前・後 一 1前 3前 3前 3前 4前	1 2 8	1 1 3			1				兼4 兼2 兼4 兼4 兼1 兼1 兼10
	語科目 地域連携科	英語コミュニケーションII TOEIC英語演習 I TOEIC英語演習 I Fイツ語 中国語 小計(10 科目) 地域社会概論 胆振学声楽論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジー ハ計(7 科目) 平和学	3前 1後 3前 1前・後 一 1前 3前 3前 3前 4前	1 2	1 1 3			1				兼2 兼4 兼4 兼1 兼1 兼10
	科目 地域連携科	TOEIC英語演習 I TOEIC英語演習 I Fイツ語 中国語 小計(10 科目) 地域社会概論 超振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジーB 小計(7 科目) 平和学	1後 3前 1前・後 1前・後 1前 3前 3前 3前 4前	2	1 1 3			1				兼4 兼4 兼1 兼1 兼10 兼3
	地域連携科	ドイツ語 中国語 小計 (10 科目) 地域社会概論 服振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 C インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	1前・後 1前・後 1前 1前 3前 3前 3前 4前	8	1 1 1 1			1				兼1 兼1 兼10 兼3
	域連携科	中国語 小計 (10 科目) 地域社会概論 超振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	1前・後 1前 1前 3前 3前 3前 4前 —	_	1 1 1 1			1				兼1 兼10 兼3
	域連携科	小計 (10 科目) 地域社会概論 間振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	- 1前 1前 3前 3前 3前 4前 -	_	3 1 1 1			1				兼10 兼3
	域連携科	地域社会概論 服振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計(7 科目) 平和学	1前 3前 3前 3前 3前 4前	_	1 1 1			1				兼3
	域連携科	胆振学入門 北海道産業論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジー A インター・テクノロジー B 小計(7 科目) 平和学	1前 3前 3前 3前 3前 4前	1	1			1				-
	域連携科	北海道産業論 A 北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジー A インター・テクノロジー B 小計 (7 科目) 平和学	3前 3前 3前 3前 4前		1							
	域連携科	北海道産業論 B 北海道産業論 C インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	3前 3前 3前 4前		1							兼1 兼1
	携科	北海道産業論 C インター・テクノロジーA インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	3前 3前 4前				1					兼1
		インター・テクノロジーB 小計 (7 科目) 平和学	4前 一		- 1		1					,
		小計 (7 科目) 平和学	-		1			1				兼1
		平和学			1			1				兼1
				1	6		2	2				兼7
		哲学入門	1前		1							兼1
			1前		1							兼1
		こころの科学	1前		1							兼1
		経済のしくみ 日本の憲法	1前		1 2							兼1 ±1
		日本の憲法現代社会論	1後		2							兼1 <del></del>
		現代民主主義論	1後		2							兼1 兼1
		現代心理学	1後		2							兼1
		運動の科学	1後		2							兼1
		経済事情	1後		2							兼1
		医の科学	1後		2							兼1
_		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
般 教		青少年と文化	1後		2							兼2
養		異文化交流A	1後		2							兼1
教育		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
	人と	中国の文化	1後・2前		1							兼1
	社	環境経済論	2前		2							兼1
	会に	基本的人権論 地方自治論	2前		2							兼1
	関す	感性の科学	2前		2							兼1 兼1
	る科	国際文化論	2前		2							兼1
	目	異文化交流B	2前		2							兼1
		地域再生システム論	1前		2							兼3
		キャリアデザイン	2後		2		1					
		スポーツ実習 a	1前		1							兼3
		スポーツ実習 b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							兼1
		臨海実習	1・2・3・4前		1							兼4
		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3 **2
		海外研修 社会体験実習	1-2-3-4前-後		1					1		兼3 兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		3			-		兼5
		短期インターンシップ	3前・後		2		3					兼5
		長期インターンシップ	3前・後		3		3					兼5
		連携教養科目	1-2-3-4前-後									
	L	小計 (36 科目)	-		58		4			1		兼26
		日本語 A-1	1-2-3-4前		1							兼1
		日本語 B-1	1-2-3-4前		1							兼1
		日本語 C-1	1-2-3-4前		1							兼1
	本	日本語 D-1	1・2・3・4前		1							兼1
	語科	日本語 A-2	1-2-3-4後		1							兼1
	目	日本語 B-2 日本語 C-2	1-2-3-4後		1							兼1 ±1
		日本語 C-2 日本語 D-2	1 - 2 - 3 - 4後		1							兼1 兼1
		小計(8科目)	1·2·3·4@		8							兼2
		線形代数A	1前	2			1	2				
		線形代数B	1後	2			1	2				
		微分積分A	1前	2			1	1	1			
		微分積分B	1後	2			1	2	1			
理	ı.	微分積分 C	2前	2			1	2	1			
ı P	E.	物理学A	1前	2			2	1				兼0
音	HB .	物理学B	1後	1			2	2				兼4
# ii	<u> </u>	物理学C	1後	1			2	2				兼4
和 E	4	化学	1後		2		1	1		1		兼1
-		生物学	1後	<u> </u>	2		1	2		1		
		環境科学	2前	2			2	1				兼6
		フレッシュマンセミナー	1前	1				3				<b>業0</b> <b>≭</b> 2
		知的財産所有権論 小計(13科目)	3前	18	4		10	13	1	2		兼2 <b>兼13</b>

【令和2年度】

		年度】			単位数	ī.		専任者	女員等	の配置		兼
	日分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
		フレッシュマン英語演習		修	択	由	授	授	師	教	手	担
		英語リーディング演習A	1前	1								兼7 <b>*</b> 6
		英語リーディング演習B	1後 2前	1							-	兼6 兼7
		英語総合演習	2後	1								兼8
	外国	英語コミュニケーションI	2前・後	1								兼6
	語	英語コミュニケーションⅡ	3前		1							兼2
	科目	TOEIC英語演習 I	1後	1								兼4
		TOEIC英語演習Ⅱ	3前	2								兼4
		ドイツ語	1前・後		1							兼1
		中国語	1前・後		- 1							兼1
		小計 (10 科目)	-	8	3							兼18
		地域社会概論 胆振学入門	1前	1			1					兼3
	地	北海道産業論A	1前		1							兼1 兼1
	域	北海道産業論B	3前		1		1					兼1
	連携	北海道産業論C	3前		1		1					P.114 .
	科目	インター・テクノロジーA	3前		1			1				兼1
		インター・テクノロジーB	4前		1			1				兼1
		小計 (7 科目)	-	1	6		3	1				兼7
		平和学	1前		1							兼1
		哲学入門	1前		1							兼1
		こころの科学	1前		1							兼1
		経済のしくみ	1前	_	1							兼1
		日本の憲法	1後		2							兼1
		現代社会論	1後	<u> </u>	2	-	-			-	-	兼1
		現代民主主義論現代心理学	1後	-	2						-	兼1
		現代心理字運動の科学	1後	-	2		-					兼1
		運動の科子 経済事情	1後	-	2							兼1 兼1
		医の科学	1後		2						-	兼1
		メンタルヘルス論	1後		2							兼1
般		青少年と文化	1後		2							兼2
教養		異文化交流 A	1後		2							兼1
教		ドイツの文化	1後・2前		1							兼1
育	人	中国の文化	1後・2前		1							兼1
	と 社	環境経済論	2前		2							兼1
	会	基本的人権論	2前		2							兼1
	に関	地方自治論	2前		2							兼1
	する	感性の科学	2前		2							兼1
	科目	国際文化論	2前		2							兼1
	п	異文化交流 B	2前		2							兼1
		地域再生システム論 キャリアデザイン	1前		2							兼3
		スポーツ実習a	2後		2		1					兼1
		スポーツ実習b	1前		1							兼1
		スポーツ実習 c	1後		1							兼1
		スポーツ実習 d	1後		1							兼3
		臨海実習	1-2-3-4前		1							兼3
		海外語学研修	1-2-3-4前-後		2							兼3
		海外研修	1-2-3-4前-後		1							兼3
		社会体験実習	1-2-3-4前		1					1		兼2
		地域インターンシップ	3前・後		2		3					兼5
		短期インターンシップ	3前・後		2		3					兼5
		長期インターンシップ	3前・後	_	3		3					兼5
		連携教養科目	1-2-3-4前-後	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	_
		小計 (36 科目)	-	<u> </u>	58		4			1		<b>兼26</b>
		日本語 A-1 日本語 B-1	1-2-3-4前	<del> </del>	1	-	_			-	-	兼1
		日本語 B-1	1-2-3-4前	_	1							兼2 兼2
	B	日本語 D-1	1-2-3-4前		1							<b>兼</b> 1
	本語	日本語 A-2	1-2-3-4級		1							兼1
	科目	日本語 B-2	1-2-3-4後		1							兼1
		日本語 C-2	1-2-3-4後		1							兼1
		日本語 D-2	1-2-3-4後		1							兼1
		小計 (8 科目)	-		8							兼2
		線形代数A	1前	2			1	2				
		線形代数B	1後	2			1	2				
		微分積分A	1前	2			1	1	1			
		微分積分B	1後	2			1	1	1			
	<b>II</b>	微分積分C	2前	2				1	1			兼1
-	工 学	物理学A	1前	2			2	1				<u> </u>
ŧ	· 邮 共	物理学B	1後	1			1	1				兼1
ì	<u>A</u>	物理学で	1後	1	_	-	2	1		<u> </u>	-	
	科 目	化学	1後	_	2		1	1		1		兼1
		生物学 環境科学	1後	-	2		1	2		1		-34- ^
			2前	1			2	3				兼6
		フレッシュマンセミナー 知的財産所有権論	1前	1		-	-	٥		-	-	兼2
		小計 (13科目)	- SHII	18	4	<del>                                     </del>	9	11	2	1	<u> </u>	来2 兼11

9

## 【令和2年度】

					単位数	Į		専任教	女員等(	の配置		兼任
科 区:		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
<u> </u>		Metan I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		修	択	由	授	授	師	教	手	担
理工	情	情報セキュリティ入門	1前	2								兼4
学 目部 共	報科	データサイエンス入門	1後	2			4	2				兼3
通利	Ħ	プログラミング入門 小計 (3科目)	1後	2			_	0				兼4 ***
19		基礎物理実験	-	6			4	2			<u> </u>	兼7
i l		化学実験	2前 1後	1				2		2		兼1 兼1
i l		基礎生物学	1前	2			1	2		2		ж I
i l		基礎化学		2			2			1		
i l	専	物質科学	1前 2前	2			3	1		'		
i l	P9	振動・波動論	2前	2			1	1				-
シ	基礎	物質変換論		2			2	1				
ステ	科目	生物物質化学	2前	2			3	3				
五理		理工学概論	2前	1			3	3				
化		理工学技術者倫理		2			2	-				
学科		地球科学入門	3後	- 2	1			1				兼1
共		小計 (11科目)	11/2	17	1		16	10		5		兼3
通科		統計的データ分析	2後	2	<u> </u>		1	2		J		AK 3
目		現代情報学概論	2前	2			3	- 2				-
i	情	確率論	2前	2			3					
i	報	理工学情報演習						2				
	科目	理工子情報機由 プログラミング演習	2後 2前	2	-			3		2	<del>                                     </del>	-
1		プログラミング演音 情報システム概論	2前	1	-			2			<u> </u>	<del>                                     </del>
		/ 小計 (6 科目)	스테니	10	-		-	7		2	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
$\vdash$	物	物理数学	2**	10	-		7	1		2	<del>                                     </del>	1
	理	物理数学演習	3前	_	-			'		-	<del>                                     </del>	-
1	数学	物埋数字演省 小計(2科目)	3前	1	-			-		1		├
j	系		- 25%	3	-		-	1		1		-
1		力学 A 力学 B	2後	1	-		1				<u> </u>	├
	ъ	力学B 力学演習	2後	1	-		1			<u> </u>	-	<del>                                     </del>
i	学		2後	1						1		ļ
i l	系	量子力学 A	3前	2			1					-
i		量子力学B	3後	2			1				<u> </u>	<u> </u>
į l		小計 (5 科目)	-	7			3			1	<u> </u>	-
i	電	電磁気学A	2後	2				1				
i	磁	電磁気学演習	2後	1						1		
i	気学	電磁気学B	3前	2			1					
i	系	光学	3後	2				1				<u> </u>
i		小計 (4 科目)	-	7			1	2		1		<u> </u>
i	熱	熱力学	2後	2			1					<u> </u>
i	力学	熱力学演習	2後	1						1		ـــــ
3 	系	統計力学	3前	2								兼1
ス		小計 (3 科目)	-	5			1			1		兼1
科目		結晶構造学	2後	2			1					ـــــ
_	物物質性	固体物理A	3前	2			1					<u> </u>
物理	科物学理	物理化学	3前	2			1					<u> </u>
物質		固体物理B	3後	2			1					
シ		小計 (4 科目)	_	8			3					
ス テ ム		物理物質プレゼンテーション		1						1		
7		科学英語	3後	1			1					兼1
<b>1</b>		応用力学A	3前	<u> </u>	1		1			<b>.</b>	<u> </u>	
ス		応用力学B	3前		1						<u> </u>	兼1
		量子物質科学A	3後		1			1			<u> </u>	<u> </u>
	物	量子物質科学B	3後		1			1		<b>_</b>	<u> </u>	₽
	理	量子物質科学C	3後		1		1				<u> </u>	<u> </u>
	物質	量子物質科学D	3後		1		1				<u> </u>	<u> </u>
	応	光物理工学 A	3後		1					1	<u> </u>	<u> </u>
	用	光物理工学B	3後		1			1			<u> </u>	<u> </u>
		材料科学A	3前		1		1				<u> </u>	<b>!</b>
		材料科学B	3前		1						<u> </u>	兼1
		材料科学C	3後		1		1				<u> </u>	
		材料科学D	3後		1		1				<u> </u>	<u> </u>
		物理物質工場見学	2後	<u> </u>	1		1				<u> </u>	<u> </u>
		小計 ( 15 科目)	-	2	13		5	2		2	<u> </u>	兼1
		物理物質学実験A	3前	2	<b></b>			1		2		
	実	物理物質学実験B	3後	2	<u> </u>			1		2	<u> </u>	<u> </u>
	験等	ゼミナール	4通	2			6	5		4	<u> </u>	兼1
	*	卒業研究	4通	8	<u> </u>		6	5		4	<u> </u>	兼1
		小計 (4 科目)	-	14	<u> </u>		6	5		4		兼1
		物理化学A	2後	2				1				
٦	1	物理化学B	2後	2			1				<u> </u>	
		<b>物理ル曲</b> の	3前		2		1					
ス 科		物理化学C			- 1		- 1				1	I -
科目	物	化学基礎演習 A	3前									
科 目 コ(化	理		3前		2		1					
科 目 つ ー ス 学	理化学	化学基礎演習 A			2		1	1				
科目(化学生物	理化	化学基礎演習 A 物理化学 D	3後				1	1				
科目(化学生物シス	理化学	化学基礎演習 A 物理化学 D 化学基礎演習 B	3後		1			1				
科目(化学生物シ	理化学	化学基礎演習 A 物理化学 D 化学基礎演習 B 高分子化学 A	3後 3後 3後	1	1		1	1		1		

					単位数	Ţ		専任教	女員等(	の配置		兼任
科 区		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准	講	助	助	
_	"		+ ×	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
理工	Arte	情報セキュリティ入門	1前	2								兼4
学目部	情報	データサイエンス入門	1後	2			3	2				兼4
共	科目	プログラミング入門	1後	2								兼4
通科	н	小計 (3科目)	-	6			3	2				兼8
		基礎物理実験	2前	1				1		2		兼1
		化学実験	1後	1				1		2		兼1
		基礎生物学	1前	2			1	2				
		基礎化学	1前	2			1	1		1		
	専	物質科学	2前	2			3	1				
	P9	振動・波動論	2前	2			1	1				
シ	基礎	物質変換論	2前	2			1	2				
ステ	科	生物物質化学		2			3	3				
4	目		2前				_	3				
理化		理工学概論	2前	1			3					<b>.</b>
学		理工学技術者倫理	3後	2			1	1				兼1
科共		地球科学入門	1後		1							兼1
通科		小計 (11科目)	-	17	1		13	10		5		兼4
目		統計的データ分析	2後	2			1	2				
		現代情報学概論	2前	2			3					
	情	確率論	2前	2			3					
	報科	理工学情報演習	2後	1				3				
	目	プログラミング演習	2前	2	L		L	1		2	L	
		情報システム概論	2前	1			1	1				
		小計 (6 科目)	_	10			8	6		2		
	物理	物理数学	3前	2				1				
	理数	物理数学演習	3前	1						1		
	学系	小計 (2 科目)	-	3				1		1		
	N,	力学A	2後	1			1	Ė		Ė		
		力学B	2後	1			1					
	カ	カ学演習	2後	1			i i			1		
	学系	量子力学 A	3前	2			1			<u> </u>		
	糸	量子力学B										
			3後	2			1			_		
		小計 (5 科目)	-	7			3			1		
	電	電磁気学A	2後	2				1				
	磁	電磁気学演習	2後	1						1		
	気学	電磁気学B	3前	2			1					
	系	光学	3後	2				1				
		小計(4科目)	-	7			1	2		1		
	熱	熱力学	2後	2			1					
	カ	熱力学演習	2後	-1						1		
<b>-</b>	学系	統計力学	3前	2								兼1
l ス	,,,	小計 (3 科目)	1	5			1			1		兼1
科		結晶構造学	2後	2			1					
目	<b>100 100</b>	固体物理A	3前	2			1					
物	質性 科物	物理化学	3前	2			1					
理物	学理	固体物理B	3後	2			1					
質		小計 (4 科目)	_	8			3					
シス		物理物質プレゼンテーション	2後	1						1		
ステ		科学英語	3後	1			1			-		兼1
ムコ		応用力学A	3前		1		1					NK.
- - -		応用力学B	3前		1		Ė					兼1
<u>ک</u>		量子物質科学A						-				AK.I
			3後	-	1		-	1		-	-	
	物	量子物質科学B	3後		1		-	1				<b>—</b>
	理	量子物質科学 C	3後		1		1					
	物質	量子物質科学D	3後		1		1					
	応	光物理工学 A	3後		1					1		
	用	光物理工学B	3後		1			1				
		材料科学A	3前		1		1					
		材料科学B	3前		1							兼1
		材料科学C	3後		1		1					
		材料科学D	3後		1		1					
		物理物質工場見学	2後		1		1					
		小計 ( 15 科目)	-	2	13		5	2		2		兼1
		物理物質学実験A	3前	2				1		2		
	-	物理物質学実験B	3後	2				1		2		
	実験	ゼミナール	4通	2			6	5		4		兼1
	等	卒業研究	4通	8			6	5		4		兼1
		小計 (4 科目)	-	14			6	5		4		兼1
$\vdash$		物理化学A	2後	2	<del>                                     </del>		Ť	1		Ė		,
<b>□</b>		物理化学B	2後	2	-		1	<u> </u>		-		
ス					2		<u> </u>				-	
科		物理化学C	3前		2		-					兼1
Ξ.	物理	化学基礎演習A	3前		1		1					
コヘート化マ学	化	物理化学D	3後		2		1					
ス学生	学系	化学基礎演習B	3後		1			1				
物シ	<i>न</i> ₹	高分子化学A	3後		1		1					
ステ		高分子化学B	3後		1		1					
テム		物理化学実験	3前	- 1				1		1		
ا ً_ا	L	小計(9科目)	ı	5	8		2	2		1	L	兼1

## 【令和2年度】

程度分 授業科目の名称 記当	助 手	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##
機機化学A   3前   1   1   1   1   1   1   1   1   1	4	兼1
世代の		-
□ → 無線化学 日 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		-
## 代表		-
世		-
A		*1
有機化学A   2後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
有機化学日   2後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
有機化学C   3前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
有機化学D   3前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
世代学系 有機合成化学 3後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
子系   有機化学演習   3歳   1   2   1   1   1   1   1   1   1   1		
有機化学演習   3後   1   2   1   1   1   1   1   1   1   1		
有機化学実験   3後   1		
小計 (8 科目)		
生化学A   2後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
生物学 2後 2 1 1		
世 物 化字・生物 化字・生物 化字・生物 水子生物学科 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
世生物化学生物学A 3前 2 1 1 分子生物学B 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
→ 1 日		
→ 1 日		
日日   (化学生物系		
世		
子		
生物システム科学 4前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
生物化学実験 3後 1 1 1 1 1 1		
生物化学実験   3後   1		
A		L
日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
安全管理 3前 1 1 1 1		L
流れ学A 3前 2 1 1 1 流れ学A 流れ学A 演都 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
流れ学A演習 3前 1 1 1 1 流れ学A演習 3後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
流れ学日 3後 2 1 1	1	
流化学日演習 3後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	
	1	
世	1	
世	1	
物 にチブロセス生産機および実験実習 3後 2 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	-	
用     企業見学     3前     1     1       化字生物プレゼンテーション技法     3後     1     2       食品科学     4前     1     1       材料科学     4前     1     2       食品生産論     4前     1     1       材料生産論     4前     1     1       小計(16 科目)     -     9     15     4     5     2       世生ナール     4通     2     9     11     5	1	
tr字生物プレゼンテーション技法 3後 1 2 2 会品科学 4前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	
食品科学     4前     1     1       材料科学     4前     1     2       食品生産論     4前     1     1       材料生産論     4前     1     1       小計(16 科目)     -     9     15     4     5     2       世生ナール     4通     2     9     11     5		
材料科学   4前   1   2		
食品生産論     4前     1     1       材料生産論     4前     1     1       小計(16 科目)     -     9     15     4     5     2       世まナール     4通     2     9     11     5		
材料生産論 4前 1 1 1   1   1   1   1   1   1   1   1		
小計 (16 科目) - 9 15 4 5 2 数 ゼミナール 4通 2 9 11 5		
総 ゼミナール 4通 2 9 11 5		
		兼1
		兼1
		兼1
		AK I
	-	$\vdash$
応用数学 2後 2 1 1 (4) 数 (4) & (4)	1	-
代数学 3前 2 1 1 数 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	-	⊢
学		
解析学 3前 2 1	1	
数論アルゴリズム 3後 2 1		
小計 (6 科目) - 2 10 2 3 1		ட
情報学特別講義 A 3前 1 1 1		
数 情報学特別講義B 3前 1 2		
理 情報学特別講義C 3後 1 2	1	
ス 情報学特別講義D 3後 1 1 1 1	1	
科 報 ######## ## ## ## ## ## ## ## ## ## #	1	1
日 社 情報学特別建義 F 4前 1 2 4 1	1	1
数 芸                                  数	+-	$\vdash$
理     小計(6 科目)     -     6     4     10     1       情     データ様件トフリゴリズル 20% 2     1	+	$\vdash$
報 アーダ構造とアルコリスム 2後 2 1	1	<del>                                     </del>
シ ス 情 報 (m 2 b p m)	1	<u> </u>
テ 報 [福号処理 3前 2 1		
		<u> </u>
- 基	$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}}$	ட
八計 (5 科目) - 4 6 3 1		
データベース 2後 2 1		
シ 論理回路 3後 2 1		1
7 L T from 10 0 4		
テ     A 記載と学習     3後     2     1       J     38歳     2     1		
300 2		<b>—</b>
小計 (4 科目) - 8 2 1		
<sub>級</sub>   プログラミング A   2後   2       1   1		
プログラミングB 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
a		
ング 小計 (3 科目) - 2 4 2		

					単位数	Ĭ.		専任教	0員等	の配置		兼任
	目 分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
<del> </del>	無	無機化学A	3前	修	択 1	由	授	授 1	師	教	手	担
	機	無機化学B	3前		1			1				
1	分	環境化学	3後		2			1				
1	析化	分析化学および実験	3前	3				1		1		兼1
1	学系	小計 (4 科目)	_	3	4			2		1		兼1
1	75	有機化学A	2後	2			1					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		有機化学B	2後	2				1				
1		有機化学C	3前		2					1		
1	有機	有機化学D	3前		2		1					1
	化	有機合成化学	3後		2		1					
1	学系	有機化学演習	3後		1		2	1		1		
		有機構造解析学	4前		2			1				
1		有機化学実験	3後	1			2	1		1		
		小計 (8 科目)	-	5	9		2	1		1		
		生化学A	2後	2			1					
		生化学B	2後	2				1				
		微生物科学A	2後		2		1					
=	生	微生物科学B	3前		2			1				
 ス	物化	分子生物学A	3前		1			1				
科	学	分子生物学B	3前		1			1				
<b>B</b>	生	細胞生物学	3前		2			1				
化学	物系	応用微生物学	3後		2		1	1				
生	7.	バイオ演習	3後		1		1	1				L
物シ		生物システム科学	4前		2		1	1		<u> </u>		Ь_
ステ		生物化学実験	3後	1				1		1	<u> </u>	Щ
ム		小計 (11 科目)	_	5	13		2	5		1	<u> </u>	<u> </u>
1		輸送現象論	2後		2	<u> </u>		1	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	Ь—
ス		安全管理	3前	1			1				<u> </u>	<u> </u>
1		流れ学A	3前	2			1					
		流れ学A演習	3前		1		1					
		流れ学B	3後	2			1					
		流れ学B演習	3後		1		1					
	化	化学反応操作	3前		2			1				
	学生	物質分離操作	3後		2			1				
	物	化学プロセス制御	3後		2		1					
	応用	化学プロセス生産論および実験実習	3後	3			1			2		
1		企業見学	3前		1		1					
		化学生物プレゼンテーション技法 食品科学	3後	1				2				
		材料科学	4前		1		2	1				
		食品生産論	4前		1			1				
1		材料生産論	4前		1			1				
		小計 ( 16 科目)	489	9	15		4	5		2		
		ゼミナール	4通	2	10		8	11		5		兼1
	総合	卒業研究	4通	8			8	11		5		兼1
	科目	小計 (2 科目)	-	10			8	11		5		兼1
		数学概論	2後	2			Ť	- · ·		Ť	-	<b>兼1</b>
		応用数学	2後	<del>-</del>	2				1			l .
		代数学	3前		2	<b>-</b>		1	Ė	<b>-</b>		t
1	数	幾何学	3前		2			1				t
	学	解析学	3前		2		1					
		数論アルゴリズム	3後		2		1					t
		小計 (6 科目)	-	2	10		2	2	1			兼1
1		情報学特別講義A	3前		1		1	1				t
	数	情報学特別講義B	3前		1			2				t
٦	理と	情報学特別講義 C	3後		1		1	1				T
ス	情報	情報学特別講義D	3後		1		1					兼1
科目		情報学特別講義E	4前		1		2	4	1			1
~	社会	情報学特別講義F	4前		1		2	4	1			t
数 理	-	小計 (6 科目)	-		6		5	8	1			兼1
情報		データ構造とアルゴリズム	2後	2				1				1
シ	情	情報数学	2後	2			1					
ステ	報	信号処理	3前		2		1					1
7	の 基	情報理論	3前		2		1				L	
п — г	本	最適化理論	3後		2		1					
<u>ک</u>	L	小計 (5 科目)	-	4	6		3	1				
		データベース	2後		2		1					
	シ	論理回路	3後		2		1					
l	ステ	人工知能	3後		2		1					
1	Ĺ	認識と学習	3後		2			1				
			-		8		2	-1				
		小計 ( 4 科目)										
	上級	小計 ( 4 科目) プログラミング A	2後	2				1				
	上級プログ	プログラミング A プログラミング B	2後	2	2			1				
	上級プログラミング	プログラミング A	2後	2	2 2		1	-				

科	目		配当		単位数	Į		専任教	0員等	の配置		景 任
区	分	10米村日の石柳	年 次		W 6		4 2	2 0 0	х .		4 +	兼担
п		情報学基礎演習A	2後	1						4		
- 1		情報学基礎演習B	3前	1						4		
ス 科		情報学PBL演習	3後	1			1	1		1		
目(数理情		表現技術演習	2後	2				2				
		情報学応用演習A	3前	1						4		
	演習	情報学応用演習B	3後	1						4		
報シ		技術英語	2後	2			1					
ス		基盤情報学演習	3前	1			8	11	1	4		
テム		情報学ゼミナール	3後	1			8	11	1	4		
П-		卒業研究	4通	8			8	11	1	4		
- 1		小計 ( 10 科目)	-	19			8	11	1	4		
	合計 ( 215 科目) -				176		23	28	1	13		兼56
			卒業	<b>要件及</b>	び履修	方法						

- 日本語科目の魔修要件等 1. 外国 (留学生を対象として開講する授業科目である。 2. 外国語科目として履修することができる。 3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

魔蜂科目の上頭 寄学期に履修できる科目の単位数は、24単位、ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均 憧(GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件(一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上、地域連携科目2単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域 連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目、システム理化学科共通科目) 1.理工学部共通科目から26単位、システム理化学科共通科目から27単位以上、合計53単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 物理物質システムコース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目46単位、選択科目6単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すると。

卒業要件 (システム理化学科 化学生物システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目37単位、選択科目15単位以上(選択科目Aから11単位以上、選択科目Bから2 単位以上)、合計52単位以上修停すること。 2. 一般被乗費24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 数理情報システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教業教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

### 【令和2年度】

科	目	授業科目の名称	年次	兼 任								
区	分	授業符目の名称	年 次		8					21	-	兼担
		情報学基礎演習A	2後	1						4		
- 1		情報学基礎演習B	3前	1						4		
ス 科		情報学PBL演習	3後	1			1	1		1		
目		表現技術演習	2後	2			1	-1				
数		情報学応用演習A	3前	1						4		
ス理	演習	情報学応用演習B	3後	1						4		
報シ		技術英語	2後	2			1					
ス		基盤情報学演習	3前	1			9	9	1	4		兼1
テム		情報学ゼミナール	3後	1			9	9	1	4		
		卒業研究	4通	8			9	9	1	4		
- 1		小計 ( 10 科目)	-	19			9	9	1	4		兼1
	合	計 ( 215 科目)	_	170	176		23	26	1	13		兼65
			卒業	<b>美要件及</b>	び履修	方法						

- 日本語科目の関修要件等 1. 外国人留学生を対象として開議する授業科目である。 2. 外国語科目として関修することができる。 3. 外国語科目として関修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

魔棒科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均 儘(GPA)が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件 (一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上, 地域連携科目2単位以上, 人と社会に関する科目12単位以上, その他外国語科目, 地域 連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上, 合計24単位以上修得すること。

卒業要件(理工学部共通科目、システム理化学科共通科目) 1.理工学部共通科目から26単位、システム理化学科共通科目から27単位以上、合計53単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 物理物質システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目6単位以上, 合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め, 合計129単位以上修得すること。

卒業要件 (システム理化学科 化学生物システムコース) 1. 本表の授業科目のうち。必修科目37単位、選択科目15単位以上(選択科目Aから11単位以上,選択科目Bから2単位以上)。合計52単位以上修得すること。 2. 一般校養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以

卒業要件 (システム理化学料 数理情報システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

  - 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。「過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) 認可申請書又は設置届出書の模式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。) 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

```
【 P 神ル・子及】
・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習a」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「4」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「儆分積分A」の専任教員等の配置を「推教授2」から「推教授1」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「推教授2」から「教授2、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「5」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
```

### 【令和2年度】

```
【令和2年度】
担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマン英語演習」の兼任・兼担の配置を「8」から「7」に変更。
教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習 A」「英語コミュニケーションI」の兼任・兼担の配置を「4」から「6」に変更。
教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習 B」の兼任・兼担の配置を「4」から「7」に変更。
教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習 B」の兼任・兼担の配置を「4」から「7」に変更。
教育内容の充実の理由により、「地域社会概論」の専任教員等の配置を「推規の配置を「13」から「数授 1」に変更。
教育内容の充実の理由により、「7本・ツ実習 d」「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「13」から「3」に変更。
教育内容の充実の理由により、「日本語Bー 1」「日本語Cー 1」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「微分積分A」「微分積分B」の専任教員等の配置を「14」から「2」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「微分積分」の専任教員等の配置を「2枚号、1本教授 2、講師 1」から「教授 1、推教授 1、講師 1」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 3」から「教授 2、推教授 1」及び兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「物理学B」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 3」から「教授 2、推教授 1」及び兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
担当教員の見直しの理由により、「物理学C」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 2」がら「教授 1、推教授 1」及び兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
単当教員の見直しの理由により、「物理学C」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 2」から「教授 3、推教授 2」及び兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
事任教授辞任(定年による退職)の理由により、「データサイエンス入門」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 2」から「教授 3、准教授 2」及び兼任・兼担の配置を「3」から「4」
変更。
 ・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「カーテッキエクス人们」の専任教員等の配置を「教授2、版教2」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「基礎物理実験」の専任教員等の配置を「推教授2、助教2」から「推教授1、助教2」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「基礎化学」の専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「物質変換論」の専任教員等の配置を「教授2、推教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「理工学技術者倫理」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「理工学技術者倫理」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変
    2。

専任推教授昇任の理由により、「情報システム概論」「情報学特別講義C」「表現技術演習」の専任教員等の配置を「教授O、准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。

専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「物理化学C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授O」及び兼任・兼担の配置を「O」から「1」に変更。

専任教授辞任(定年による退職)の理由により、「ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授11、助教5」から「教授8、准教授11、助教5」から「教授8、准教授11、助教5」から「教授8、准教授11、助教5」に変更。

担当教員の見直しの理由により、「数学概論」の専任教員等の配置を「推教授1」から「推教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。

専任教授辞任(定年による退職)及び専任准教授昇任の理由により、「情報学特別講義D」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。

専任教授昇任の理由により、「言語処理系論」の専任教員等の配置を「教授0、体教授1、成教授1、定位により、「全部といる「報報学特別」

専任教授昇任の理由により、「言語処理系論」の専任教員等の配置を「教授0、体教授1、0のよう音楽の配置を「教授1、推教授0」に変更。
「0」から「1」「に変更。
・専任准教授昇任の理由により、「言語処理系論」の専任教員等の配置を「教授 0 、准教授 1 」から「教授 1 、准教授 0 」に変更。
・専任教授辞任(定年による退職)及び専任准教授昇任の理由により、「基盤情報学演習」の専任教員等の配置を「教授 8 、准教授 11、講師 1 、助教 4 」から「教授 9 、准教授 9 、講師 1 、助
教 4 」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
  数4) 灰の旅に、旅店の配置を「もりから・1」に変え。
・専任教授辞任(定年による退職)及び専任准教授界任の理由により、「情報学ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8、准教授11、講師1、助教4」から「教授9、准教授
9、講師1、助教4」に変更。
```

```
【令和3年度】

・教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」の兼任・兼担の配置を「4」から「6」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「英語コミュニケーションI」の兼任・兼担の配置を「4」から「5」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「英語コミュニケーションII」の兼任・兼担の配置を「2」から「1」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「70EI(英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「2」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「70EI(英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「2」に変更。
・専任権教授界任の理由により、「70EI(英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「2」に変更。
・専任権教授界任の理由により、「70EI(英語演習II」の兼任・兼担の配置を「4」から「2」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「4元一ツ実習 4」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「62年表現の一度、年表現の一度、「1」から「2」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度、62年表現の一度を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「物理学C」の専任教員等の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「7レッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「7レッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「7レッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「7レッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「7レッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「5世を加工を解析・6年表現の配置を「4」から「0」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「「4世を加工を解析・6年表現の配置を「4」から「1」を表現して変更。
・担当教員の見直しの理由により、「「5世を加工を解析・6年表現の配置を「4を表現して変更。 6年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4月から「0」に変更。 6年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現の配置を「4年表現
   こ。
専任教授死亡退職の理由により、「解析学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
専任教授辞任(定年による退職)及び専任准教授昇任の理由により、「情報学特別講義D」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
専任教授死亡退職及び専任准教授昇任の理由により、「情報学特別講義E」「情報学特別講義F」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4、講師1」から「教授2、准教授3、講師1」に
                                                                                                                                                          「信号処理」「論理回路」「技術英語」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
・ 辛は松塚存性 、 に平による返職別の埋田により、「信号処理」「論理回路」「技術英語」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 2」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「情報学路で講習 B」「情報学応用演習 A」の専任教員等の配置を「助教 4」から「助教 2」に変更。
・担当教員の見直しの理由により、「情報学PL演習」の専任教員等の配置を「教授 1、推教授 1、助教 1」から「教授 0、推教授 1、助教 1」に変更。
・教育内容の充実の理由により、「情報学PL演習 B」の専任教員等の配置を「助教 4」から「助教 5」に変更。
・専任教員の退職、昇任及び就任の理由により、「基盤情報学演習」「情報学ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授 8、准教授 1、講師 1、助教 4」から「教授 8、准教授
8、講師 1、助教 5」に変更。
```

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで配入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については配入しないでください。

  - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

Ī		設置時の計画				変更	状況		備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	VH στο
	93 科目	122 科目	0 科目	215 科目	93 科目 [ 0 ]	122 科目 [ 0 ]	0 科目	215 科目 [ 0 ]	

(注) ・ <u>未開議科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単	位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	社会体験実習		1		1-2-3-4前	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため
2								
3								

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

## (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

◇大学の所見	
マハナリガル	

他に十分な数の授業科目があり、教育の質は確保されている。

◇学生への周知方法:

履修登録時に掲示及び学習支援システムで案内

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A) = 1 0.46 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況,経費

区分							内				容			備考
(1)		区	分		専	用	. , 共	用	<i>‡</i>	も用するff	也の		āt	
	-		舎敷 均	th	,	121, 138㎡		0 m	7	学校等の専	享用 Omi		121, 138㎡	
校			加場用地			25, 279 m²		0 m			0m²		25, 279m²	
地		小	in merce			146, 417m		0m			0m²		146, 417m²	
TE	_					67, 851 m			<u> </u>		0ml		67, 851m²	
等		÷	の 他					0 m	1					
		合	ä	ſ	_	214, 268 m²		0m		も用する fl	0 m <sup>8</sup>		214, 268m²	
					専	用	共	用	4	校等の事	算用		āt	
					7	70, 159.52m 70,004m 70,022m 70,022m		0 m	1		0m²		70, 159,52m 70,004m 70,022m 70,022m	
(2) 校	Š		舎		(	70. 074㎡)						(	70, 074m²)	白老団地に計測棟新 営のため155.52㎡増 加した。(3) 教育・研究3号館の 改修に伴う取り壊し
					-(	70, 092m²) 70, 022m²)	(	0m²)	(		0m²)	<del>\</del>	70, 092㎡) -70, 022㎡)	により18㎡減少した (2) 教育・研究3号館渡
								±		40-40-	*m &* ***	an	M 10 MP 14-5-	り廊下69.86㎡整備予 定(元)
				語	義室	演習	室	実験実習	至	情報処	理学習施	設 語	学学習施設	
											6	室	0室	
(3) 教	(3)教 1		室 等		3 3 <del>3 3</del> 3 4 4 5	<del>室</del> 室	24室 <del>25室</del> 25室 12室		55室 <del>59室</del> 55室 59室	(補助職	戦員 5ノ	人) (補助職員 0人)		教員の入替等による 用途変更 (3) 教育・研究3号館の 改修に伴う転用等及 び教員の入替等によ
										, mayiş	.s. 07	-/ (補助	- UA)	る用途変更 (2) 教育・研究3号館の 改修に伴う転用等及 び教員の入替等によ る用途変更 (元)
	I					新設学部	等の名称				室	数		
														専任教員6名退職及び辞
											126			職、4名採用のため
(4) 専	9任教員研究室			理工学部	創造工学科	4			128		室	専任教員7名退職及び辞		
											133 135			職、3名採用のため (2)
														専任教員2名辞任のため (元)
					図書	学術	推誌		1					(JE)
(5)	á	新設学 の名	部等	(5	ち外国書〕	〔うち外	国書)	電子ジャー	ナル	視聴覚	資料 機	械・器具	標本	
		0/4	PI			<del>m</del>	種	〔うち外間	(書)		点	点	点	
				323 1	87 (81, 416 93 (86 712	6,065	(2, 190) [2, 190]	3, 972 (3, 991 [	0.071	4	1, 092 1, 107	254 295		
				325, 3 321 n	<del>93 - [86, 712</del> <del>46 - [87, 565</del> 15 - [85, 441	6,086	[2, 190] [2, 184] [2, 182]	4, 005 [- 4, 535 [-	1, 001] 3, 071	4	1. 112 1. 462	290 276	1	
				001,8		9,072	. <del>., 102</del> j	1, 000 E	,, 071]		., -102			
		理工学	部											図書・設備等更新のため(3)
					5 [79,820] ) 80 [84,186] )		(2,190)) (2,190)		3,970])	-(3.9	012)	(254) <del>(295)</del>	/**	
図書				(312, 8) (323, 5)	3 [84, 198] ) 17 [85, 441] )	- (6, 086 - (6, 072	[2, 184] ) [2, 182] )	-(4, 005 E -(4, 535 E	1,001] ) 3,971] )	<del>(3, 8</del>	54)	(0) (276)	(1)	図書・設備寺更新の ため(2)
: 設											-	,2,07		図書・設備等更新のため(元)
備	Н					1					$\dashv$			1707
				323, 1	87 (81, 416 <del>93 [86, 712</del>	6, 127	(2, 190) [2, 190]	3, 972 (3, 991 [	3. 987]	4	1, 092 1, 107	254 <del>295</del>	1	
				325.3 331.9	46 [87, 565 15 [85, 441	6, 086 6, 072	[2, 184] [2, 182]	4, 005 [ 4, 535 [	1, 001] 3, 971]	4	1, 112 1, 462	290 276	'	
		計			,					·				
		п									012)	(254)		
				-(212	575 (79, 820) 780 [84, 186] 833 [84, 198]	(6 127	(2, 190) ) (2, 190) ) (2, 184) )	(3, 972 -(3, 991 [ -(4, 005 [	(3, 970) ) <del>3, 987] )</del> 1, 001] )	(4, <del>-(3, 9</del> <del>-(3, 9</del>	987)	(254) <del>(295)</del> (0)	(1)	
				(323,	527 [85, 441]	-(6,072	[2, 182]	(4, 535	3,971] )	-(4,0	)32)	(276)		
$\vdash$	_				面	積		閲覧座	帝 粉	Ь	a-	4 コル	m. **-	
(6) 図		*	館		ш	-		四見座	m 10X	374	収	納可能		+***
<u> </u>						4, 141			李护心			の無声	323, 4/2	大学全体
(7) 体	ž.	育	館		面	積っ元	m² ====				一ツ施設の	の概要		
<u> </u>	-1			7	, 1	2, 856		コート、弓道		,		10 St. Ar -		
		経費			分	開設年度	完成年月	_	分	開設前		開設年度	完成年度	
(8) 経費の	) E	の見 積り			研究費等	千円		· 円 図書贈		<u> </u>	千円	千円	千円	
種質の機構的及維持方	さび		共 同			千円		円 設備財			千円	千円	千円	
の概	姜			第	1年次	第2年次	_	3年次	第4年		第5年		第6年次	
	ļ				千円	Ŧ	H	千円		千円		千円	千円	
Ī	納付金 学生納付金以			以外の	維持方法の	<b>双</b> 要								

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

  - 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
    ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
    ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
     なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4. 既設大学等の状況

大学の名称 室蘭工業大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
			人								
工学部	4	_	_	640	_	_	_	_	昭和24	_	
<u> </u>	1			040					нцицен		
建築社会基盤系学科	4	-	-	120	学士	-	-	-	平成21	北海道室蘭市水元町27番1号	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△120
機械航空創造系学科	4	-	-	170	学士 <sup>(工学)</sup>	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△170
					<b>逝</b> 土						平成31年4月学生募集停止
応用理化学系学科	4	-	-	140	学士	-	_	-	平成21	同上	平成31年4月子王券来停止 学年進行により定員△140
情報電子工学系学科	4	_	-	210	学士	-	_	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 学年進行により定員△210
<u>理工学部</u>	4	600	3年次	1840	-	1. 04	1. 03	平成31	平成31	-	
<b>創造工学科</b>	4	365	40 3 年次	1120	学士	1. 04	1.03	平成31	平成31	北海道室蘭市水元町27番1号	
システム理化学科	4	235	25 3 年次 15	720	学士	1. 05	1.03	平成31	平成31	同上	
			15		(理工子)						
工学研究科(博士前期課程)	2	224	-	448	-	1. 03	1.04	-	昭和40	-	
環境創生工学系専攻	2	73	-	146	修士 (工学)	1. 08	1.01	-	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
生産システム工学系専攻	2	84	-	168	修士 (工学)	0. 94	0. 98	-	平成26	同上	
情報電子工学系専攻	2	67	-	134	修士 (工学)	1. 08	1. 13	-	平成26	同上	
工学研究科(博士後期課程)	3	15	_	45	-	1, 19	0. 6	_	平成2	_	
工学専攻	3	15	_	45	博士	1. 19	0. 6	_	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
1740		10		40	(工学)	1. 10	0.0		1 100.20		
大学全体	_	839	40	2973	_	_	_	_	_	_	
大 学 の 名 称	0	〇 短	期大	学			学生募集停止学科数		平均入学定員超 過率1.3倍以上		備考
既設学部等の名称	修業	入学	編入学	収容	学位又	平均入学 定員	令和3年度 入学定員	定員変更 年度 (AC期間の	開設	所 在 地	-
	年限		定員		は称号	超過率	超過率	(AU期間の 学科のみ)	年度	5	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学 (大学院含む) 、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

```
・高野 英明専任教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
・吉田 雅典専任教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
```

### 【令和2年度】

```
金 新哲兼担助教改姓。
馬渡 康輝兼担助教界性のため、兼担准教授に変更。
大口喜久男兼任講師の担当授業科目から「スポーツ実習a」を削除し、「スポーツ実習d」を追加。
成田 正則兼任講師の担当授業科目から「スポーツ実習a」を削除し、「スポーツ実習d」を追加。
本村 泰三兼任講師辞任(定年による退職)のため削除。

深澤 陽子兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」を担当。
高久 裕子兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」「英語総合演習」を担当。
劉 冠 偉兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」「TOEIC英語演習Ⅰ」を担当。
福澤 純兼任講師を配置し、授業科目「医の科学」を担当。

桂田 英典兼任講師を配置し、授業科目「懺分積分C」「数学概論」を担当。
```

### 【令和3年度】

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

弘立専任教授の担当授業科目に「応用力学B」を追加。令和3年1月AC教員審査済み

- **慰可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し
- 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

## (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
27	14
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) -② 専仟教員等数【大学】

		設置時	の計画					現在(報告	現在(報告時)の状況										
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')								
23	28	1	13	65	0	22	25	1	14	62									
(23)	(28) (1)		(13)	(65)	0														
	現在(	報告時)の	完成年度時	ずの状況			現在(	報告時)の	完成年度時	の計画									
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 ( D')								
22	25	1	14	62		22	25	1	14	62									
[ \( \Delta 1 \)]	l	Δ3 ] [ 0 ] [ 1 ] [Δ3 ] [ ]		ΓΔ1 ]	ΓΔ3 ]	Γ 0 1		ΓΔ3 1											

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・<u>「現在(報告時)の完成年庠時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員教を加えた教を配入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名滅の場合: △1)
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
  - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません)、
  - 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = \_\_\_ 現在(報告時)の状況(B)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A') #DIV/0! %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	1031	担当予定科目		後任	補充状:	況	京	优任辞退	(未	就任)の理	由	
			該当なし														
2	2																
合計			合計	(D)							後	<b>经任補充状況</b>	の集計	(E)			
京	就任:	を辞	退した教員数	担当科目	数の合詞	(a) ·	+ (b) + (c)	10	の合計	数 (a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	数(c)	
	WILL CALL OF THE STATE		必	修	0	科目	必作	俢	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			選	択	0	科目	選扎	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		0	人	自	由	0	科目	自日	#	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ē	†	0	科目	計	-	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員	員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後	壬補充状	況		辞	任等	の理由				
					必修	情報学基礎演習	A	1									
					必修	情報学基礎演習	₿B	1									
					必修	情報学応用演習	PΑ	1									
1	助教	柴田	傑	R1. 08	必修	情報学応用演習	ВВ	1		R1.08.31付	け他大学	全へ昇	<b>具動のため</b> 辞	任	(2)		
					必修	基盤情報学演	習	1									
					必修	情報学ゼミナー	-ル	1									
					必修	卒業研究		1									
					必修	微分積分A		1									
					必修	微分積分B		1									
					必修	基盤情報学演	_	1									
2	教授	黒木場	正城	R3, 01	必修	情報学ゼミナー	-ル	1									
-	7010	merices	11-9%	110.01	必修	卒業研究		1		No. 01. 1013	17 76 = 0.	,,_,	SHTIL (O)				
					選択	解析学		Ŭ		_							
					選択	情報学特別講義	ξE										
					選択	情報学特別講事	ξF	1									
					必修	基礎化学		1									
3	助教	松山	-ik	R3. 03	必修	物理化学実験	È	2		R3 03 314t	3.03.31付け自己都合退職のため辞任(3)						
	P914X	ТАЩ	714	110.00	必修	ゼミナール		1		No. 00. 0113	.,	РЦЖ	549,0077C07H	- 11	(0)		
					必修	卒業研究		1		7							
			소타	(F)					14	<u> </u> 後任補充状況	の集計	(G)					
	拉红!	t-数昌粉			おの合計	(a) + (b) + (c)	① <b>/</b> /	計数(a)	-	②の合計		(u)	③の合計	L *h	(0)		
<b>—</b>	辞任した教員数				修	16 科目	必修	атжх (а. 15		必修	1 *** (1)	ME	必修		0	ži E	
									科目		•	科目			•	科目	
	3 人				択	3 科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択		0	科目	
	•			B	由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	<u> </u>	0	科目	
				Ī	it	19 科目	計	17	科目	計	2	科目	計		0	科目	

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員についてに記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D	) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	i† (a) +	①の合計	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数							)		
		必修	16	科目	必修	15	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	
3	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	19	科目	計	17	科目	計	2	科目	計	0	科目	

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

 (3) - ③合計(D)+(F)
 =
 3

 (2) - ②設置時の計画(A)
 =
 4.61

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3)一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

### (3) 一⑥ 定年により退職した専仟教員に対する後仟補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況		辞任等	等の理由			П
			必修	基礎化学	1							
			必修	物質変換論	1							
1	教授	太田 勝久	必修	ゼミナール	3	R2	. 03. 31付け65	歳で定年	退職 (2)			
			必修	卒業研究	3							
			選択	物理化学C	2							
			必修	データサイエンス入門	2							
			必修	理工学技術者倫理	2							
2	教授	岸上 順一	必修	基盤情報学演習	2	P2	03 31/+1+65	:1日時 (2)				
۷.	4X1X	产工 顺	必修	情報学ゼミナール	3	I\Z	R2.03.31付け65歳で定年退職(2)					
			必修	卒業研究	3							
			選択	情報学特別講義D	2							
			必修	現代情報学概論	2							
			必修	技術英語	2							
			必修	基盤情報学演習	1		R3. 03. 31付け65歳で定年退職(3)					
3	教授	鈴木 幸司	必修	情報学ゼミナール								
			必修	卒業研究	1							
			選択	信号処理	2							
			選択	論理回路	2		1					
			<u></u> 計				後任補充物	1. T. O. # :	-1			_
	741-1				@ <b>a</b> A = 1	akt. / \			••	- 1 364		
	辞仕	した教員数		† (a) + (b) + (c)	①の合計		②の合計		③の合			_
			必修	14 科目	必修	5 科目			科目 必修	4		科目
	0 1		選択	4 科目	選択	0 科目			科目 選択	0		科目
	3 人	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目 自由	0	) :	科目	
			計	18 科目	計	5 科目	計	9	科目 計	4	1	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての事任数員についてに記入してください。
  ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年度開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加(前期開講:AC教員審査済み、後期開講:AC教員審査受審予定)や兼任兼担教員が担当することとしており、教育上の支障はない。 令和4年度以降の開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加や新規採用について早期に検討し、開講に影響のないよう準備する。 また、学生には、開講年度のシラバス等において担当教員名を周知予定。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	養プ「強通意生与考容時分をの内集十	遵守事項	<ul> <li>で業をかりいはれ報修難でうか捉こ活なと料必特養で一め養(旧とけ捉者新の社し野技まけ上像を で、ず技得にきなさえの動いもを要徴成、部、成強)基、えーン情会、で術たて記、掲 はないきつがをつ広複こてうを持るをに十理し理と人理をしくとの情な応い術かなに は変、強といぼ専基のでいな強た生学説学と関係が下。像職広技難き破けいれてにめらと識知様でこしと、誤行介趣教本つるお がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと がら・示業るに知門多野、・材集にお紹のの、にまと があらと識知様でこしと、誤行介趣教本つるお を強身職学とけ修広る かにて、とご載知様でこしと、誤行介趣教本つるお を自身の様が広は対がなに なとでは、といるリい がは、本実、視学 向も材一。</li> </ul>	履行済	

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
認可時(令和元年)	シラブ できない できない できない できない できない できない できない できない	遵守事項	を照ります。 シティリス・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マー	· <b>汗済</b>
認可時(令和元年)	「門セなとネ全せ「習にテてリ科フワなウをい(情報では、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	改善意見	当見では、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

区 分	附	帯	事 項	等	履行状況	今後の の実施計画
設置計画履行状況調 査 時 (令和2年)						
設置計画履行状況調 査 時 (令和3年)						

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

〈理工学部 システム理化学科〉

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<ul> <li>授業計画(シラバス)の変更 令和3年度開講科目(一部) 授業実施方法…面接授業 成績評価手法…一斉に実施する定期試験</li> </ul>	・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomを用いた遠隔(オンライン)授業で実施。 授業実施方法…遠隔授業 成績評価手法…レポート、課題

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況

室蘭工業大学理工学人材育成本部の下にFD・AL部門を有する教育推進支援センターを設置

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

1回目 令和2年5月26日(火) 参加委員9/11名(メール会議)

2回目 令和2年6月10日(水) 参加委員11/11名(WEB会議)

c 委員会の審議事項等

FDの企画、立案及び実施に関すること。アクティブラーニングの推進に関すること。 その他授業科目の教育内容及び方法等の向上に関すること。

- ② 実施状況
  - a 実施内容

教育ワークショップ(FDワークショップ)、FD講演会、教員相互の授業参観 等

b 実施方法

ワークショップ形式、講演会、授業参観等の本学教職員を対象としたFDの実施

c 開催状況(教員の参加状況含む)

令和2年度の実施状況は以下のとおりであり、令和3年度も継続的にFDを実施する予定である。

- ・FDワークショップ(9/14オンライン実施\_参加者20名(他大学参加者1名を含む))
- · F D講演会 (9/28オンライン実施\_参加者38名、3/4実施\_参加者13名)
- ・教員相互の授業参観(6月実施\_参加者のべ136名、11月実施\_参加者のべ105名)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施。参加者の満足度や要望等を分析し、次回以降の同活動の改善に役立てている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

学生による授業評価アンケートを毎期最終週にWEB(学務情報システム)にて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学Webサイト上で公開予定

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

## (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

体制

- a 委員会の設置状況
- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
- c 委員会の審議事項等

# 該当なし

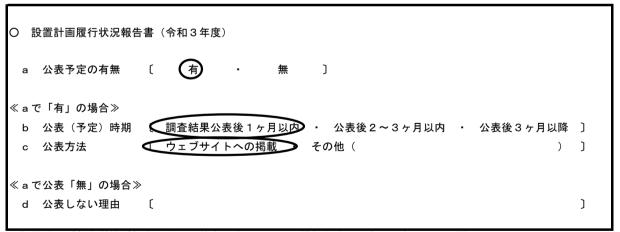
d その他

- ② 審議状況
  - a 審議した内容
  - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
  - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的の達成に向けて、計画どおり順調に進捗している。
② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期 ・未定(検討中)
b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開予定
③ 認証評価を受ける計画 (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。) ・令和元年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援機構・学位授与機構)の評価を受審した。
(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を
含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ
いて記入してください。

## (5) 情報公表に関する事項



※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。 その場合別ファイルを作成し提出してください。
  - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	学生募集の停	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	修業年限 入学定員		収容定員	止について	1
理工学部 創造工学科 学士(工学)	工学関係	4	325	3 年次 人 25	1350		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1
	人	人		人	325人	-人	325人	-人	325人	-人			
A 入学定員	( [	)	(	)	· )	- ) - ]	· )	- ) - ]	( 2 [ -	5 )			
志願者数	( )	( )	( )	( )	992 ( - ) [36]	- ( - ) [ - ]	1123 ( - ) [51]	- ( - ) [ - ]	834 ( 46 ) [32]	- ( - ) [ - ]			本学の入学試験を経
受験者数	( )	( )	( )	( )	929 ( - ) [36]	- ( - ) [ - ]	1053 ( - ) [51]	- ( - ) [ - ]	781 ( 42 ) [32]	- ( - ) [ - ]	1. 03倍	- 倍	ない外国政府派遣学 生2名が入学(元) 本学の入学試験を経 ない外国政府派遣留
合格者数	( )	( )	( )	( )	404 ( - ) [29]	- ( - ) [ - ]	404 ( - ) [24]	- ( - ) [ - ]	398 ( 28 ) 375	- ( - ) [ - ]			学生2名が入学 (3)
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	340 ( - ) [14]	- ( - ) [ - ]	336 ( - ) [11]	- ( - ) [ - ]	334 ( 23 ) [8]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A		-		-	1.	04	1.	03	1.	02			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - · <u>転入学生は記入しない</u>でください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和:	2年度	令和:	3年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		5
						342	_	336	_	336	_	令和3年度	
	1 年次		[ ]	[ ]	[ ]	[ 16 ]	[ - ]	[ 11 ]	[ - ]	[ 10 ]	[ - ]	・3年次編入学23名入学	
		( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )		( - )		
	0.47.47							338		332			
	2年次			, ,				[ 14 ]		[ 10 ]			
				( )		( )	( )	( - )	( - )	360	( - )		
	3 年次					[ ]	r 1	Г 1	[ ]	[ 17 ]	ſ <b>–</b> 1		
		/				( )	( )	( )	( )	( - )	( - )		
	4 年次							[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
		_						( )	( )	( )	( )		
						34	<b>1</b> 2	6	74	1, (	028		
	計	[	]	[	]	[ 1	6 ]	[ 2	5 ]	[ 3	7 ]		
		(	)	(	)	( -	- )	( -	- )	( -	- )		

- ・令和3年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数<br />
    を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	<del></del>	72 ** ** *		内訳		主な退学理由
対象年度	仕字有剱(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
73 8 7 7 7			77 072+12		うち留学生数	
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	^	^	平成30年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和元年度	342 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
	674 人		平成29年度	人	人	
		、 4人	平成30年度	人	人	
令和2年度			令和元年度	4 人	2 人	進路変更(1人)、専門学校入学(1人) [進路変更(1人)、他大学へ進学(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	1028 人	5 人	令和元年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和2年度	4 人	1 人	学業不振(1人)、他大学へ進学(1人)、経済的理由(1人) [他大学へ進学(1人)]
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		9 人		9 人	3 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
    - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

### 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) #DIV/0! \_ = \_ % 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0 % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) % 0.59 674 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b) 0.48 %

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> その場合別ファイルを作成し提出してください。
  - 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	学生募集の停	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1
理工学部 創造工学科 学士(工学)	工学関係	4	人 40	3 年次 人	160		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度		平成29年度		11.4	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考	
区分	区分		春季入学 その他の学期		期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	VĦ	73
		,	(		V.	人	人	40人	-人	40人	-人	40人	-人				
A 入 <sup>自</sup>	学定員	(		)		)	)	( -	- ) - 1	( )	- ) - 1	(	0 )				
志願者	者数	(	)	( [	)	( )	( )	177 ( - ) [0]	( - )	200 ( - ) [0]	( - )	167 ( 0 ) [0]	( - )				
受験者	者数	) [	)	( [	)	( )	( )	166 ( - ) [0]	- ( - ) [ - ]	190 ( - ) [0]	- ( - ) [ - ]	163 ( 0 ) [0]	- ( - ) [ - ]	1. 12倍	- 倍		
合格者	者数	( [	)	( [	)	( )	( )	67 ( - ) [0]	- ( - ) [ - ]	58 ( - ) [0]	- ( - ) [ - ]	72 ( 0 ) [0]	- ( - ) [ - ]				
B 入 <sup>+</sup>	学者数	(	)	) [	)	( )	( )	48 ( - ) [0]	- ( - ) [ - ]	45 ( - ) [0]	- ( - ) [ - ]	42 ( 0 ) [0]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A		-			-		1. 2		1. 12		1. 05						

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度 平成29年		9 年度	平成3	平成30年度		令和元年度		令和2年度		3年度	- 備 考
学	年	春季入学 その他の学期		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
						48	_	45	_	42	_	
	1 年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[0]	[ - ]	[0]	[ - ]	[0]	[ - ]	
		( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
								47	_	45	_	
	2 年次					[ ]	[ ]		[ - ]	[0]		
				( )	( )	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	
	a <del>-</del>									47		
	3 年次					L J		[ ]	[ ]		[ - ]	
						( )		( )	( )	( - )	( - )	
	4 年次							. 1	г 1	г 1	г 1	
	4 平次							[ ]			[ ]	
						4	.8	q	2		34	
	計	Г	1	[	]		) ]		) ]		0 ]	
	н.	(	)	(	)	( -	- )	( -	- )		- )	

- ・令和3年5月1日 公表
  - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
    - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
    - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
    - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
    - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
    - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 退学者数			主な退学理由
対象年度	LT-BW(D)	ET B XX (u)	入学した年度	退字	方な留学生数	(留学生の理由は[]書き)
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	Α.	<b>.</b>	平成29年度	人	人	
平成30年度			平成30年度	人	人	
	48 人	0 人	平成29年度	人	人	
令和元年度			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
	92 人	1 人	平成29年度	人	人	
令和2年度			平成30年度	人	人	
节和2千度			令和元年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成29年度	人	人	
		0 人	平成30年度	人	人	
令和3年度	134 人		令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

### 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0 % 48 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 1.08 % 92 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 0 % 令和3年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。